第三號書式

整理公債臨時引換請求書

一七分利付金祿公債證書額面何程

此證書何枚

內譯

何圓券額面何程　何枚

何圓券額面何程　何枚

何圓券額面何程　何枚

此證書何枚

右ハ明治十九年御省告示第百拾壹號ニ據リ整理公債證書ト引換之義債主ヨリ申出候間本證書御交付被下度此段請求仕候也

年　月　日

大藏大臣伯爵松方正義殿

日本銀行總裁某

第四號雛形

方壹寸三分

整理公債證書引換濟

（證書引換少數ノ向ハ本印ノ影刻ニ不及證書ヘ印面ノ文字ヲ朱書スルモ妨ケナシ）

第五號書式　整理公債引換計算表

姓名	整理公債交付額面	枚數	七分利附金祿公債額面收換	枚數

日本銀行何地支店
又ハ
日本銀行何地國庫金取扱代理店

第六號書式

整理公債證書ト引換七分金祿公債證書還納書

一七分利付金祿公債證書何枚

此額面何程

內譯

何圓證書何枚

此額面何程

何號何番

何圓證書何枚

何號 自何番 至何番

此額面何程

何號何番

右ハ整理公債證書ト引換七分金祿公債證書前記之通計算表相添還納候也

年　月　日

日本銀行支店長　印

又ハ

日本銀行何地國庫金取扱代理店

何々銀行

何役某　印

日本銀行總裁宛

第七號書式　整理公債引換計算表

國債整理公債

取扱店	整理公債交付額面	枚數	祿金額面 七分利付公債換收金額	枚數

日本銀行

第八號書式

整理公債證書ト引換七分金祿公債證書還納書

一七分利付金祿公債證書何枚

此額面何程

右ハ整理公債證書ト引換七分金祿公債證書前記之通計算表相添還納候也

年　月　日

日本銀行總裁

國債局長宛

第九號書式

公債證書ノ賣買ヲ營業トスルモノハ印紙ヲ貼用スルモノトス

印紙

七分金祿公債證書引換交付ノ整理公債證書端數利子領收書

一金何々圓

但七分金祿公債證書引替整理公債證書交付ニ付交付翌月何年何月ヨリ何月迄何ケ月分ニ對スル端數利子

右領收候也

年　月　日

日本銀行

何府縣下區町郡村何番地

何某ノ印

日本銀行支店

又ハ日本銀行何地國庫金取扱代理店

何々銀行

尋テ明治二十年四月十五日ヲ以テ既記ノ如ク整理公債事務順序ヲ制定シ其第五章ニ於テ新ニ從前發行六分以上利付公債償還ノトキ元金代リ證書交付第六章ニ於テ臨時交換ニ關スル取扱手續ヲ規定シタルヲ以テ前揭整理公債臨時引換取扱手續ハ自然廢止ニ歸シタリ越テ明治二十一年十二月限右事務順序ヲ始メ其他各種公債ノ取扱順序ヲ統一シテ各種公債事務取扱順序ヲ制定スルニ及ヒ其第五章及第六章ニ於テ元金償還代リ證書交付及臨時交換ノ事項ヲ規定シ其後二十五年三月ニ至リ各種公債事務取扱順序ニ代フルニ公債事務規程ヲ以テスルヤ其第四章ニ證書交付ニ關スル事項ヲ揭ケ其第一節ニ於テ償還代リ交換第二節ニ於テ臨時交換第三節ニ於テ整理交換報告方ヲ規定セリ

是ヨリ先明治十九年十一月中當籤ノ金祿公債證書ヲ以テ整理公債證書ト交換ヲ望ムモノ管廳告示後十日間ニ申出ヘキノ處右期限後ニシテ其元利金仕拂前ニ當リ代リ證書ノ交付ヲ請求スルモノアルトキハ特ニ聞屆アリタキ旨福井縣ヨリ大藏省ヘノ申出ニ對シ仝省國債局長ヨリ特ニ交換取計フヘキ旨通牒ニ接シタレハ本行ハ大藏大臣ノ認可ヲ經爾後右同樣ノ趣旨ヲ以テ交換ヲ請求スルモノアルトキハ事情不得止モノニ限リ交付請求書ニ事由書ヲ添附シテ差出サシメ而シテ取扱店ニ於テハ假證書交付手續第三號書式ニ依リ本行ニ報告シ且該當籤證書ニ對シ已ニ送付セル元金ハ報告ノ際本行ヘ返金スヘキ旨二十年二月十七日各取扱店ヘ通達セリ

日何月何年何治明

書細明號番記類種書證債公々何換交時臨ト書證債公理整

日本銀行

町何何區何番地	何某							村何郡何番地	何某						
額面	號記	番號 萬	千	百	十	一	別類數種枚	額面	號記	番號 萬	千	百	十	一	別類數種枚
五百圓	い														
〃	〃														
〃	〃						計三千五百枚圓								
百圓	ろ														
〃	〃														
〃	〃														
〃	〃						計五百枚圓								
〃	〃														
							計八千枚圓通二								

尋テ六分利付以上諸公債當籤滿期償還元利金拂渡濟ノ分ニシテ數日ヲ經テ整理公債ノ交付ヲ請求スル者アリ右ハ規定ニヨレハ其請求ヲ拒絶スヘキモノナルモ多クハ請求者カ請求手續ヲ熟知セサルニ起因セルモノナレハ特ニ元利金交付以後一週間以内ニ公債交付請求ノ分ハ現金ヲ領收シ代リ整理公債ヲ交付シ利子ハ證書交付請求ノ翌月ヨリ付スルヲ至當トシ明治二十年五月九日ヲ以テ大藏大臣ニ伺出テタル處同月十四日ヲ以テ許可セラレタリ

又同年二月一日大藏大臣ヨリ整理公債證書ト引換タル舊證書還納ノ節ハ整理公債證書條例第三十條及同公債取扱順序第九條竝十九年十一月大藏省告示第百十一號（前出）ニ於ケル場合共各別ニ證書ノ記號番號明細表ヲ添ヘ各別表ニ區別還納スヘキ旨達セラレタリ

尚同年七月九日大藏大臣ヨリ整理公債取扱順序第九條及同年三月告示第二十九號ニ據リ同年七月以降整理公債證書ト交換シタル舊證書ノ種類記番號及債主ノ氏名ヲ證書交換ノ都度速ニ其所管廳ヘ報告スヘキ旨令達アリタレハ之ニ基キ同月十八日制定シタル報告書々式ヲ左ニ揭ク

曩ニ記載シタル整理公債證書ノ臨時引換方ニ關シ明治二十年四月一日以降ハ本人ノ申込書ニ本證書ヲ添ヘ請求方取計フヘキ旨同年三月十二日ヲ以テ大藏大臣ヨリ達セラレシカ右ニ依レハ舊證書ノ納付ヲ待チ新證書ヲ交付スルコトヽナリ交換請求ノ日ヨリ新證書ノ交付ヲ得ルマテニ多少ノ時日ヲ要スルノ不便アルニ依リ同年四月七日ニ至リ大藏大臣ハ右ノ手續ヲ改正シ豫メ本行ヘ證書ヲ交付ジ置キ引換請求アルニ從ヒ本行ヨリ直ニ渡方取計フヘキ旨ヲ達セラレタリ其手續全文左ノ如シ」

從前發行六分以上利付各種ノ公債共所有者ノ望ニ由リ其交換ヲ請求スルモノアルトキハ其交換ノ手續左ノ通相定ム

第一條　整理公債證書五萬圓乃至五拾萬圓ヲ限リ其行ヘ豫メ交付スヘキニ由リ其行ヘ備ヘ置キ從前發行六分以上利付各種公債證書ヲ以テ其行本支店及京都府下代理店ヘ交換ヲ請求スルモノニ限リ直ニ引換渡方ヲ取計フヘシ

前項豫備證書交換ノ爲メ減少シタルトキハ前項ノ制限ニ充ツルマテ該證書ノ交付ヲ請求シ引換ニ差支ヘナキ樣取計ヘシ

第二條　前條整理公債證書ノ交付ヲ受タルトキハ其證書ノ種類金額番記號ヲ詳記シタル領收書ヲ大藏省國債局ヘ差出スヘシ

第三條　第一條ノ交換ヲナシタルトキハ從前發行證書ノ種類金額枚數並ニ交換下付シタル整理公債證書ノ種類金額枚數ヲ記載製表シテ翌日當省國債局長及ヒ記錄局長ヘ宛屆出ヘシ

第四條　整理公債證書ト交換シタル從前發行ノ證書ハ何月何日整理公債證書ト交換濟ノ印ヲ捺シ每一箇月分取纏メ翌月二十日マテニ其種類金額枚數ヲ詳記シタル表ヲ添ヘ國債局ヘ還納スヘシ

第五條　整理公債證書ト交換シタル從前發行證書ノ月割利子及ヒ整理公債證書ノ端數利子ハ現年度ノ支拂基金ヲ以テ繰換若シ基金ナキトキハ其行本業部ヨリ立換支辨シ直ニ大藏省ヘ請求シテ該基金又ハ本業部ヘ戻入ヲナスヘシ

第六條　第一條ノ豫備證書ニ附屬スル利札ノ支拂期限ヲ經過シタルトキハ其行ニ於テ其利札ヲ切取リ其金額枚數ヲ詳記シタル表ヲ添ヘ國債局ヘ還納スヘシ

第七條　第一條ノ豫備證書ノ出納ハ其行ニ於テ嚴重ニ取扱フヘシ若シ證書及利札ノ紛失等ヨリ政府ノ損失トナリタルトキハ本店取扱ノ分ハ勿論支店代理店ノ分ト雖モ都テ其行ニ於テ之ヲ補償スヘシ

尋テ本行ハ同月二十日付ヲ以テ大阪支店及京都代理店ヘ向ケ交換豫備ノ整理公債證書ハ追々送付スヘキニ付債主ヨリ請求ノ節ハ直ニ交換方取計フヘキ旨ヲ通達シ同時ニ交換手續ヲ左ノ通定メタリ

大阪支店
京都代理店　豫備整理公債交付手續

一　從前六分以上利付各種公債所有者ノ望ニ依リ當簽又ハ滿期元金代リ亦ハ臨時交換請求之豫備トシテ整理公債證書ヲ本行ヨリ送付スヘキニ付其種類番記號ヲ明記シタル領收證書ヲ差出スヘシ

一　交換ヲナシタル從前發行證書及整理公債證書ノ種類金額枚數ハ其即日甲號書式報告表ヲ製シ乙號書式受拂報告表ヲ添付本行ヘ送付スヘシ

一　豫備公債ヲ以テ交換シ證書缺乏ノ場合ニ於テハ其要スル員額及證書ノ種類幷記名無記名ヲ

甲號　豫備整理公債證書交付報告表

年　月　日

國債整理公債

從前發行公債證書 摘要	種類	額面	枚數	整理公債證書 種類	額面	記番號	枚數	摘要
何年何月當籤元金代リ請求	七分金祿公債	13,250	42	五千圓	5,000	ハ 1	1	
何年何月 〃 〃	六分金祿公債	1,105	18	千圓	3,000	〃 自至 1 3	3	
				〃	4,000	〃 自至 8 11	4	
				計	7,000		7	
				百圓	600	〃 自至 1 7	6	
				〃	100	〃 12	1	
				〃	1,400	〃 自至 14 27	14	
				計	2,100		21	
				五拾圓	250	〃 自至 7 11	5	
		14,355	60		14,350		34	差引五圓現金拂
臨時交換請求	七分金祿公債	7,100	63	千圓	4,000	ハ 自至 4 7	4	
				〃	1,000	〃 12	1	
				計	5,000		5	
				百圓	500	〃 自至 7 11	5	
				〃	100	〃 13	1	
				計	600		6	
				五拾圓	300	〃 自至 1 6	6	
				〃	1,200	〃 自至 12 35	24	
				計	1,500	〃	30	
		7,100	63		7,100		41	

日本銀行大阪支店
ヌハ　京都代理店

區別電報スヘシ

一　交換濟從前發行當籤滿期償還證書ハ其證書大藏卿印章面ヘ整第五十八號雛形ノ印ヲ捺シ臨時交換證書ハ整第十五號印ヲ捺シ何レモ其傍ヘ證書交付濟ノ年月日ヲ記載而シテ整理公債海軍公債事務順序第十三條中利金仕拂高精算報告書證書還納表記番號明細書ヲ（申込書ハ送付ニテヨロシ）添付臨時交換證書ハ其翌日當籤滿期證書ハ其月分翌月三日迄ニ差立本店ヘ送付スヘシ（申込明細書送付ノ分ハ壹人別申込ノ分ハ壹人別ニ）

一　交換ノ從前發行證書ノ月割利子幷整理公債證書ヲ徵スル等ハ事務順序及雜則ノ通計フヘシ

一　豫備公債證書ニ付屬スル利札ノ支拂期限ヲ經過シタルトキハ其利札ヲ切取リ丁號書式仕譯書ヲ添付本行ヘ送付スヘシ

一　豫備公債證書ノ出納ハ受拂帳ヲ置キ嚴重ニ取扱フヘシ

乙號

表告報拂受債公理整備豫

年　月　日

種類	越高	受高	仕拂高	殘高
五千圓				
千五百圓				
百五拾圓				

日本銀行大阪支店
代理店　京都支店ヘ又

右豫備整理公債證書受拂報告表ニハ記名無記名ノ區別ナカリシカ明治二十年四月二十六日ヲ以テ該表中越高、受高、仕拂高、殘高共凡テ記名、無記名、合計ノ三欄ヲ設クヘキ旨ヲ通達セリ

又同年七月十八日付ヲ以テ國庫局長ヨリ大阪支店幷京都代理店ニ對シ豫備整理公債證書ヲ以テ臨時交換若クハ當籤滿期償還元金代リトシテ交付スル場合新證書ニ對スル利金ハ現在ノ取扱ニ於テハ單ニ利金仕拂高ヲ報告スルノミニテ公債基金ヨリノ繰替ナルカ本業部ヨリ立替仕拂タルモノナルカ其區別不分明ニ付爾後左記書式ノ請求書ヲ調製シ申込明細書ニ添附シ回送スヘキ旨ヲ通牒シタリ

（整理公債證書申込明細書限リ別紙ニ調製スヘシ）

記

一何々公債證書額面若干

此利金何圓

内

何圓券何枚

額面若干

此利金何圓

何圓券何枚

額面若干

此利金何圓

何々公債利金

但何年何月中整理公債證書ト臨時交換ニ付何年何月ヨリ何月迄何ヶ月間端數利金ノ分

一整理公債證書額面若干

整理公債利金

國債　整理公債

此利金何圓
　内
額面若干
　此利金何圓
額面若干
　此利金何圓
　但何年何月中何公債證書ト臨時交換ニ付何年何月ヨリ何月迄何ケ月間端數利金ノ分
　又ハ何年何月當滿期償還何々公債證書元金代リトシテ何月中請求ニ付何年何月ヨリ何
　月迄何ケ月間端數利金ノ分
右ハ別紙申込明細書ノ通證書交付ニ付書面ノ利金諸公債支拂基金ヨリ繰替（公債部及本業部兩口ヨリ繰替タル時ハ基金及本業部ヨリ立替云々トスヘシ）或ハ本業部ヨリ立替仕拂置候條御回金有之度此段請求候也

年　月　日

何圓券何枚
何圓券何枚

日本銀行大阪支店長
　又ハ
日本銀行何地代理店
何々銀行何役

何　ノ　某　印

日本銀行總裁宛

又明治二十三年一月十八日大阪支店及京都代理店ニ對シ豫備證書ヲ以テ同年一月以降當籤滿期償還元金代リ整理公債證書ヲ交付スル手續等ヲ通達セリ

既記ノ如ク明治二十年四月以降大藏省ヨリ豫メ本行ヘ整理公債證書ノ交付ヲ受ケ置キ六分以上利付公債證書ト交換ヲ申出ツルモノアルトキハ本行ニ於テ直ニ舊證書ト交換ヲ行ヒ來リシカ二十二年二月會計法ノ公布アルニ及ヒ該手續ノ如キハ未タ發行ノ事實發生セサルニ先チ證書ヲ取扱銀行ヘ交付シ置クコトヽナリ會計法ノ精神ニ乖戻スルノ嫌アルニ依リ二十三年三月十二日大藏大臣ヨリ左ノ令達ヲ發シ右ノ手續ヲ改正シ豫備交付ヲ廢止セラレタリ其全文左ノ如シ

明治廿年三月當省告示第二十九號ニ據リ交換スヘキ爲メ豫備トシテ交付セシ整理公債證書及當籤元金代トシテ交付スヘキ整理公債證書取扱方ノ儀左ノ通心得ヘシ

交換スヘキ整理公債證書ヲ其行ヘ豫備トシテ相渡置候儀及命任候處右ハ本月限リ相廢候條豫備殘高ハ精算ノ上還納スヘシ尤來ル四月以降交換需望者アルトキハ其都度當省ヘ請求スヘシ

當籤元金代トシテ整理公債證書ヲ望ムモノニ對シ交付スヘキ整理公債證書ハ當省ヘ報告スル同證書請求高報告表ノ員額ヲ限リ請求次第其行ヘ下ケ渡シ置候條債主ヘ交付ノ都度國債局ヘ報告スヘシ

是ヨリ先整理公債證書應募拂込金ノ代リトシテ七分利付金祿公債證書ヲ拂入又ハ各種ノ六分以上利付公債證書ヲ以テ整理公債證書ト臨時引換方ヲ所屬管外取扱店ヘ請求スルモノアルトキ其取扱店ニハ素ヨリ印鑑等ノ届出ナキニヨリ該所有者ノ正否ヲ鑑別スルコト能ハス依テ取扱店ハ利子拂渡ヲ管理スル證書ニ限リ受理シ然ルヘキヤ明治二十年三月三十一日ヲ以テ大藏大臣ニ伺出テタルニ四月四日記名證書ニ就テハ伺ノ通無記名證書ハ何レノ取扱店ニテモ交換スヘシ但起業公債證書ノ交換ニ付テハ追テ何分ノ義達スヘキ旨指令アリタリ

然ルニ起業公債證書ハ其取扱銀行ヲ異ニスルヲ以テ同年四月十四日大藏大臣ヨリ同年三月同省告示第二十九號ニ據リ起業公債證書ニ交換センコトヲ望ムモノアルトキハ該證書ノ裏面ニ第一國立銀行若クハ三井銀行本支店又ハ代理店ノ證印アルヲ認メ之ヲ交換シ其取扱方ハ總テ他ノ公債證書ノ交換ニ準スヘク但起業公債證書ニ屬スル利子ハ右兩銀行ヨリ拂渡ス義ト心得ヘキ旨達セラレタリシカ其後十月四日ニ至リ更ニ起業公債證書ノ交付ヲ望ムモノアルトキハ前命令ノ手續ニ準據シ取扱フヘキ旨ヲ達セラレタリ

又各地方銀行ヨリ紙幣發行ノ抵當トシテ大藏省ニ差出シ若クハ其他ノ事故ニテ東京府下所在ノ官廳ヘ差出シアル六分以上利付諸公債證書ノ當籤又ハ滿期償還ニ際シ元金代リ整理公債證書ノ交付ヲ受ケントスルモ證書所管ノ取扱店ヘ該證書ヲ持參シ能ハサル場合アリ爲メニ整理公債證書ノ交付ヲ受クル能ハサルノ不便アルヨリ二十年四月二十五日當分無記名證書ニ限リ右ニ關スル場合ノ取扱手續ヲ左ノ通定メ且同月三十日ヲ以テ各取扱店ニ向ヒ其旨ヲ通達セリ

一　當籤亦ハ滿期償還證書ヲ諸官廳（東京府下ニ限ル）官金其他ノ事故ニ依リ抵當品ニ差出シ有之ヲ以テ右元金代リ整理公債證書ヲ其官廳ニ至リ當籤滿期證書ト交換ヲ望ムキハ其證書ノ記番號額面ヲ詳記シ代リ證書ヲ本行ニテ交付受度旨ノ請求書ヲ所管之取扱店ヘ差出シ其取扱店ヨリ右請求書ニ代リ證書ヲ直ニ請求者又ハ其代理人ヘ交付スヘキ旨ナル書面ノ添書ヲ受ケ持參ナサシムヘシ

一　前ノ手續ヲ爲シ請求アルキハ證書交付ノ時日ヲ通知シ其當日請求者出頭スルキハ其請求者ト共ニ本行員代リ證書ヲ携帶其官廳ニ至リ舊證書ヲ記番號書ニ照査シ受取直ニ代リ證書ハ廳

求者ヘ交付スヘシ

一　新舊證書ノ交換相濟タルキハ其旨及新舊證書ニ對スル端數利子支拂方ヲ其取扱店ヘ通知シ舊證書ハ直ニ本行ニテ整理公債交付濟ノ押印ヲナスヘシ

尋テ銀行集會所ヨリノ請求ヲ容レ大阪金庫局出張所及同地ノ官廳ヘ差入レアル公債證書ノ交換方モ前記ノ手續ニ據リテ取扱フコトヽシ同年六月二十二日ヲ以テ各取扱店及大阪支店ヘ其取扱方ヲ通達シタリ又當籤起業公債證書ニシテ右同樣ノ交換請求アルトキハ其證書所管ノ第一國立銀行又ハ三井銀行本支店若クハ代理店ヨリ交換差支ナキ旨ノ證明書ヲ受ケシメ該請求書ニ添ヘ差出サシムヘキ旨明治二十五年九月二十八日ヲ以テ各取扱店ヘ通牒セリ

從來大藏大臣ハ六分以上利付各種公債ノ償還ヲ行ハントスルニ方リテハ其都度之ニ對スル證書交換ノ請求期限及整理公債ノ利子起算月ヲ定メ豫メ之ヲ告示スルヲ例トセラレシカ此ノ如キハ徒ラニ煩冗ニ渉ルノ嫌アルヲ以テ明治二十二年三月十五日告示第二十八號ヲ以テ豫メ將來ノ取扱ヲ一定セラレタリ其全文左ノ如シ

一　明治十九年十月勅令第六十六號整理公債條例第三十條ニ據リ六分以上利付公債證書ノ元金償還ノ時本人ノ請求ニ由リテ整理公債證書ヲ交付スルトキハ日本銀行ヲシテ其請求期限及其他ノ手續ヲ廣告セシム

一　償還ヲ受クヘキ證書ノ額面五拾圓未滿ニシテ整理公債證書ノ額面ニ滿タサルモノアルトキハ之ニ他ノ六分以上利付公債證書ヲ加ヘテ前項ノ請求ヲナスコトヲ得

一　償還元金ノ代リトシテ交付スル整理公債證書ノ利子ハ請求期限内申込ヲナシタルモノニシ

テ金祿公債、中山道鐵道公債、金札引換無記名公債證書ニ對シ交付スルモノニハ償還ノ翌月ヨリ金札引換公債及起業公債證書ニ對スルモノニハ其償還月ノ十五日以前ニ在レハ下半月ヨリ月ノ十六日以後ニ在レハ翌月分ヨリ之ヲ付シ期限外ニ申込ヲナシタルモノニハ何レモ申込ノ翌月ヨリ之ヲ付ス

是ヨリ先明治二十二年一月十日大藏大臣ヨリ六分以上利付公債證書ノ內所管廳ニ於テ當籤調査漏證書ニ對シテハ整理公債條例發布後ノ當籤ニ限リ債主ノ請願ニ依リ當籤翌月ヨリノ利子ヲ付シ整理公債證書ヲ交付スヘキ旨ヲ達セラレ尋テ同年六月十日ヲ以テ右證書交付手續ヲ達セラレタリ又右所管廳當籤調漏ニ係ル六分以上利付公債五十圓未滿ノ證書ヘ未當籤證書ヲ合併シ整理公債證書ヲ請求スルモノヽ取扱方ニ關シ同年一月二十三日ヲ以テ大藏省國債局長ニ問合セシ處二月六日同局長ヨリ右ハ交換差支ナク尤モ未當籤證書ニ對スル利子ハ當籤證書同樣過渡利子ヲ追徵スヘキ旨回答アリタリ

尋テ同年十二月ニ至リ當籤證書元金代リ及臨時交換ノ爲メ整理公債證書ト引換タル交換濟舊證書ハ其新證書ヲ交付セラレタル區分ニ從ヒ還納スルコトヽナリタルニヨリ同月二十三日大藏省ノ同意ヲ經テ二十三年一月以降新證書ノ交付請求及之ニ對スル舊證書還納並ニ端數利金請求手續ヲ左ノ如ク定メタリ

整理公債證書交付請求及交換濟諸公債證書還納幷端數利金請求手續

第一項　整理公債證書ハ左ノ二種類ニ區別シ取扱フモノトス但甲乙各流用發行スルコトヲ得ス

甲ハ債主ノ請求ニ依リ其發行額ヲ確定シテ大藏省ヨリ交付ヲ受ケ直ニ發行スルモノヲ直發行證書トス

乙ハ當籤元金代リ或ハ臨時引換トシテ豫メ大藏省ヨリ交付ヲ受置キ發行スルモノヲ豫備證書トス

第二項　直發行證書交付ノ義請求スルトキハ請求書ノ外別紙ヲ以テ各請求額ニ對シ交付番號ヲ付シタル仕譯書（交付番號ハ請求書內譯一項毎ニ第一號ヨリ記載スヘシ尤該番號ハ順次差出スヘキ仕譯書ヘ逐號ヲ以テ付スヘキモノトス）ヲ該請求書ヘ添付差出シ又豫備證書ヲ發行シタルトキハ直ニ取扱店限リ豫備證書交付報告表ヲ製シ一表交付報告表ニ第一號ヨリ記載スヘシ尤該番號ハ順次差出スヘキ仕譯書ヘ逐號ヲ以テ付スヘキモノトス）ヲ該請求書ヘ添付差出シ又豫備證書ヲ發行シタルトキハ直ニ取扱店限リ豫備證書交付報告表ヲ製シ一表毎ニ交付番號ヲ付シ差出スヘキモノトス

但交付番號ハ直發行ハ「直ノ何號」豫備證書ハ「豫ノ何號」ト記入スルモノトス

第三項　整理公債證書ト交換濟ノ諸公債證書ハ各交付番號毎ニ取纏メ還納シ之レカ新證書ニ對スル支拂精算報告書中但書ノ項ヘ交付番號ヲ付シ舊證書ニ對スル支拂精算報告書還納表幷舊端數利金領收書ヲ添付大藏省ヘ差出スヘキモノトス

第四項　臨時交換及當籤滿期償還證書元金代リ整理公債證書ノ利金ハ他ノ基金ヲ以テ繰替支拂翌月中大藏省ヘ請求（請求上申書ニハ交付番號ヲ掲記スルモノトス）ス可キモノトス

尙二十三年一月七日前記手續ニ基キ整理公債證書ト交換濟舊證書還納手續（略之）ヲ制定シ之ヲ右取扱店ヘ通達シタルカ幾クモナク同年四月中仕拂ノ分ヨリ之ヲ廢止シ爾後ハ渾テ該通達以前ノ手續ニ依リ處分又ハ還納方ヲ取計フコトヽセリ

其後政府ニ於テハ借換事業大ニ其歩ヲ進メ全局ノ完了ヲ見ル將ニ近キニアラントスルニ當リ尙證

券ノ交換ヲ許ストキハ借換資金ヲシテ空シク剰餘ニ歸セシムルノ不利アリトナシ大藏大臣ハ明治二十六年三月二十二日ヲ以テ告示第九號ヲ發シ同月擧行スル六分利付金祿公債ノ償還ニ付テハ元金ノ代リトシテ整理公債證書ヲ交付スルコトヲ止メ隨テ臨時交換ノ方法モ最早之ヲ存置スルノ要ナシトシ同月二十七日告示第十號ヲ以テ之ヲ廢止セラレタリ斯クテ此廢止前即チ明治十九年六月以降二十六年三月マテノ間ニ於テ償還セラレタル六分以上利付各種公債證書ノ元金中債權者ノ請求ナキカ爲メ未拂ニ屬スルモノ頗ル多ク而シテ其請求ハ時効完成ノ日マテ何時ニテモ之ヲ爲シ得ラルヽモノナレハ之カ完了ヲ待タンニハ今後尚幾多ノ歳月ヲ要スヘキニ付政府ハ整理公債發行事務ノ速ニ終結センコトヲ希望シ同年五月二十四日大藏省告示第十八號ヲ以テ來ル八月三十一日限現金代リトシテ交付スル整理公債證書ノ發行ヲ止ムル旨ヲ公示セラレタリ

然ルニ第一國立銀行及三井銀行ニ於テ取扱銀行ノ異ルカ爲メ當籤證書ニ取扱銀行ノ認印ヲ受クル等ノ手續ヲ要シ爲メニ期限ノ後ルヽモノナキヲ保セサルヲ以テ特ニ此公債ニ關シテハ該告示ノ期限以前ニ右兩銀行ニ於テ證印ヲナシタルモノニ限リ期限後ノ申出ト雖之ヲ受理スヘキ旨同年五月三十一日ヲ以テ大藏大臣ヨリ達セラレ尚右八月三十一日マテニ兩銀行ニ於テ證印セシ證書ノ金額種類枚數ハ來九月十日迄ニ本行ヘ報告スヘキコトヽナレリ

降テ明治二十八年ニ至リ政府ニ於テ西南征討費借入金分割返償ノ擧アリ整理公債ノ募集殘額ヲ以テ之カ返償ニ充テラレシカ三十年五月ニ及ヒテ債主タル第十五國立銀行ノ希望ヲ容レ返償額ノ內二百萬圓ハ整理公債條例第三十條ニ據リ借入證引換ニ整理公債證書ヲ交付シ以テ借入金ノ滿期償還ニ充ツルコトヽシ同月十五日整理公債二百萬圓ヲ發行セラレタリ是ニ於テ證券交換事務ハ全ク結了ヲ告クルニ至レリ

今左ニ交換方法ノ區別ニ從ヒ年次ヲ逐ヒテ交換ノ概況ヲ表示スヘシ

(一)償還元金ノ代リ交付

年次	六分利付金祿公債	七分利付金祿公債	金札引換公債	起業公債	中山道鐵道公債	金札引換無記名公債	征討費借入金	合計
	円	円	円	円	円	円	円	円
十九年	二、三〇〇	六〇四、〇五〇	一、二六六、三五〇	一、〇〇〇			二六、四三八、九八五	二六、四四三、五五五
二十年	八、五八〇	二五、二五二、〇五五	四九、六〇〇	二、六〇〇			一四、四三五、六五〇	一四、四九六、四三五
二十一年	八、二五〇	一三、九三三、一〇〇	三〇、〇〇〇	三、四〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	八、五一六、三四〇	八、五八九、〇五五
二十二年	六、六五〇	一八、四九六、九〇	三、四〇〇	一、四〇〇			三、二七七、〇五五	三、二九四、四九〇
二十三年	四、九〇〇	三、二六二、〇五五						
二十四年		九五三四、六二〇	五、八〇〇	二、〇〇〇			二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇八、四九〇
二十五年	四九二、〇八〇	七四九〇	三、八九、三五〇	六、三〇三、四〇〇	一、九〇五、五五〇	五、〇〇〇	一、四三〇、三〇〇	三、三四九、〇二五
二十六年	九八三七、〇三五		五五、五五四、六五〇	六三、四、二五〇	一五、八六二、四四〇	一〇、〇〇〇	三〇、九五六、七五〇	九八三七、〇三五
總計	一四七六二七五	七一〇七三一〇〇			一七、七八八、〇〇〇	四〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二七、五四六、二三五

(二)當籤證書ヘ補足交換

年次	六分利付金祿公債	七分利付金祿公債	合計
	円	円	円
二十年	一五五	一五、〇二〇	一五、一七五
二十一年	二四〇	一四、二七五	一四、五一五
二十二年	四九五	一五、〇四〇	一五、五三五

國債　整理公債

年次	三年	四年	五年	六年	計
二十三年	三〇				三〇
二十四年	三〇〇				三〇〇
二十五年	二、一七〇	七〇			二、二四〇
二十六年	二、二二五	二、九〇五	二、九三五		七、〇六五
計	五、六一五	二、五五〇	二、八五〇		一〇、〇一五

(三)臨時交換

年次	六分利付金祿公債	七分利付金祿公債	金札引換公債	起業公債	金札引換無記名公債	合計
二十年	一三、一四〇円	一、〇九九、六九〇円	三三、八五〇円	一五〇円	一、一四四、九八〇円	
二十一年	一三〇、三五	三〇〇、一一五	三、〇五〇		四三三、九一〇	
二十二年	七八、〇八五	三九、一三五			四六九、四一〇	
二十三年	二九、四五〇	三七、九五〇	二、五〇〇		六九、八〇〇	
二十四年		三、〇〇〇			三、〇〇〇	
二十五年	一、〇〇〇			五〇〇	一、五〇〇	
二十六年	八、〇〇〇				五、九三一、一〇〇	
計	三五九、五八〇	一七二、一〇九、五九〇	二八、四〇〇	六五〇	八、一〇四、八一〇	

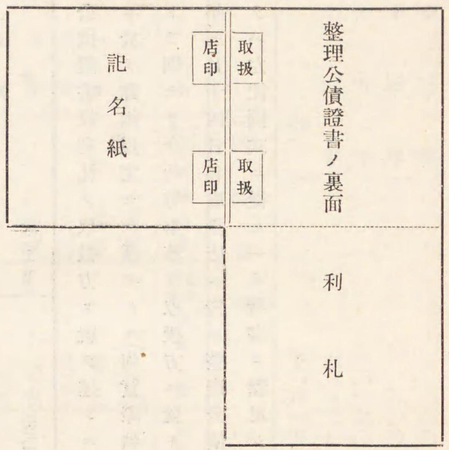
尚以上記述シタル整理公債證書ノ募集額、特別發行額及證券交換額ヲ各年次ニ區別シテ之ヲ一表ニ擧レハ左ノ如シ

年次	普通發行 現金應募	普通發行 證券應募	特別發行	證券交換發行	合計
二十年				二七、六五九、一四〇円	二七、六五九、一四〇円
二十一年		一四、八九二、〇八五		一九、〇〇一、二九五	三三、八九三、三八〇
二十二年		三、三四九、八九〇		三四、〇〇一、二九五	三七、三五一、一八五
二十三年	五、〇〇〇、〇〇〇	一、四六六、三四〇		一九、四九〇、七〇〇	二六、三五六、〇四〇
二十四年	四、九四一、三五〇	三〇、九六〇、四〇〇		四〇、九六〇、四〇〇	七六、八四二、七五〇
二十五年	一〇、〇〇〇、〇〇〇	一五、七一二、三五〇		一七、八四二、九五〇	四三、五五四、三〇〇
二十六年				二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
計	二九、九四一、三五〇	八二、八〇〇		二三五、七四八、八五〇	二六四、〇〇三、〇五〇

年次	普通發行 現金應募	普通發行 證券應募	特別發行	證券交換發行	合計
十九年	一〇、〇〇〇、〇〇〇円	一九、六三〇円	七五、〇〇〇、〇〇〇円	二七、六五九、一四〇円	一〇七、六九九、七七〇円

次ニ整理公債證書竝利札ノ取扱方ニ就テ述ンニ該取扱方ハ同公債條例取扱順序及手續並ニ公債取扱雜則等ニ於テ詳細規定セル所アルモ尚實際執務上必要ナルモノハ時々之ヲ規定シテ遺漏過誤ナカランコトヲ期セリ今此等事務ノ取扱方ニ就キ必要ノ事項ヲ左ニ記述スル所アラントス

明治二十年三月十四日各取扱店ニ對シ整理公債證書ノ記名紙ハ證書ニ添ヘテ之ヲ送付スヘキニ付各店ニ於テハ左記圖式ニ從ヒ一々證書ニ繼足シ且其繼目ヘ其取扱店印ヲ押捺スヘキ旨ヲ達セリ



右記名紙ハ從來本證書ノ枚數ニ應シ大藏省ヨリ交付セラレシモ所有者ノ本籍姓名等記入ノ際自然筆記方ヲ誤リ之カ訂正ヲ爲シ得サル場合アリ然ルニ其際更ニ代リ用紙ヲ請求セントスレハ債主ヘノ證書交付方自カラ遷延スヘキニ付是等ノ豫備トシテ記名紙三百枚豫メ本行ニ渡シ置カレ度旨明治二十年三月二十五日ヲ以テ大藏大臣ニ稟請セシニ同月三十日閣屆ケラレ記名紙ハ國債局ヨリ下渡スヘキニ付損紙出來ノ節ハ其時々事由ヲ具シ還納スヘキ旨指令アリタリ

尋テ華族世襲財産法ニ據リ本行取扱ニ係ル記名整理公債及記名海軍公債ヲ世襲財産トナスヘキ旨宮内大臣ヨリ本行ヘ命令アルトキハ世襲財産タル旨ヲ廣告シ並ニ證書記番號帳ヘ記入取扱フヘキ旨同年四月二十七日大藏大臣ヨリ本行ニ達セラレタリ仍テ本行ハ翌五月ヲ以テ之カ取扱手續ヲ左ノ通制定セリ

取扱手續

海軍整理兩公債記名證書ノ內ヲ以テ華族世襲財産創設ノ旨宮內大臣ヨリ命令アルトキハ左ノ手續ニ據リ取扱フモノトス

一　宮內大臣ノ命令ニ依リ世襲財産ノ旨第一號書式ヲ以官報並一定ノ新聞紙ヲ以テ公告シ亦其公債證書ノ所管支店亦ハ代理店ナルトキハ其取扱店ヘ通知シテ所在地ノ新聞紙ヲ以テ公告ナサシムルモノトス

一　前項ノ公告ニ依リ其公債證書記番號等ノ調査ヲ請フモノアルトキハ該記名簿ニ就キテ明示シ若故障ノ申立アルトキハ其事由ヲ記載シタル書面ヲ差出サシムルモノトス

一　公告ヲ了リタル以後三十日ヲ經テ故障申出アル分ハ其書面ノ謄本ヲ添第二號書式故障ナキ分ハ第三號書式ヲ以宮內大臣ヘ上申ノ手續ヲナスヘキモノトス

一　前項上申後世襲財産ニ定メラレタル旨命令アル毎ニ海軍整理兩公債發行記番號帳摘要欄內及記名簿賣讓渡響欄內ニ第四號雛形ノ印章ヲ押捺シ又財産其効力ヲ失ヒタルトキハ第五號雛形ノ印章ヲ押捺シ他證書ノ記番號ト判然區分スヘキモノトス

但公債證書ノ所管支店又ハ代理店ナルトキハ其取扱店ヘ通知シテ本文ノ手續ヲナサシムモノトス

一　世襲財産ト爲リタル後家督相續ニ依リ記名書替毀損汚染書替亦ハ亡紛失等ノ爲メ代リ證書

交付ノ請求アルキハ整理公債條例及取扱順序ニ隨ヒ夫々手續ヲナシ宮内大臣ヘ第六號書式ヲ以其書替亦ハ代リ證書交付ノ旨届出ノ手續ヲナスヘキモノトス

一　世襲財産其効力ヲ失ヒタル旨宮内大臣ヨリ命令アルキハ第七號書式ヲ以直ニ官報並ニ一定ノ新聞紙ニテ第一項ノ如ク公告スヘキモノトス

一　官報及新聞廣告料ハ用度課ニ於テ立替仕拂置宮内省達第七號華族世襲財産法施行手續第十九條ニ依リ本課ニ於テ其費用計算書ヲ作リ華族局ヘ請求シ其操替金交付ノキハ用度課ヘ償入ノ手續ヲナスヘキモノトス

第一號書式

華族世襲財産公告

一　整理公債額面何々圓

一　海軍公債額面何々圓

右今般世襲財産ト爲シ度旨願出候趣宮内大臣ヨリ被達候條故障アル者ハ來ル何月幾日迄ニ當銀行ヘ申出アルヘシ

但本證書ノ記番號承知被成度モノハ當銀行ヘ申出アルヘシ

明治　年　月　日

華族位爵何ノ某

同

日本銀行

第二號書式

華族位爵何ノ某世襲財産故障申出ノ義ニ付上申

華族位爵何ノ某所有何々公債額面何々圓今般世襲財産ト爲シ度旨願出候趣御達ニ付夫々公告取計候處右公債ニ對シ何ノ某ヨリ別紙寫ノ通リ故障申出候此段上申候也

明治　年　月　日

宮内大臣宛

總裁

第三號書式

華族位爵何ノ某世襲財産ノ義ニ付上申

華族位爵何ノ某所有何々公債額面何々圓今般世襲財産ト爲シ度旨願出候趣御達ニ付夫々公告取計候處公告後三十日間經過候得共何等故障申出無之此段上申候也

明治　年　月　日

宮内大臣宛

總裁

第四號雛形

七分

明治　年　月　日
爲華族世襲財産
三分

第五號雛形

七分

明治　年　月　日
華族世襲財産取消
三分

第六號書式

華族位爵何ノ某世襲財産記名書替「汚染毀損書替」ノ義上申

華族位爵何ノ某所有何々公債額面何々圓家督相續ニ依リ何ノ某記名ニ書替「汚染毀損ニ付書替」亡紛失ニ付代リ證書交付取計候條此段上申候也

明治　年　月　日

宮内大臣宛

總裁

第七號書式

華族世襲財産失効公告

華族位爵何ノ某

同

一　整理公債額面何々圓

一　海軍公債額面何々圓

右世襲財産之處今般其効力ヲ失ヒタル旨宮内大臣ヨリ被達候條此旨公告ス

但本證書ノ記番號承知被成度モノハ當銀行ヘ申出アルヘシ

明治　年　月　日

日本銀行

第七號書式

華族世襲財産失効公告

一　整理公債額面何々圓

一　海軍公債額面何々圓

右ハ其後明治二十三年七月十八日ニ至リ營業局第三課處務假規定附錄第二華族世襲財産取扱順序ノ制定ニ依リ自然廢止ニ歸シタリ

明治二十年七月以來所得稅法ヲ施行セラルヽコトヽナリタルヨリ本行ハ大藏大臣ノ許可ヲ得テ郡區吏員カ稅額取調ノ爲メ本行ヘ出張シ記名整理及海軍兩公債證書所有者人名並所有高ヲ抄錄シタキ旨郡區役所ヨリ請求アルトキハ本行ハ之ニ應シ當該吏員タルノ證憑ヲ携帶スルモノニ限リ帳簿ニ據リ抄錄ヲ許スコトヽセリ

又同年七月二十三日各取扱店ヘ通達ヲ發シ整理海軍兩公債記名證書ノ押印割印ハ國庫金取扱雜則第一、第五條中ニ規定セル日本銀行代理店印ヲ用フルコトヽシタリ（國庫編、國庫金出納所事務諸規定ノ部參照）

尋テ同月二十八日大藏大臣ノ許可ヲ經整理海軍兩公債記名證書々換方ニ關シ左ノ通定メタリ

一　整理海軍兩公債記名證書々換方ニ就テハ銀行會社學校等ニ於テ所有スルモノノ取扱方ニ就テハ官廳ニ在テハ其主管者ノ官名銀行會社ニ在テハ頭取社長ノ肩書アル姓名ヲ記載シ役印ヲ押捺セシメ而シテ該役印ハ官廳ヲ除キ銀行會社學校等ノ分ハ場合ニ依リ其所管區戸長ノ證明ヲ受ケ差出サシムルコト

一　前條主管者又ハ頭取等變更ノ場合ハ證書名義ヲ書換フヘキコト

一　丁年未滿ノ所有者ニシテ後見人ノ名義ヲ記載シタル證書ニ在テハ其後見人變更ノ場合ニ於テ前條同樣證書名義ヲ書換フヘキコト

然ルニ其後實際ノ取扱上證書名義ノ書換ハ本行ノ手數ヲ要スルコト頗ル夥シキノミナラス債主ノ不便亦勘カラサルニヨリ翌二十一年七月十二日大藏大臣ノ許可ヲ經テ證書名義ノ書換ヲ止メ單ニ記名臺帳ノ名義ヲ更正スルコトヽシ同年八月三日付ヲ以テ其旨各取扱店ヘ通達セリ

從來整理海軍兩公債記名證書ヲ甲代理店ノ取扱ヨリ乙代理店ノ取扱ニ變換シ若クハ讓賣渡人ト讓買受人ト各取扱店ヲ異ニスル場合ノ記名書換請求ハ該公債事務順序第三章第三十九條及第四十條ニ據リ甲店ハ式ノ如ク記名書換押印割印及ヒ乙店ヘ報道ノ手續ヲ爲シ乙店ハ該報道ト所有者ノ登

錄請求ニ據リ單ニ記名簿ヘ登錄スルニ止マリタルモ該手續ニ依レハ證書面ニ於テハ乙店登錄ノ濟
否ヲ知ルコト能ハス尚爾後屢々取扱店ヲ變換スルコトアラハ一層不明ニ陷リ將來讓賣渡人及讓買
受人トモ大ニ不便ヲ感スルニ至ルヘキニ依リ明治二十年八月六日大藏大臣ノ認可ヲ經右ノ場合ニ
ハ乙店以下ニ於テ右登錄濟ヲ證スル爲メ該證書記名欄外ニ「何地代理店何年何月何日登錄濟」ノ印章ヲ順次押捺シ而
シテ若シ其順次押印記名欄外ニ止マラスシテ次欄外ニ及ホス場合ニ於テハ其次欄內ヘハ朱線ヲ引
キ以テ次回ノ記名書換ニ用ヒサルコトニ定メタリ

又整理海軍兩公債記名證書ノ每期利子拂渡期限前若クハ期限中記名書換停止等ニ就キ該公債證書
條例中ニ何等ノ明文ナカリシカ同公債證書ノ發行高モ漸次增加シ到底每期利子拂渡ト記名書換ト
ヲ同日ニ處理スルコト能ハサルニ至リシヨリ明治二十年八月十二日大藏大臣ノ認可ヲ得テ爾後該
利子拂渡期ノ前月(整理公債ハ五月十一月海軍公債ハ四月十月)十五日ヨリ其證書ニ對スル利子拂渡
濟ノ日迄記名書換ヲ停止シ其旨每期官報又ハ新聞紙ヘ廣告若クハ店頭ヘ揭示スルコトヽセリ

尙之ト同時ニ整理海軍兩公債記名證書ヲ外國人ニ於テ讓買受名義書換ノ請求アリタルトキハ整理
公債海軍公債事務順序第三十條ニ據リテ取扱ヒ記名ハ橫文ヲ以テ記入セシメ其傍ニ片假名ヲ附セ
シムヘク又元利金ハ本人自記ノ姓名鑑ニ據リ拂渡方取計ヒ內國人カ戶長ノ保證ヲ要スル場合ニハ
領事ノ保證ヲ經ヘキコトニ大藏大臣ノ認可ヲ經タリ

然ルニ幾クモナク同月二十六日大藏大臣ニ於テ右ノ認可ヲ取消シ今後外國人ニ於テ實際記名證書
ヲ買受ケ名前書換ノ請求ヲナシタルモノアルトキハ該外國人ノ住所姓名及金高等詳細具狀シ更ニ
處分方ヲ伺出ツヘキ旨ヲ達セラレタリシカ其後外國人某ヨリ整理公債無記名證書ヲ記名證書ニ變

換センコトヲ請求セシモノアリ依テ其取扱方ニ就キ同年十月十九日大藏大臣ニ伺出テタル處十一
月五日ヲ以テ右ノ場合ニハ自記ノ氏名鑑ヲ差出サシメ請求書ノ氏名ヲ之ニ照合スルニ止メ別ニ保
證ヲ要セス書換ノ手續ヲナスヘク而シテ證書ニ記載方ハ片假名ヲ以テ本人ノ氏名ヲ記入シ其下ニ
橫文ヲ附スルコトヽシ又利子拂渡ノ際ハ前記氏名鑑ニ照合シテ拂渡ヲナスヘキ旨ヲ指令セラレタ
リ

尋テ同年十月十八日大藏省訓令第六十三號ヲ以テ整理及海軍兩公債記名證書所有者ノ後見人ニ於
テ其記名證書ヲ無記名證書ニ變換又ハ讓賣ノトキ及六分以上利付記名公債證書ヲ整理公債證書ニ
引換フルトキハ親族連署ヲ爲シ區戶長ニ於テ證明セシムヘキ旨道廳府縣ヘ達セラレタリ

又整理海軍兩公債記名證書ノ所有者幼年ノ場合ニ於テ其後見人名義ノ證書交付ノ後該證書ヲ無記
名ニ變換又ハ賣却等ノ節ハ後見人一名ノ請求ノミニテ取扱ヒ他ニ親族ノ連署ヲ要セサルヤ否ニ付
二十年九月八日ヲ以テ大藏大臣ニ伺出テタルニ同月二十四日親族ノ連署ヲ要スル旨ノ指令アリ尋
テ同月三十日ヲ以テ從前發行ノ諸公債當籤滿期償還ノ際其元金受取又ハ元金代リ整理公債交付請
求ノ如キモ其請求書ニ親族二名以上ノ連署ヲ要スヘキヤ否ニ付更ニ伺出テタルニ十月十四日連署
ニ及ハサル旨指令アリタリ

翌明治二十一年四月二十一日ニ至リ整理海軍兩公債證書ノ記名者カ白痴瘋癲トナリ又ハ幼年者記
名ノ證書カ後日ニ至リ後見人ヲ要スル等ノ事故ニヨリ新ニ後見人ヲ設ケシ旨ヲ以テ親族連署ノ上
區戶長ノ證明ヲ經タル書面ヲ添ヘ該證書ノ記名書換ヲ請求スルモノアリタルトキノ記名式ヲ左ノ
通定メタリ

國債　整理公債

此證書拙者後見人ニ相立引受候事實正也

何某後見人

何　某　印

尋テ同年七月二日右兩公債所有者ノ內實際幼年ナルモ戶主ニアラサルカ爲メ本人ノ名義ニテ已ニ印鑑證明ノ手續ヲ了ヘタルモノ其後自己所有ノ公債ヲ携帶シ他家相續ノ場合ニ於テ玆ニ始メテ後見人ヲ要スルコトヽナリ改姓屆ト共ニ新規後見人ヲ設定セシ旨其後見人ヨリ申出證書ノ書換檢印ヲ請求スルモノアリタルトキノ書換書式ヲ左ノ通定メタリ

此證書何某(即幼年者トシテ前所有主)何家相續ニ付拙者後見人ニ相立引受候事實正也

何某後見人

何　某　印

又記名證書ヲ戶主ニアラサル未丁年者ノ名義ニ書換ヘンコトヲ請求スルモノアルトキ該請求書ヘノ連署及證書ヘノ記名印鑑徵求方等ニ就キ明治二十一年七月十一日大藏大臣ノ指令ニ依リ右ノ場合ニハ財產管理人ヲ定メ戶主未丁年者ニ於ケル後見人同樣ノ取扱ヲヽナサシムルコトヽ定メタリシカ其後二十八年八月十日ニ至リ更ニ經伺ノ上前指令ヲ取消シ新ニ正當ノ管理權ヲ有スルモノヲシテ成規ノ手續ヲ爲サシムルコトヽセラレタリ(本編一般、登錄ノ部參照)

整理公債證書條例第十五條ニ無記名證書ヲ記名ニ變換セントスルモノハ其請求書ニ戶長ノ奥印ヲ受クヘキ旨ヲ規定シアルモ其奥書ハ該請求書ノ全部ヲ保證スルニ在ルヤ若クハ所有者ノ在籍ト印鑑トヲ保證スルニ在ルヤ成文上不明ニ付明治二十一年十月三十一日其解釋方ヲ大藏大臣ニ伺出テタルニ十一月二日後段見解ノ通タルヘキ旨ヲ指令セラレタリ

又七分利付金祿公債證書ノ所有者逃亡シタル後之カ管財人ハ每期其利子ヲ受取リ來リシニ該公債證書ハ當籤トナリ之カ元金代リ整理公債證書ヲ該管財人ヨリ請求シ來リタルトキハ新證書ノ所有者名義ハ本人トスヘキヤ將タ管財人名義トスヘキヤニ付前項同樣大藏大臣ニ伺出テタルニ右ハ何某財產管理人何某ト記名スヘキ旨指令アリタルヲ以テ整理公債證書債主死亡後廢家トナリ親族協議ノ上遺留財產引受ノ爲メ證書書換方ヲ請求シ來リタルトキハ證書裏面枠內ヘハ左記書式ノ通リ記入セシムルコトニ定メタリ

此證書何家廢家ニ付拙者引受候事實正也

年　月　日

何　某　印

(被後見者ノ)何某後見人

何　某　印

是ヨリ先明治二十年八月十二日整理海軍兩公債事務順序第六十一條及第六十六條ニ於ケル從前發行六分以上利付諸公債ノ當籤又ハ未當籤證書ヲ本行本支店及代理店ニ於テ預リ置キタル場合所有者ニ於テ其預リ證書ヲ他ヘ抵當等ニ差入ルヽモ苦シカラサルヤヲ大藏大臣ニ伺出テシニ同月二十日ヲ以テ右ハ已ニ抵當ニ差入レアル公債證書ニ對スル預リ證書ニ限リ伺ノ通ト指令アリタリ

尙又二十一年五月二十一日ニ至リ整理公債條例第二十五條ニ依レハ紛失無記名證書ハ其屆出ヨリ滿六箇年ヲ過キ云々トアリ其紛失トハ單ニ紛失セシ分ハ勿論盜難ニ罹リタル分モ包含スルモノト

見テ可然哉將又滿六箇年ノ起算方ハ其届出ノ月ヨリ月數ヲ以テスヘキヤノ二項ニ付大藏大臣ニ伺
出テタルニ同月二十四日右ハ伺ノ通タルヘキ旨指令アリタリ
尋テ同年六月六日ヲ以テ整理海軍兩公債記名證書ニ對シ已ニ拂渡シタル利札ノ內取扱店ニ於テ紛
失セシ分ハ所有者ニ於テ右利金ハ相違ナク領受シタル旨ノ證明書ヲ利札ト看做シ還納方取計度旨
大藏大臣ニ上申シタルニ同月十三日所有者ノ證明ハ添附ニ及ハサル旨ノ指令アリタリ
從來整理海軍兩公債證書及利札ノ盜難又ハ紛失ニ罹ル分ハ官報ヲ以テ日數三日間廣告シ而シテ該
廣告料ハ整理公債條例第二十一條ニ據リ其本人ヨリ徵收スルコトヽナリ居リシカ往々紛失利金ヨ
リ廣告料ノ方多額ヲ要スル場合アリテ本人ノ迷惑勘カラス然ルニ條例ニ於テハ必スシモ廣告日數
ヲ限定セサルニヨリ明治二十一年七月以降ハ無記名證書ニ限リ廣告日數ヲ二日間記名證書及利札
記名、無記名共ヲ何レモ一日間ト定メ支店及代理店ニ於テモ之ニ準シ取扱ヒ而シテ他日證書發見シタルト
キノ廣告方ハ渾テ一日間ト心得ヘキ旨同月十三日各取扱店ヘ通達セリ
元來整理海軍兩公債證書募集及當籤滿期償還元金代リ整理公債證書交付ノ際ハ大藏省ヨリ證書交
付ノ種類ニ基キ本行ニ於テ夫々區別相渡シ來リタルモ往々證書交付後大額面ヲ小額面ニ小額面ヲ
大額面ニ交換セシコトヲ請求スルモノアリ然ルニ本行ハ一々之ニ應スルコト能ハサルノ事情アル
ニ依リ特ニ不得止モノニ限リ本行所有ノ分ヲ以テ交換取計ヒタルコトアルモ本行所有ノ分モ自カ
ラ限リアリ自然多數ノ請求ニ應スルコト能ハス而モ之カ爲メ賣却上ノ不便ヲ釀シ從テ價格ニ影響
ヲ及ホスコトアルヘキニ付明治二十一年七月二十三日ヲ以テ大藏大臣ニ稟請スルニ交換請求者ヲ
シテ製造費ヲ仕拂ハシメ大小券交換ノ義許可アリタキ旨ヲ以テシタルニ同月二十七日ヲ以テ許可

セラレ本編一般取扱ノ部參照爾來之ニ依リテ取扱ヒ來リシカ右製造費ヲ徵收スルコトハ二十二年二月發布法
律第四號會計法ノ規定ニ照ラシ牴觸ノ嫌アリトシテ同年七月二十日大藏大臣ヨリ右製造費ハ二十
三年度ヨリ徵收セサルヘキ旨ヲ達セラレ引續キ二十三年二月四日ニ至リ前揭大小券ノ交換ヲ廢止
スヘキ旨ヲ達セラレタリ
又明治二十三年六月大藏省令第十六號第二條ヲ以テ整理公債證書發行ノトキ利札額ニ滿タサル利
子ハ月割利札ヲ添ヘ證書ト共ニ交付スヘシト達セラレ尋テ七月七日大藏大臣ヨリ本行ヘ對シ右月
割利札ハ製造中ニ付目下月割利札ヲ要スルモノアルトキハ本年十二月渡利札ヘ印肉ヲ以テ利金額
ヲ修正シ其月割ヲ押捺シテ公債證書ニ附着ノ儘下付スヘキニヨリ十二月ニ至リ該利札ト引換ニ現
金ノ仕拂ヲナスヘキ旨達セラレタリ依テ同月九日並ニ十月二十八日ヲ以テ本行ヨリ各取扱店ヘ對
シ適宜月割利札渡簿ヲ設クル件其他交付方報告方等ニ關シ詳細通達スル所アリ尋テ二十四年八月
四日ニ至リ右渡簿ハ之ヲ廢止セリ
以上整理公債ニ關スル法令、取扱手續、事務順序、發行竝證券利札取扱方等ニ就テ叙說スル所アリシカ
以下本公債ノ償還及仕拂ニ就テ少シク述フル所アラン
明治十九年十月大藏省令第三十號整理公債取扱順序ニ於テ利子仕拂元金償還等ノ手續ヲ規定セラ
レ又同月十九日整理公債ノ取扱方ヲ本行ニ命セラレ尋テ同月三十日ヲ以テ同公債利金仕拂取扱方
ヲ達セラレタリ其條項左ノ如シ

本年十月十九日命令第十五條ニ據リ整理公債利金支拂方ニ關シ左ノ條件ヲ遵守シ取扱フヘシ
第一條　整理公債ノ利子ニ充ツヘキ基金ハ國債局長ヨリ金庫局ニ宛テタル支拂切符ヲ以テ交付

スヘキニ由リ支拂期月ニ先チ請求書ヲ當省國債局ヘ差出スヘシ但整理公債取扱順序第八條保證金還付額ニ對スル利子幷ニ同第十五條發行ノ時拂渡スヘキ利札面未滿ノ利子ハ募集金ヨリ繰替支辨シ該金額ノ下渡ヲ國債局ヘ請求スヘシ

第二條　前條ニ據リ支拂切符ヲ受取リタルトキハ國債局長ニ對シ領收證書ヲ差出スヘシ

第三條　第一條ノ支拂基金ハ其行ニ於テ無記名證書ニ屬スルト記名證書ニ屬スルトヲ區別セス總テ豫算ヲ以テ本支店及代理店ヘ配賦スヘシ

第四條　整理公債ノ利金ハ利札引換ニ之ヲ持參スルモノニ支拂フヘキニ由リ利札ノ眞正ナルヲ認ムルノ後之ヲ支拂フヘシ但記名證書ノ利札ハ相當ノ手續ヲ以テ記名者又ハ記名者ノ代理人タルコトヲ認ムヘキモノニ限リ之ヲ支拂フモノトス

第五條　債主ノ未請求ニ由リ整理公債利金支拂期日內ニ其支拂ヲ了セス支拂基金ニ殘餘ヲ生スルモノアルトキハ翌年度六月三十日マテ其行ニ於テ之ヲ預リ置キ期日後請求ノ支拂ニ充ツヘシ

第六條　其行ハ毎月支拂ノ精算帳ヲ製シ支拂濟利札並利札還納表相添ヘ翌月二十日マテニ之ヲ國債局ヘ差出シ國債局長ノ認可ヲ受クヘシ但北海道及沖繩縣代理店ノ取扱ニ係ルモノニ限リ本文ノ期日マテニ精算ニ至ラサルモノアルトキハ翌月分ノ精算帳ニ編入スルモ妨ナシ

第七條　債主ノ未請求ニ由リ翌年度六月三十日マテニ利金ノ支拂ヲ了セサルモノアルトキハ其行ニ於テ支拂未濟報告書ヲ製シ翌年度七月三十一日マテニ之ヲ國債局ヘ差出スヘシ

第八條　前條ノ未請求ニ由リ支拂基金ニ殘餘ヲ生スルモノアルトキハ國債局長ヨリ其行ヘ返納

告知書ヲ交付スヘキニ由リ之ニ現金又ハ國庫金取扱所ノ預リ證書ヲ添ヘ金庫局ヘ納付スヘシ

第九條　第七條未拂ノ利金ニシテ翌年七月一日以降請求スルモノアルトキハ現年度ノ支拂基金ヲ以テ繰替支辨シ基金ナキトキハ其行本業部ヨリ立替支辨スヘシ但本文ノ立替金ニハ相當ノ利子ヲ付スルモノトス

第十條　前條ノ繰替金又ハ立替金ハ一ケ月分ヲ取纏メ立替金ニ係ル利子ハ年二回ニ當省國債局ヘ請求スヘシ

右利金仕拂取扱方ハ專ラ募集金ノ內ヲ以テ支出スル利金ノ仕拂方ノミニシテ未タ公債證書ノ取扱方及國債費中ヨリ支出スヘキ元利金仕拂方ニ付テハ何等ノ令達モナカリシ處明治二十年四月十四日ニ至リ大藏大臣ヨリ左ノ通前令達ヲ改正シ尙當籤滿期償還ニ係ル元利金仕拂方幷ニ證書取扱等ニ關スル手續ハ本行ニ於テ取調至急伺出ツヘキ旨ヲ達セラレタルハ該仕拂方手續ハ旣記整理公債海軍公債事務取扱順序ニ於テ規定シタリ今其改正令達全文ヲ錄スレハ左ノ如シ

第一條　整理公債定期ノ利子ハ支拂期月ニ先チ請求書ヲ當省ヘ差出シ整理公債取扱順序第八條保證金還付額ニ對スル利子幷ニ同第十五條發行ノ時拂渡スヘキ利札面金額未滿ノ利子ハ募集金ヨリ繰替支辨シ該金額ノ下ケ渡ヲ當省ヘ請求スヘシ

但國債局長ヨリ仕拂切符ヲ以テ交付スヘキコトアルヘシ其場合ニアツテハ同局長ヘ對シ請求書ヲ差出シ本文下ケ渡金ト區別シ計算スヘシ

第二條　前條ノ支拂基金ハ其行ニ於テ無記名證書ニ屬スルト記名證書ニ屬スルトヲ區別セス總テ豫算ヲ以テ本支店及代理店ヘ配賦スヘシ

第三條　整理公債ノ利金ハ利札引換ニ之ヲ持參スルモノニ支拂フヘキニ由リ利札ノ眞正ナルヲ認ムルノ後之ヲ支拂フヘシ

但記名證書ノ利札ハ相當ノ手續ヲ以テ記名者及ハ記名者ノ代理人タルコトヲ認ムヘキモノニ限リ之ヲ支拂フモノトス

第四條　債主ノ未請求ニ由リ整理公債利金支拂期日内ニ其支拂ヲ了セス支拂基金ニ殘餘ヲ生スルモノアルトキハ翌年度六月三十日マテ其行ニ於テ之ヲ預リ置キ期日後請求ノ支拂ニ充ラ六月三十日ニ到リ尚ホ殘餘アルトキハ七月三十一日限リ返納上申書ヲ當省ヘ差出シ現金ハ金庫局ヘ返納スヘシ

但國債局長ヨリ仕拂切符ヲ以テ交付シタルモノニシテ毎年三月三十一日マテニ支拂ヲ了セサルモノアルキハ支拂未濟報告書ヲ製シ四月三十日マテニ國債局長ヘ差出シ支拂殘金ハ其後ノ請求ニ充テ置キ其返納ヲ要スルトキハ同局長ヨリ納額告知書ヲ交付スヘキニ由リ之ニ現金ヲ添ヘ金庫局ヘ返納スヘシ

第五條　前條未拂ノ利金ニシテ返納以降請求スルモノアルトキハ現年度ノ支拂基金ヲ以テ繰替支辨シ基金ナキトキハ其行本業部ヨリ立替支辨スヘシ

但立替金ニハ相當ノ利子ヲ付スルモノトス

第六條　前條ノ繰替金ハ其都度立替金ニ係ル利子ハ年二回ニ當省ヘ請求スヘシ

第七條　其行ハ毎月支拂タル實際額ヲ取纏メ（拂渡期及支拂タル金員ノ年度ヲ區別スヘシ）翌月二十日限リ國債局ヘ報告スヘシ

第八條　拂濟利札ハ還納表及精算報告書相添ヘ翌月二十日マテニ之ヲ國債局ヘ還納スヘシ

但國債局長ヨリ仕拂切符ヲ以テ交付シタル分ハ別ニ精算帳ヲ製シ本文ノ期日マテニ同局ヘ差出シ同局長ノ認可ヲ受クヘシ

其後明治二十三年三月二十九日ニ至リ大藏大臣ヨリ諸公債事務取扱命令ヲ統一シテ一命令トシ四月一日ヨリ實施セラルヽニ及ヒ前記命令書ハ同年三月三十一日限廢止ニ歸シタリ

從來當簽滿期償還證書幷當簽元金代リ交付整理公債證書ニ對スル端數利子ハ其證書ノ枚數ニ依リ計算シ來リシカ計算上不便少カラサルニヨリ明治二十年五月二十七日大藏大臣ノ認可ヲ經テ同年六月仕拂ノ分ヨリ之ヲ公債ノ種類毎ニ合計シ此合額面ニ對シ利子ヲ算出スルコトヽセリ

降テ明治二十三年十一月大藏省令第三十號ヲ以テ整理公債取扱順序第十五條中當簽又ハ滿期償還公債端數利子拂渡方ヲ改正セラレシカ同月中仕拂ニ係ル分ハ時日將ニ切迫シ其改正ノ次第ヲ周ネク各地取扱店ヘ知ラシムルコト能ハサルヘキニヨリ此分ニ限リ從來通償主一人別償還高ニ對シ領收證書ヲ以テ拂渡ヲ爲シ十二月一日ヨリハ改正ノ趣旨ニヨリ證書一枚毎ノ利金月割ヲ以テ拂渡スコトヽシ且同月以降償還濟證書及月割利金ハ左記還納表ヲ調製進達致度旨同年十一月十一日ヲ以テ大藏大臣ニ稟請セシニ同月十八日聞屆ケラレタルニヨリ同月二十日付ヲ以テ各取扱店ヘ右ニ關スル手續ヲ通達セリ

（元金償還ノ分）

（元金代リ整理公債證書ト交換ノ分）

償　第　何　號

何年何月（當籤）（滿期償還）	何公債證書及利札還納表	日本銀行

證書種類	枚數					元金							利金							
	萬	千	百	拾	壹	百	拾	萬	千	百	拾	圓	萬	千	百	拾	圓	拾	錢	厘
何圓券																				
一枚利金若干																				
合計																				

又端數利子拂渡方ニ關シ二十三年十二月八日大藏省國債局長ノ同意ヲ經同月十七日付ヲ以テ左ノ通各取扱店ヘ通達セリ

一　本年五月以前當籤七分利子金祿公債元金代リ整理公債證書ニ對スル本年六月迄ノ端數利子支拂未濟ニシテ當十二月一日以降拂渡ニ係ル分

一　假令ハ二十年三月當籤管廳調洩ニ係ル七分利付金祿公債證書ヲ目下發見シ該元金代リ整理公債證書交付ニ係ル分ハ同年四月ヨリ六月迄三ケ月分端數利子可拂渡分（同年七月以降則同年十二月渡以降ハ勿論每期利札ヲ付セラルヘシ）

右二項ノ端數利子ハ別段月割利札ヲ付セラレサルニ付今後トモ從前ノ通リ領收證書ヲ徵シ其時々拂渡スヿ尤該端數利子ノ算則ニ限リ當十二月一日以降ト雖證書一枚每ヲ要セス債主一人每ノ交付額面ヲ以テ算出スルヿ

元來整理公債ノ元金ハ同公債條例第九條ニ據リ募集ノ年ヨリ五箇年間据置キ其翌年ヨリ向五十箇年間ヲ限リ隨意抽籤ノ方法ニ據リテ償還セラルヘキモノナリ故ニ政府ニ於テハ明治二十年發行（整理公債二十年ノ第一回募集ハ十九年ナレトモ應募金ノ拂込ハ翌二十年ニ跨リ隨テ之ニ對スル證券ハ總テ二十年ノ發行ニ係レリ）ノ證券ニ對スル元金ハ當ニ同二十五年ヨリ償還セラルヘキ豫定ナリシニ初メ整理公債發行ノ目的タル高利國債借換事業ハ市場ノ金融事情ニ妨ケラレ其豫定期限タル二十四年度マテニ完了スルヲ得ス延テ二十六年四月ニ至リ漸ク整理ノ一段落ヲ告ケタル有樣ナリシヲ以テ此時マテ未タ償還ヲ開始スルノ運ヒニ至ラサリキ尋テ二十七八年ノ戰役アリ爲メニ軍費ノ需要多額ニシテ新ニ公債ヲ募集スルノ擧アリ從テ公債償還ノ如キハ容易ニ着手スルノ運ヒニ至ラス漸ク二十九年三月ニ及ヒ玆ニ始メテ證券券面一萬圓ノ抽籤償還ヲ

擧行セラルヽニ至レリ之ヲ此公債ニ於ケル償還ノ嚆矢ナリトス恰モ此時ニ當リ國債證券買入銷却法ノ發布アリテ市況亦此法律ノ施行ニ適セシヲ以テ政府ハ同年九月以降專ラ買入法ノ規定ヲ適用シ毎年度國債費豫算定額内ニ於テ屢次證券ノ買入銷却ヲ行ハレ其後三十五年度ニ於ケル一回ノ抽籤償還ヲ除クノ外ハ引續キ買入銷却法ヲ採用シ明治四十二年末ニ至リテハ其償還セラレタル高一千二百四十四萬七千七百圓内抽籤償還額百萬七千百圓買入銷却高千百四十四萬六百圓ニシテ現在未償還額ハ一億六千二百五十五萬二千三百圓ナリトス今抽籤執行及買入銷却ノ年月及種類ヲ表示スレハ左ノ如シ

年次	償還高	内譯 普通償還	内譯 買入銷却
二十九年	四三五、七五〇円		四二五、七五〇円
三十一年	五、一三八、二〇〇	一〇、〇〇〇円	五、一二八、二〇〇
三十二年	七三二、四五〇		七三二、四五〇
三十五年	一、三五七、一五〇	九九七、一〇〇	三六〇、〇五〇
三十六年	二〇八、一〇〇		二〇八、一〇〇
四十一年	四、五六七、二五〇		四、五六七、二五〇
四十二年	八、八〇〇		八、八〇〇
總計	一二、四四七、七〇〇	一、〇〇七、一〇〇	一一、四四〇、六〇〇

第十二章　鐵道費補充公債

鐵道費補充公債ハ中山道鐵道公債募集金ヲ以テ計畫シタル鐵道敷設費ノ不足ヲ補充スル爲メニ起債セラレタルモノニシテ其條例ハ明治二十二年一月二十九日敕令第六號ヲ以テ公布セラレタリ其全文左ノ如シ

鐵道費補充公債條例

第一條　鐵道費補充公債ハ神奈川縣下戸塚横須賀間滋賀縣下大津長濱間ノ鐵道敷設資金ヲ補充スルカ爲メ證書額面貳百萬圓ヲ限リ募集スルモノトス

第二條　此公債募集ノ方法元金ノ償還年限利子歩合利子仕拂期月及其他ノ事項ハ總テ明治十九年勅令第六十六號整理公債條例ニ依ル

尋テ同月三十一日大藏大臣ヨリ前揭條例及大藏省告示第十四號募集手續（後段參照）ニ依リ發行スル公債ノ取扱ヲ命スルニ付其取扱手續ハ明治十九年六月十六日付命令海軍公債取扱方（本編海軍公債ノ部參照）ニ準據スヘキ旨達セラレタリ

是ニ於テ同年二月一日大藏大臣ノ認可ヲ經テ地方ニ於ケル該公債取扱事務ハ從來ノ本行代理店ニ於テ取扱ハシムルコトヽセリ

次ニ本公債ノ發行ニ就テ之ヲ述フレハ政府ハ條例所定ノ金額二百萬圓ヲ一時ニ募集スル爲メ明治二十二年一月三十一日大藏省告示第十四號ヲ以テ其募集手續ヲ左ノ通公示セラレタリ

一　本年一月勅令第六號鐵道費補充公債條例ニ據リ鐵道費補充公債額面貳百萬圓ヲ募集スルモノ

トシ其價格ハ證書額面百圓ニ付金百圓トス

一　應募者ハ來ル二月十五日ヨリ同二十日迄ニ應募金額價格及住所姓名ヲ詳記シ日本銀行本支店又ハ代理店ヘ申込ムヘシ

一　應募者ハ申込ノトキ應募額百圓ニ付金拾圓ノ割合ヲ以テ保證金ヲ拂込ムヘシ

一　大藏大臣ハ來三月五日マテニ各應募者ニ交付スヘキ證書ノ高ヲ定メ日本銀行ヨリ通知セシムルニ付其高ニ對スル金額ノ內保證金ヲ引去リ跡金ノ拂込ヲ二期ニ分チ來三月十五日ヨリ同二十一日マテヲ第一期トシ同四月十日ヨリ同十五日マテヲ第二期トシ第一期ニ證書額面百圓ニ付金五拾圓第二期ニ殘額ヲ拂込ムヘシ

一　前各項ノ外ハ整理公債募集ノ手續ニ據ルモノトス

右募集手續ニ基キ同年二月二日募集ニ關スル取扱細則ヲ定メ各取扱店ヘ通達セリ斯クテ募集方公示以來申込終期迄ヲ通算シ其日子僅々一箇月ニ滿タサルニ時恰モ市場金融緩慢ノ機ニ會シタレハ其應募額ハ實ニ意外ノ多額ニ上リ期日迄ニ申込ヲ爲シタル各地ノ應募額ハ總計五百四十四萬二千三百五十圓內價格以上申込高二百八十三萬千五百圓ニ達シタリ依テ同年三月四日大藏大臣ニ經伺ノ上申込價格ノ最モ高キモノ即チ百四圓三十錢ヨリ百圓五錢一厘迄ノ申込高百八十四萬六千九百五十圓ハ整理公債條例第七條ニ據リ順次算入シ又百圓五錢ノ申込高四十七萬二千五百五十圓ノ內百圓ハ同條但書ニ依リ募入トシ殘額十五萬二千九百五十圓ハ同價格申込總額ニ平等ニ割合セテ募入トナシ因テ以テ二百萬圓ノ募集總額ニ充テ其減却ニ係ル高三百四十四萬二千三百五十圓ハ都テ除却シ其旨成規ノ通官報新聞紙ヘ廣告シ且各取扱店及應募者ヘ通牒ノ手續ヲ爲セリ

既記ノ如ク鐵道費補充公債ノ元金償還利子仕拂等ハ總テ整理公債條例ニ準據シ利子ハ毎年六月、十二月ノ兩度ニ於テ仕拂ヒ其元金ハ有期隨時仕拂ノ法ヲ用ヒ募集ノ年即明治二十二年ヨリ五箇年間据置二十七年ヨリ五十箇年間抽籤法ヲ以テ償還スヘキモノトセリ然ルニ明治二十六年ニ至リ政府ハ六分以上利付公債ノ悉皆償還シ終レルヲ俟テ更ニ五分利付公債ノ整理ニ着手シタルニヨリ該公債モ長期ノ償還年限ヲ有スルニ拘ラス据置年限ノ經過スルヤ二十七年三月二十六日大藏省告示第六號ヲ以テ同年四月中ニ全部償還スヘキ旨公示セラレタリ依テ同年三月三十日其償還ニ關スル取扱手續ヲ各取扱店ヘ通達シ豫定ノ通リ同月限償還ヲ完了セリ

第十三章　鐵道公債

維新以來政府ハ鋭意鐵道ノ敷設ヲ圖リ爲メニ九分利付外國債ヲ始メトシ起業公債、中山道鐵道公債及鐵道費補充公債等ヲ起シタルカ尚進ンテ普ク全國ノ鐵道ヲ完成スルノ目的ヲ以テ玆ニ鐵道敷設法ヲ定メ明治二十五年六月二十一日法律第四號ヲ以テ之ヲ公布セラレタリ其第一章總則ニ於テ鐵道敷設ニ要スル費用ハ公債ヲ募集シテ之ニ充ツルコト及其利率ヲ一箇年百分ノ五以下ト定ムルコト等ヲ規定シ其他此公債ニ關シ本法ニ規定ナキモノハ總テ整理公債條例ニ據ルヘキモノトセリ又第二章ニハ豫定線路中第一期間ニ於テ實測及敷設ニ着手スヘキ線路及之カ成功期限ヲ定メ此第一期鐵道敷設ノ費用ニ充ツルカ爲メ六千萬圓ヲ限リ明治二十五年度ヨリ十二箇年間漸次公債ヲ募集スル等ノ規定ヲ揭ケ第三章ニハ私設鐵道ノ處分第四章ニハ鐵道ノ會議ニ關スル規定ヲ設ケラレタリ尋テ翌二十六年三月六日ニ至リ法律第十一號ヲ以テ公債募集年限ノ起點ヲ改正シ又二十七年六月十二日法律第十一號、二十八年三月六日法律第六號ヲ以テ豫定線路ノ改正及追加ヲ爲シ越エテ三十四年四月四日法律第十九號ヲ以テ公債募集豫定額六千萬圓ヲ九千五百萬圓ニ增加シ且募集年限ヲ廢止セリ尋テ三十五年二月十五日法律第五號ヲ以テ鐵道敷設法ノ條項中ニ改正追加ヲ爲シ同年三月二十五日法律第三十二號ヲ以テ第一期間ニ於テ實測着手スヘキ豫定線路ニ追加ヲ爲シ翌三十六年六月十一日ニ至リ法律第一號ヲ以テ鐵道敷設法中ニ改正ヲ加ヘ又同月十七日法律第六號ヲ以テ公債募集豫定額九千五百萬圓ヲ一億二百萬圓ト改正セリ降テ三十九年三月二十二日ニ至リ法律第十四號、四十年三月十八日法律第十號、四十一年三月十四日法律第十六號ヲ以テ豫定線路及第一期間ニ於テ實測着手スヘキ豫定線路ニ追加ヲ爲シ且公債募集豫定額一億二百萬圓ヲ一億千三百五十萬圓ト改正セラレタリ

是ヨリ先明治二十六年三月六日法律第十一號ヲ以テ鐵道敷設ノ着手期ニ改正追加ヲ爲シ且公債募集豫定額一億十五年度ヲ二十六年度ト改正セラルヽヤ同月二十七日大藏省令第五號ヲ以テ左ノ通鐵道公債取扱順序ヲ發布セラレタリ

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第四條ニ據リ募集スル公債ハ明治十九年敕令第六十六號整理公債條例第三十二條ニ據リ取扱順序左ノ通相定ム

鐵道公債取扱順序

第一條　鐵道公債ノ應募者ハ大藏大臣ノ指定スル日限マテニ應募ノ金額竝ニ價格ヲ取扱店（日本銀行本支店又ハ代理店ヲ云フ以下之ニ倣フ）ヘ申込ムヘシ

整理公債條例第四條但書ニ據リ記名證書ノ交付ヲ望ムモノハ前項申込ト同時ニ其旨ヲ取扱店ヘ申出ヘシ

第二條　鐵道公債ノ應募者ハ申込ノトキ大藏大臣ノ指定スル割合ヲ以テ保證金ヲ差入ルヘシ

但取扱店ハ本文保證金ニ對シ領收證書ヲ交付スヘシ

前項保證金ハ應募額確定ノ日ヲ以テ之ヲ第一拂込金トシ此拂込金ニ對シテハ整理公債條例第十二條ニ據リ本證書利子ノ割合ヲ以テ利子ヲ付ス

但取扱店ハ本文拂込金ニ對シ更ニ領收證書ヲ調製シ又還付スル現金アルトキハ共ニ保證金領收證書ト引換ヘシ

第三條　鐵道公債ノ應募者ハ大藏大臣ノ指定スル期日ニ於テ第二以下ノ拂込金ヲナスヘシ

但取扱店ハ本文拂込金ニ對シ領收證書ヲ交付スヘシ

第四條　保證金ヲ差入レタル後チ又ハ拂込金未タ全額ニ滿タサル內應募者死亡シタルトキハ其相續人ハ整理公債條例第十七條ニ準シ正當ノ相續人タルコトヲ取扱店ヘ屆出ヘシ

第五條　保證金及拂込金領收證書ヲ紛失シ又ハ消滅シタルモノアルトキハ二名以上ノ保證人ヲ立テ其事實ヲ取扱店ニ證明シ更ニ領收證書ヲ請求スルコトヲ得

第六條　拂込金領收證書ハ各應募者ニ於テ其申込ヲナシタル取扱店ヘ抵當ニ差入ル、外之ヲ授受賣買スルヲ得ス

第七條　應募者ニ交付スヘキ鐵道公債證書ハ大藏大臣其種類ヲ定メ日本銀行本店ニ交付スルモノトス

第八條　應募者ニ交付スヘキ鐵道公債證書ハ取扱店ニ於テ拂込金領收證書ト引換ニ交付スヘシ

第九條　鐵道利子支拂元金償還及證書ノ取扱ハ明治十九年大藏省令第三十號整理公債取扱順序

第十三條以下ノ各條ニ據ル

尋テ同年三月二十八日大藏大臣ヨリ鐵道公債募集證書ノ取扱及元利金仕拂事務取扱方ニ關シ左ノ通命任セラレタリ

第一條　鐵道公債ニ關スル法律命令ヲ遵守シ其事務ヲ取扱フヘシ

第二條　鐵道公債ニ關スル出納ハ他ノ業務ノ出納ト區別シ取扱フヘシ

但本條出納ニ關スル帳簿ヲ設置シ樣式ヲ定メ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三條　本命任書ニ依リ取扱ヲ委託スル其行ノ代理店ハ大藏大臣ノ認可ヲ經テ官報及五種以上ノ新聞紙ヲ以テ之ヲ廣告スヘシ

前項ニ依リ其行ト其代理店トノ條約ハ大藏大臣ノ認可ヲ經ヘシ

第四條　本命任書ニ依リ其行取扱ニ係ル鐵道公債證書ノ發行及保管竝ニ現金ニ付其行ハ一切ノ責任ヲ負ヒ損失ヲ生シタル場合ニアリテハ之ヲ辨償スヘシ

但變災等ニ由リ其保管上避ケ得ヘカラサリシ事實アルトキハ之ヲ證明シ其處分ヲ請フコトヲ得

第五條　鐵道公債ヲ募集スルトキハ其應募額竝ニ保證金及拂込金額トモニ前日分ヲ翌日（休日ナレハ翌々日）國債局ニ報告スヘシ

鐵道公債ノ募集ヲ了リタルトキハ更ニ應募金額價格及氏名等ヲ詳記シタル總計報告表ヲ製シ三十日以內ニ之ヲ國債局ニ報告スヘシ

第六條　鐵道公債募集ニ係ル收入金ニ對シ其行ヘ納入告知書ヲ發スルトキハ支店及代理店ノ取扱ニ係ル分ハ各地ノ金庫ニ爲換納金ノ請求ヲナシ該金庫ノ領收證書ハ本店ニ於テ之ヲ集合シ中央金庫ニ納付スヘシ

整理公債條例第六條第二項ニ依リ鐵道公債證書ヲ發行スルトキハ其發行ノ金額價格及日限ヲ定メ令達スヘシ該發行ニ係ル收入金ニ對シ納入告知書ヲ發スルトキハ直ニ中央金庫ニ納付スヘシ

第七條　鐵道公債應募拂込期限ノ末日マテニ拂込未濟ノモノアルトキハ其金額ヲ國債局ニ報告

スヘシ拂込期日後三ケ月ヲ過キ猶拂込ナキモノモ亦前項ノ手續ヲナスヘシ

第八條　鐵道公債發行ニ關スル諸證書ヘ證券印紙ノ貼付方及發行取扱上要スル處ノ諸般ノ書式ハ整理公債發行ニ關スル樣式ニ據ルヘシ

第九條　鐵道公債償還元金及利金ハ會計法第十五條第二項ニ依リ現金前渡ヲ以テ交付スヘキニ由リ左ノ區別ニ依リ請求書ヲ當省ニ差出スヘシ

一　定期渡利金ハ仕拂期日ヨリ二十五日前

一　償還元金及之ニ對スル月割利子ハ仕拂時期ヨリ二十五日前

第十條　鐵道公債ニ關スル收入支出ニ對シテハ明治二十三年三月勅令第二十號ニ依リ會計檢査院ノ檢査判決ヲ受クヘシ

第十一條　鐵道公債仕拂基金ニシテ翌年度六月三十日マテ債主未請求ノ爲メ仕拂ヲ了ラサルモノハ翌年度八月二十日限リ仕拂未濟報告書ヲ國債局ヘ差出スヘシ

第十二條　前條仕拂未濟金ニ對シテハ納入告知書ヲ交付スヘキニ由リ其金額ハ中央金庫ニ納付スヘシ

第十三條　第十一條ノ仕拂未濟金ニシテ翌年度ニ於テ支拂フヘキモノハ同年度七月一日後仕拂見込額ヲ以テ請求書ヲ當省ヘ差出スヘシ

第十四條　仕拂濟證書及利札ハ還納表ヲ添ヘ主務ノ物品會計官吏ニ還納シ其證明ヲ得毎月仕拂計算書ノ證憑ニ充ツヘシ

第十五條　鐵道公債募集金ノ收入ニ對シ其行ハ出納計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ毎年度經過後二ケ月以內ニ下檢查ヲ受クル爲メ當省ニ差出スヘシ

第十六條　鐵道公債元利金仕拂ニ對シ其行毎月一回仕拂計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌月末日限リ下檢查ヲ受クル爲メ當省ニ差出スヘシ

前項計算書ヲ差出シタル後各代理店ヨリ送付シ來ル仕拂濟證書及利札ノ廻着スルカ又ハ事故アリ翌々月ニ渉ルモノアルトキハ該月ノ計算書ニ編入スヘシ

第十七條　鐵道公債元利金ニシテ期滿免除ノ期限ヲ過キタルトキハ其公債ノ種類金額渡期月等ヲ期限經過後三十日以內ニ當省ニ報告スヘシ

第十八條　本命任ニ係ル證書發行及元利仕拂ノ手數料竝ニ拂渡證書利札遞送費支給方ハ別ニ之ヲ定ム

第十九條　本命任ニ依リ其行取扱ニ係ル詳細ノ手續ハ之ヲ規定シ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

右命令書第十九條ニ於テ詳細ノ手續ハ更ニ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘキ旨規定セラレタルニヨリ同年四月八日大藏大臣ニ經伺ノ上公債事務規程中ニ改正ヲ加ヘ鐵道公債ニ關スル事項ヲ規定セリ尋テ又同年十二月二十六日大藏大臣ヨリ命令書中ニ左ノ改正追加ヲ爲シ翌二十七年一月一日ヨリ之ヲ實施スヘキ旨ヲ達セラレタリ

第七條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第七條ノ二　鐵道公債募集ノ際ハ其募集額ニ相當スル證券ヲ其行ヘ下渡スヘキニ付債主ヘ交付シタルトキハ本店ノ分ハ交付ノ翌日取扱店ノ分ハ交付ノ日ヨリ十日以內ニ其額（證券種類ヲ區分シ）ヲ國債局ニ報告スヘシ

第十一條中「六月三十日」ヲ「七月三十一日」ニ「八月二十日」ヲ「九月二十日」ニ改ム

第十三條中「七月一日」ヲ「八月一日」ト改ム

第十六條ニ左ノ但書ヲ追加ス

但年度整理ノ末日（即チ翌年度七月）ノ計算書ニ本項ノ場合アルトキハ追加計算書ヲ差出スヘシ

第十六條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第十六條ノ二　鐵道公債ノ證券又ハ利札紛失ノ届出アルトキハ其金額記番號及種類ヲ區別シ國債局ニ報告スヘシ

第十四條ヲ左ノ通改正ス

第十四條　鐵道公債元利金仕拂ニ對シ其行ハ報告書ヲ調製シ仕拂濟證券及利札ト其還納表ヲ添付シ前月分仕拂高ヲ翌月二十日限國債局ニ報告スヘシ

前項還納表ハ主務物品會計官吏ノ證明ヲ得テ仕拂計算書ノ證憑ニ充ツヘシ

前掲命令書ハ明治三十二年三月二十九日大藏大臣ヨリ交付セラレタル國債事務取扱命任書第三十三條ニ依リ同命任書施行ノ日ヨリ廢止セラレ爾後鐵道公債ニ關スル事務ハ該命任書ニ依據スルコト、ナレリ（本編「一般」命任書ノ部參照）

又明治二十六年四月六日大藏大臣ニ經伺ノ上鐵道公債募集證書ノ取扱及元利金仕拂事務ノ取扱ヲ委囑スヘキ代理店ハ曩ニ明治二十三年三月十一日認可ヲ經タル諸公債及臨時取扱事務代理約條案ヲ以テ京都外四十六箇所ノ代理店ヘ委囑スルコト、セリ右代理約條書及代理店ハ本編「一般」取扱店ノ部ニ掲ケタルヲ以テ玆ニ之ヲ省ク

次ニ鐵道公債發行ニ就テ之ヲ述フレハ本公債ハ内國ニ於テハ普通發行ニ據リタルコト二回此券面額二百萬圓又特別發行ニ據リタルコト十四回此券面額五千六百八十六萬六千五十圓合計五千八百八十六萬六千五十圓ナリシカ會々明治二十九年ヨリ三十二年ニ亘リ内地ニ於ケル金融ノ狀況ハ著シク逼迫ヲ極メタル際ナリシカハ鐵道公債事業公債及北海道鐵道公債ニ係ル募集豫定額ヲ發行スルコト能ハス是ニ於テ三十二年四月二十日法律第百一號「國債ヲ外國ニ於テ募集スルノ件」ニ據リ英國倫敦ニ於テ第一回四分利付英貨公債一千萬磅ヲ發行シ其換算額九千七百六十三萬圓ノ内千七百五十七萬七千七百五十圓ヲ以テ鐵道公債ニ充テタリ其詳細ハ本編「第一回四分利付英貨公債ノ部」ニ於テ叙述スルコト、シ以下普通發行及特別發行ニ就キ其概要ヲ述フル所アラントス

第一　普通發行

第一回募集ハ明治二十六年四月一日大藏省告示第十二號ヲ以テ募集ノ總額及利子ノ割合應募日限等ヲ左ノ通公示セラレタリ

一　鐵道公債第一回募集ノ總額ハ壹百萬圓トシ證書ノ價格ハ額面百圓ニ付金百圓トス但應募高需要額ニ超過スルトキハ應募價格ノ高キモノヨリ順次算入シ需要額ニ滿ルニ至テ止ム

一　第一回鐵道公債ノ利子ハ一箇年百分ノ五トス

一　應募者ハ來ル四月十六日ヨリ同月二十日マテニ應募金額價格及住所姓名ヲ詳記シ日本銀行本支店又ハ代理店ヘ申込ムヘシ

一　應募額ニ對スル保證金ノ割合ハ證書額面百圓ニ付金拾圓トス

一　大藏大臣ハ來ル五月五日マテニ日本銀行ヲシテ各應募者ニ應募確定額ヲ通知セシムルニ付

其高ニ對スル金額ノ內保證金ヲ以テ第一期拂込金ニ振換タルモノヲ引去リタル跡金ノ拂込ハ額面百圓ニ付左ノ區別ニ依リ拂込ムヘシ

第二期　二十六年五月二十六日ヨリ二十五日マテ　此拂込金拾圓
第三期　同　六月二十六日ヨリ二十五日マテ　此拂込金拾五圓
第四期　同　七月二十六日ヨリ二十五日マテ　此拂込金貳拾五圓
第五期　同　八月二十六日ヨリ二十五日マテ　此拂込金貳拾五圓
第六期　同　九月二十六日ヨリ二十五日マテ　此拂込金拾五圓

尋テ同年四月四日募集ニ關スル取扱細則ヲ各取扱店ヘ通達シ又同時ニ此募集ニ就テハ追テ債務規程ヲ改正スル所アルヘシト雖差向入用ノ書式ハ同規程中ノ書式ヲ左ノ通修正使用スヘキ旨通達セリ（本編一、公債ノ部參照）

一　第三號書式ハ「整理」ヲ「鐵道」トシ括弧中ノ但書及本文「保證金トシテ何圓」ノ下括弧中ノ二十八字ヲ除ク

二　第四號書式ハ「整理」ヲ「鐵道」トシ但書ヲ除ク

三　第七號書式ハ「整理」ヲ「鐵道」トス

四　第八號書式ハ「整理」ヲ「鐵道」トシ公債證書及應募額合計ノ二欄ヲ除クヘシ

斯クテ應募締切期日ニ至リ申込總額ハ七百五十五萬四千三百五十圓ノ多キニ達シ募集豫定額ヲ超過スルコト實ニ六百五十五萬四千三百五十圓ニ達セリ依テ大藏大臣ニ經伺ノ上應募價格ノ最モ高キモノ百六圓五十一錢ヨリ百五圓七十錢ニ至ルマテノ分三十八萬圓及百五圓六十錢ノ申込額百五萬圓ノ內六十二萬圓ヲ以テ募入トシ其他ハ悉皆募入外レトナシ明治二十六年四月二十九日ヲ以テ其旨各取扱店ヘ通達シ又債主ヘ對スル通告ノ手續ヲ爲セリ

尋テ同年六月九日大藏省令第十二號ノ發布アリテ鐵道公債應募ノ拂込金ニ對スル端數利子及證書附帶ノ利子ニシテ半箇年未滿ノ額ハ利札ヲ以テ該公債證書ト共ニ之ヲ交付セラルヽコトヽナリ同時ニ大藏大臣ヨリ右省令ニ依リ同公債第一回募集ヨリ證書ニ添ヘ交付スヘキ月割利札ハ本證書ノ記番號ヲ刷入シ交付スヘキニヨリ拂込金ニ對スル利子ト利札額未滿ノ月割利子トヲ內譯ニ區別シ公債證書ノ請求ト共ニ請求書ヲ差出スヘキ旨達セラレ又同年七月四日大藏省令第十五號ヲ以テ(一)鐵道公債ハ明治二十六年度ノ發行（即第一回募集）ニ限リ本證書調製中假證書ヲ交付ス(二)假證書ハ十箇月以內ニ本證書ト交換ス(三)假證書ノ讓渡ハ記名證書ノ取扱ニ準ス(四)利子ハ一箇年百分ノ五ノ割合ヲ以テ明治二十六年十二月迄ノ利子ヲ付ス(五)假證書ノ效力ハ本證書ニ同シキ旨ヲ規定セラレ尙同月七日大藏大臣ヨリ鐵道公債假證書發行ニ關スル事務ハ右省令第十五號ノ趣旨ニ據リ取扱フヘキ旨達セラレタリ

是ニ於テ同年九月一日前記假證書ノ讓渡ハ記名證書ニ準シ取扱フヘキ筈ニ付假ニ記名簿ヲ調製シ其異動ヲ記載シ置キ而シテ假證書ノ利子ハ記名證書ノ例ニ據リ仕拂フヘキ旨各取扱店ヘ通達セリ」

第二回募集ハ明治二十七年二月十四日大藏省告示第三號ヲ以テ募集總額ヲ百萬圓ト定メ又應募者ハ同月二十四日ヨリ三月三日マテニ申込ムヘキモノトシ其他募集最低價格保證金ノ割合及第一期拂込金ノ手續等ハ總テ第一回ノ例ニ據ルコトヽシタルモ唯保證金ヲ以テ拂込金ニ振換ヘタル殘金ハ之ヲ第一期ニ繰メテ同年三月二十四日マテ拂込ムヘキモノトセラレタリ

是ニ於テ同年二月十五日付ヲ以テ募集ニ關スル取扱手續ヲ各取扱店ヘ通達シタルカ期日ニ至リ應募申込ノ總額ハ四百六十七萬九百五十圓ニ達シ募集豫定額ヲ超過スルコト實ニ三百六十七萬九百五十圓ナリキ依テ大藏大臣ノ認可ヲ經テ最高價格百九圓五十錢ヨリ百七圓六十三錢ニ至ル申込額九十七萬三千二百圓百七圓六十二錢ノ申込額三十五萬圓ノ內二萬六千八百圓トヲ募入トシ以テ募集豫定額百萬圓ニ充タシメ同年三月十五日付ヲ以テ其旨各取扱店ヘ通達シ又債主ヘ通告ノ手續ヲ爲セリ

第二　特別發行

鐵道公債ハ以上敘述シタル外明治二十八年以降ハ專ラ國庫預金部若クハ償金部ノ現在金ヲ運用シテ整理公債條例第六條第二項ニ規定セル特別發行ノ方法ニ依リ臨時ニ證書ヲ發行セラレタルコト實ニ五千六百八十六萬六千五十圓ニ及ヘリ今每回ノ發行額及發行價格ヲ表出スレハ左ノ如シ

月次	發行額	發行價格
二十八年三月	二、〇〇〇、〇〇〇圓	九六、三六〇圓
同　五月	一、〇〇〇、〇〇〇	九九、二五〇
同　十月	一、〇〇〇、〇〇〇	一〇〇、二〇〇
三十年三月	四、〇〇〇、〇〇〇	九九、二二〇
同　十月	五、〇〇〇、〇〇〇	九五、五三〇
三十一年一月	二、八〇七、三五〇	九四、〇九〇
同　三月	一、〇〇〇、〇〇〇	九〇、二一〇
三十四年三月	九、五五六、二五〇	八八、二六〇
同　十月	七、三一三、五五〇	八七、三三〇
三十五年三月	六、二〇四、六〇〇	八八、三六〇
同　九月	四、〇〇〇、〇〇〇	九五、〇〇〇
三十六年三月	五、九九五、二〇〇	九二、五〇〇
三十八年二月	二、三〇〇、二〇〇	八五、〇〇〇
四十年十月	五、五八八、九〇〇	九〇、〇〇〇
總計	五六、八六六、〇五〇	

右ノ內明治三十一年發行二百九十萬七千三百五十圓ハ償金部其他ハ總テ預金部ノ引受ニ係ルモノトス

次ニ鐵道公債證書竝ニ利札ノ取扱方ニ關シ述フル所アランニ元來本公債ノ取扱手續ハ鐵道敷設法取扱順序及命令書等ニ於テ特ニ規定セルモノヽ、外整理公債條例同取扱順序ニ準據スルコトヽナリ從テ證券利札ノ取扱方ノ如キモ右法律條例順序及命令等ニ據リ其他ハ本編一般揭クル所ノ諸公債事務規程ニ據リタリ

初メ本公債ノ利子仕拂期ハ整理公債條例ノ規定ニ據リタルモノナリシカ明治三十年二月法律第一號ヲ以テ鐵道公債ノ利子仕拂改正ノ結果同月二十六日大藏省令第四號ヲ以テ既ニ發行ニ係ル鐵道公債證書ハ更ニ新證書ト引換フヘキモノトセラレタリ

尋テ政府ハ特別ノ必要アルモノヲ除クノ外將來ニ向テ公債證書ノ名稱樣式ヲ統一スルノ方針ヲ立

テ先ッ利率及利子仕拂期ノ同一ナル鐵道事業及北海道鐵道ノ三公債ヲ統一スル爲メ明治三十年十一月二十六日大藏省告示第七十六號ヲ以テ右三公債ニシテ利率百分ノ五ヲ以テ起債スルモノハ其様式ヲ同一ニシ大日本帝國政府五分利公債證書ヲ以テ發行スル旨公示セラレ（本編一般證券利賦札ノ受拂證券ノ種類樣式交換竝變換ノ部參照）又同月三十日大藏省告示第七十八號ヲ以テ既記本年大藏省令第四號ニ據リ既發行鐵道公債證書ハ此際新證書ト引換フヘキニ付無記名鐵道公債證書ノ所有者ハ新證書ノ交付ヲ受クヘキ取扱店ヲ指定シ且券面別枚數及記番號ヲ詳記シ引換方ヲ本行本支店又ハ代理店ニ申出テ該指定取扱店ノ通知ヲ得テ舊證書ヲ受取ルヘク又記名證書ノ所有者ハ舊證書ヲ當該取扱店ニ差出シ之ト引換ニ新證書ヲ受取ルヘキモノトセラレタリ

之ニ先チ同年十一月十九日大藏大臣ヨリ既發行鐵道公債證書ヲ大日本帝國政府五分利公債證書ト引換ノ義ハ左ノ手續ニ據リ取扱フヘキ旨達セラレタリ

一　記名鐵道公債證書所有者ヨリ舊證書ヲ取扱店ニ差出シタルトキハ之ト引換ニ記名新證書ヲ交付スヘシ

一　無記名鐵道公債證書所有者ヨリ引換ノ申出ヲ爲シタルトキハ引換ノ日ヲ定メ指定取扱店ヨリ本人ニ通知シ舊證書ヲ差出サシメ之ト引換ニ無記名新證書ヲ交付スヘシ

一　前二項ニ依リ引換ヲ了シタル舊證書ハ引換濟ノ印ヲ押捺シ理財局ヘ還納スヘシ

是ニ於テ同月二十六日新舊證書引換ノ手續ヲ左ノ通制定シ各取扱店ヘ通達セリ

鐵道公債證書引換手續

第一條　既發行ノ鐵道公債證書ハ同券面同記號ノ大日本帝國政府五分利公債證書ト引換フヘキモノトス

第二條　大藏省ノ告示ニ據リ無記名證書ノ引換方ヲ申出ル者アルトキハ券面種類記號番號ヲ記シタル請求書ヲ差出サシムヘシ

第三條　記名證書ハ記名簿ニ據リ無記名證書ハ十二月二十日マテニ受付ケタル所有者ノ請求書ニ據リ各其記號毎ニ券面種類枚數ヲ調査シ本行ニ報告スヘシ

但本文報告後無記名證書引換ノ請求アリタルトキハ其都度追加報告スヘシ

第四條　本行ヨリ新證書到達シタルトキハ直ニ所有者ニ通知シ其記名證書ハ債務規程第十九條第四項ノ手續ヲ爲シ無記名證書ハ適宜ノ書留メ舊證書引換ニ交付スヘシ

但舊證書ノ利札ニ過不足アルモノハ之ヲ切取リ又ハ貼付セシメタル上ニアラサレハ引換ヲ爲スヘカラス

第五條　引換濟ノ舊證書ハ大藏大臣印面ニ債務規程第三號書式ニ準ヲ添ヘ翌月五日マテニ其地ヲ差立小包郵便ヲ以テ本行ニ送付スヘシ

第六條　舊證書ノ記名簿ハ一々消印スルヲ要セス其表紙ニ「明治三十年十一月　大藏省告示第何號ニ據リ大日本帝國政府五分利公債證書ト引換」ノ旨ヲ朱書シ代理店ニ保存シ又所管高帳ノ舊口座ハ同樣ノ摘要ヲ以テ拂出シ更ニ「大日本帝國政府五分利公債證書」ノ口座ヲ設ケ整理スヘシ

第七條　引換濟舊證書遞送費ハ實費ヲ給シ外ニ證書一枚ニ付金三錢ノ割合ヲ以テ手數料ヲ支給

スヘキニ由リ債務規程第六十九號書式請求書中ニ「鐵道公債證書引換費」ノ科目ヲ設ケ引換濟舊證書遞送費ト引換手數料トヲ區別掲載シ債務規程第八十一條第二項ニ據リ本行ニ請求スヘシ

以下本公債ノ償還及仕拂ニ就テ之ヲ述ヘンニ鐵道敷設法第六條ニ據リ鐵道公債ノ利子仕拂期ハ初メ整理公債條例ノ規定ニ依リ毎年六月及十二月ナリシカ明治三十年二月二十四日法律第一號ヲ以テ事業公債及北海道鐵道公債ト共ニ利子仕拂期ヲ毎年三月及九月ニ改正シ尋テ同月二十六日大藏省令第四號ヲ以テ旣ニ發行ニ係ル鐵道公債證書ハ更ニ新證書ト引換フヘキニ付其新證書引換迄ハ六月拂利札ニ對シテハ三月ニ十二月拂利札ニ對シテハ九月ニ利子ヲ仕拂フヘク但本年三月ニ於テハ利札金額ノ半額ヲ仕拂フヘキ旨公布セラレタリ

又本公債ノ元金償還ハ整理公債條例ノ規定ニ據リ明治二十六年發行ノ證書ニ對シテハ三十一年以降隨時之カ償還ヲ爲スヘキ筈ナリシカ政府ハ三十三年三月ニ至リ國債證券買入銷却法ニ據リ大日本帝國政府五分利公債證書券面額百四十四萬二千四百圓ヲ買入レ鐵道公債ニ對スル償還ヲナシタルヲ始トシ其後引續キ買入又ハ抽籤ニ依リ償還セラレタル總額ハ千四百九十萬五千五百圓ニシテ明治四十二年末日ノ未償還高ハ四千三百五十六萬千五十圓ナリ今右償還額ヲ年次ヲ逐ヒテ表示スレハ左ノ如シ

年次	償還類	内譯	
		普通償還	買入銷却
	円	円	円
三十三年	一、四四二、四〇〇		一、四四二、四〇〇
三十四年	九、五八九、五五〇		九、五八九、五五〇
三十五年	二、六九六、一〇〇〇		二、二九六、六〇〇
三十九年	二五〇、九〇〇		二五〇、九〇〇
四十年	一、三一三、四〇〇		一、三一三、四〇〇
四十二年	一二、六五〇		一二、六五〇
總計	一五、三〇五、〇〇〇	三九九、五〇〇	一四、九〇五、五〇〇

第十四章　軍事公債

軍事公債ハ明治二十七八年戰役ニ關スル軍費支辨ノ爲メ明治二十七年ヨリ二十九年ニ亘リ前後四回ニ分チテ起債セラレタルモノニシテ其第一回發行ハ明治二十七年八月十四日勅令第百四十三號朝鮮事件ニ關スル經費支辨ノ爲メ政府ハ特別會計ニ屬スル資金ヲ繰替使用シ借入金ヲ爲シ及ヒ公債ヲ募集スルコトヲ得トノ規定ニ據リ同月十六日勅令第百四十四號ヲ以テ軍事公債條例ヲ發布セラレタリ其全文左ノ如シ

軍事公債條例

第一條　軍事公債ハ勅令第百四十三號ニ依リ金額五千萬圓ヲ限リ漸次募集スルモノトス

第二條　此ノ公債ノ利子ハ一箇年百分ノ六以下トシ元金償還ニ至ルマテ毎年六月及十二月ノ兩度ニ之ヲ支拂フ

第三條　此ノ公債ノ元金ハ證書發行ノ年ヨリ五箇年据置其翌年ヨリ向五十箇年以内ニ償還ス

第四條　此ノ公債ヲ募集スルニ付其ノ總額價格利子歩合應募申込日限應募金拂込度數其ノ他必要ナル事項ハ大藏大臣之ヲ定ム

第五條　此ノ公債證書ノ交付元利仕拂ニ關スル時効證書ノ取扱其ノ他此ノ條例ヲ以テ規定セサル事項ハ總テ明治十九年勅令第六十六號整理公債條例ニ據リ尋テ翌十七日大藏省令第十五號ヲ以テ左ノ通軍事公債取扱順序ヲ公布セラレタリ

軍事公債取扱順序

第一條　軍事公債ノ募集ニ應シ大藏大臣ノ告示スル第一回ノ拂込ヲ了シタルトキハ記名ノ假公債證書ヲ交付シ全額拂込ノ上ハ假公債證書ト引換ニ本公債證書ヲ交付スヘシ

第二條　前條ノ假公債證書ハ賣買讓與及抵當トナスコトヲ得

但本條ニ關スル取扱順序ハ別ニ之ヲ定ム

第三條　軍事公債ノ募集ニ際シ大藏大臣ノ指令シタル割合ヲ以テ納付シタル保證金ハ應募額確定ノ日ヲ以テ之ヲ第一期拂込金トナシ此拂込金ニ對シテハ整理公債條例第十二條ニ據リ本證書ト同一ノ率ヲ以テ之カ利子ヲ付シ整理公債條例第七條ニ據リ應募額減少ノ爲メ還付スル保證金ニハ之カ利子ヲ付セサルモノトス

第四條　軍事公債ノ應募者ハ大藏大臣ノ指定スル期日ニ於テ第二期以下ノ拂込金ヲ爲スヘシ

但本條拂込金額ハ其時々之ヲ假公債證書ニ記入スヘシ

第五條　假公債證書ヲ紛失シ又ハ消滅シタルモノアルトキハ二名以上ノ保證人ヲ立テ其事實ヲ取扱店ニ證明シ更ニ假公債證書ヲ請求スルコトヲ得

第六條　應募者ニ交付スヘキ軍事假公債證書ハ取扱店ニ於テ保證金領收證書ト引換ニ之ヲ交付スヘシ

第七條　軍事公債取扱ニ關スル順序ハ本令ニ規定シタルモノ、外明治十九年十月大藏省令第三十號整理公債取扱順序ニ據ル

又同日大藏大臣ヨリ軍事公債ニ關スル本行ノ取扱方左ノ通心得ヘキ旨ヲ達セラレタリ

本年勅令第百四十四號軍事公債ニ關スル其行取扱方左ノ通リ心得ヘシ

第一條　軍事公債ニ關スル法律命令ヲ遵守シ其取扱方ハ從前命任シアル公債取扱ニ依ルヘシ

第二條　軍事公債募集ノトキ第一回ノ拂込及額面以上申込差額ノ拂込ヲ了シタルトキハ拂込金額ニ相當スル假證書ヲ其行ヘ交付スヘキニ付之ヲ債主ニ交付シタルトキハ本店ノ分ハ交付ノ翌日取扱店ノ分ハ交付ノ日ヨリ十日以内ニ其額（證書種類ヲ區別シ）ヲ國債局ニ報告スヘシ

第三條　軍事公債假證書ハ本證書ト交換ヲ了シタルトキハ還納表ヲ添付シ之ヲ國債局物品會計官吏ニ納付スヘシ

第四條　軍事公債取扱ニ付テハ二十七年度ニ於テハ左ノ手數料ヲ支給ス

一　軍事公債發行ノトキハ發行高千分ノ參

但假證書發行ニ付テハ手數料ヲ支給セス

二　整理公債條例第六條第二項ニ依リ軍事公債ヲ發行スルトキハ發行額ノ萬分ノ貳

三　軍事公債利金支拂ノトキハ支拂高ノ千分ノ參

四　交換濟軍事公債假證書及支拂濟利札遞送費ハ其實費

右ハ其後明治三十二年三月二十九日大藏大臣ヨリ内國ニ於ケル國債事務取扱命任書ヲ交付セラルヽニ及ヒ其第三十三條ニ依リ廢止セラレタリ

本行ハ右取扱順序及令達ニ基キ軍事公債取扱手續ヲ定メ同年八月二十二日大藏大臣ニ上申セシニ同月二十四日認可セラレタリ其全文左ノ如シ

軍事公債取扱手續

第一條　軍事公債應募ノ申込ヲ爲ス者アルトキハ應募申込書ニ保證金ヲ添ヘテ差出サシメ領收證書ヲ交付スヘシ

第二條　各地取扱店ニ申込ミタル應募額ハ即日郵便ヲ以テ本店ニ報告セシメ本店直扱ノ分ト合セ前日分ヲ翌日國債局ニ報告スヘシ

應募申込期限滿チタルトキハ其翌日各地取扱店ヲシテ其取扱高ヲ本店ニ電報セシメ本店直扱ノ分ト合セテ國債局ニ報告シ應募額査定期日以前ニ於テ額面以上申込額及額面申込額ヲ記シタル應募總額報告表ヲ申込期限後三十日以内ニ於テ應募申込明細表ヲ同局ニ差出スヘシ

第三條　大藏大臣ヨリ應募額確定ノ令達アルトキハ其募入ニ屬スル分ト募集外レニ屬スル分トヲ取調ヘ之ヲ應募者ニ通知スヘシ

募集外レノ應募者ニ對シテハ支拂期日ヲ定メテ其保證金ヲ拂戻スヘシ

第四條　前條ノ令達アルトキハ假公債證書ヲ國債局ヨリ請取リ募入トナリタル應募者ニ對シテハ保證金領收證書又額面以上ニテ申込ミタル者ニハ其額面以上ノ差金及保證金領收證書ト引換ニ之ヲ交付スヘシ

假公債證書ニハ應募額確定ノ日ヲ以テ第一期拂込金領收ノ日ト定メ記入スルモノトス

第五條　第二期以下ノ拂込ヲ爲ス者アルトキハ假公債證書ニ記入ヲ爲シ其金額ハ各地取扱店ニ屬スル分ハ即日郵便ヲ以テ本店ニ報告セシメ本店直扱ノ分ト合セ前日分ヲ翌日國債局ニ報告スヘシ

一期若クハ數期ノ拂込金ヲ前期ニ繰上ケ拂込ム者アルトキハ之ヲ領收シ前項ニ依リ取扱フヘシ

第六條　保證金ニハ利子ヲ付セス第一期以下毎期拂込金ニハ本證書ト同一ノ率ヲ以テ利子ヲ付シ整理公債條例第十二條ニ依リ計算シ端數ハ端數利札ハ支拂期ニ於テ假公債證書記名者ニ交付スルモノトス

第七條　假公債證書ヲ紛失又ハ消滅シ二名以上ノ保證人ヲ立テ其旨ヲ申出ツル者アルトキハ事實取調ノ上大藏大臣ニ進達シ代リ假公債證書ヲ請取リ之ヲ交付スヘシ

第八條　假公債證書ヲ應募者ニ交付シタルトキハ本店分ハ其翌日各地取扱店分ハ交付ノ日ヨリ十日以内ニ證書ノ種類枚數ヲ國債局ニ報告シ又第二期以下ノ拂込金額ハ前月分ヲ翌月十日マテニ同局ニ報告スヘシ

第九條　假公債證書ノ記名書換ハ各拂込期ノ末日マテニ拂込ヲ爲サヽルモノハ其拂込濟マテ之ヲ猶豫シ又記名者ト合意ノ上ハ拂込期ノ初日ヨリ拂込濟マテ書換ヲ猶豫スルコトアルヘシ

第十條　本公債證書ハ豫メ國債局ヨリ請取リ置キ金額拂込濟ノ上假公債證書ト引換ニ之ヲ交付スヘシ、但繰上ケ拂込ヲ爲シタル者ト雖モ拂込末期ノ後ニ於テ引換ヲ爲スヘシ

第十一條　引換濟ノ假公債證書ハ其表面適宜ノ個所ニ「引換濟」ノ印ヲ朱肉ヲ以テ押捺シ還納ノ手續ヲ爲スヘシ

第十二條　此手續ニ規定シタルモノヽ外公債事務規程ニ準シ取扱フヘシ

尋テ同年十一月二十九日大藏大臣ノ認可ヲ經テ右取扱手續中左ノ通加除改正セリ

第二條第一項「即日」ノ下「郵便ヲ以テ」ノ五字ヲ削除ス

同　條第二項「以前ニ於テ」ノ下「額面」及「及」ノ下「額面」及「者ニハ其」ノ下「額面」ヲ孰レモ「價格」ニ改ム

第四條第一項「領收證書又」ノ下「額面」及「者ニハ其」ノ下「額面」ヲ孰レモ「價格」ニ改ム

第五條第一項「即日」ノ下「郵便ヲ以テ」ノ五字ヲ削除ス

第八條「トキハ」ノ下「本店」ヨリ「證書ノ」マテ二十八字ヲ削リ「種類」ノ上ニ「其額面」ヲ加ヘ「枚數ヲ」ノ下「國債局ニ報告シ」ノ七字ヲ削リ「區分シ」ヲ挿入シ「拂込金額ハ」ノ下「其合金額ヲ以テ」ヲ挿入シ「同局」ヲ「國債局」ニ改ム

又軍事公債ハ其全額拂込以前ニ於テ賣買讓與ヲ許ス等從前募集ニ係ル他ノ諸公債トハ自ラ其取扱ヲ異ニスル所アルヲ以テ其取扱方ハ債務規程ニ據ルノ外尚特ニ支店出張所代理店ニ於ケル軍事公債取扱略則ヲ定メ明治二十七年八月二十五日ヲ以テ各取扱店ニ通達セリ

軍事公債取扱略則

第一條　軍事公債應募ノ申込ヲ爲ス者アルトキハ應募申込書（債務規程第三號書式ノ二ニ準ス）正副二通ニ保證金ヲ添ヘテ差出サシメ保證金領收證書（債務規程第四號書式ニ準ス）ヲ交付シ第一號書式應募申込記入帳募集金元帳（債務規程第六號書式）ニ記入シ申込書一通ハ留メ置キ一通ハ應募報告表（債務規程第七號書式）ニ添ヘ即日本行ニ向ケ發送スヘシ

保證金取扱方ハ別ニ定ムル所ニ依ルヘシ

第二條　應募申込總額ハ募集期限ノ末日各出張所ヲシテ其取扱ニ係ル分ヲ代理本店ニ電報セシメ代理本店取扱ノ分ト合セテ其翌朝本行ニ電報スヘシ（申込ナキトキハ其旨電報スヘシ）

電報ニ關スル取扱方ハ別ニ定ムル所ニ依ルヘシ

募集期限後三日以内ニ於テ應募總額報告表（債務規程第八號書式ニ準ス）ヲ本行ニ差出スヘシ但出張所取扱ニ係リ同日マテニ到達セサルモノハ到達次第追加ノ文字ヲ附記シ報告ノ手續ヲ爲スヲ要ス

第三條　本行ヨリ募入高及募集外レノ通知ヲ得タルトキハ直ニ其次第ヲ應募者ニ通知シ同時ニ應募申込記入帳ニ記入スヘシ

募集外レニ屬スル保證金ハ回金到達後拂戻期日ヲ定メ應募者ニ通知シテ保證金領收證書ト引換ニ之ヲ拂戻シ又應募額ノ內幾分募集外レトナリタルモノニ對シテハ保證金領收證書ニ「本書金額ノ內金何圓ハ募集外レニ付拂戻濟」ノ旨ヲ記載シ代理店印ヲ押捺シテ之ヲ返付シ記帳ノ手續ヲ爲スヘシ但拂戻期日ハ回金到達ノ翌日ヨリ起算シ十五日ヲ過ルコトヲ得ス

第四條　應募者ニ交付スヘキ假公債證書本行ヨリ到達シタルトキハ應募者ニ通知シテ保證金領收證書ヲ差出サシメ又額面以上ノ價格ヲ以テ申込ミタル者ニハ其額面以上ノ差金ヲ保證金領收證書ト共ニ差出サシメ之ト引換ニ假公債證書ヲ交付シ應募申込記入帳第二號書式假公債記名簿ニ記入スヘシ

假公債證書ニハ募入高確定ノ日ヲ以テ第一期拂込金領收ノ日ト定メ夫々記入ヲ爲シ代理店印ヲ押捺スヘシ

假公債證書ヲ交付シタルトキハ第三號書式交付報告表ヲ本行ニ差出スヘシ

額面以上ノ差金ヲ領收シタルトキハ割拂金收入報告表（債務規程第十二號書式ニ準シ其金額應募者ノ姓名應募額價格ヲ記シタル報告表ヲ調製シ即日本行ニ向ケ發送スヘシ

第五條　第二期以下ノ拂込ヲ爲ス者アルトキハ假公債證書ヲ差出サシメ拂込金領收ノ記入ヲ爲シ代理店印ヲ押捺シテ之ヲ返付シ假公債記名簿募集金元帳ニ記入シ即日第四號書式拂込金收入報告表ヲ本行ニ向ケ發送スヘシ其收入金取扱方ハ別ニ定ムル所ニ依ルヘシ

一期若クハ數期ノ拂込金ヲ前期ニ繰上ケ拂込ムモノアルトキハ之ヲ領收シ前項ニ依リ取扱ヒ即日第五號書式繰上拂込報告表ヲ拂込金收入報告表ニ添ヘ差出スヘシ

第六條　保證金ニハ利子ヲ付セス第一期以下每期拂込金ニハ本證書ト同一ノ率ヲ以テ利子ヲ付シ整理公債條例第十二條ニ依リ計算シ端數利札ハ支拂期前ニ於テ本行ヨリ送付スヘキニ付支拂期ニ於テ假公債證書所有者ニ交付シ之ト引換ニ利金ノ支拂ヲ爲スヘシ

繰上拂込ヲ爲ス者アルカ又ハ拂込ヲ延滯スル者アリテ之ニ對スル端數利札ノ金額ニ差違ヲ生スルトキハ其事由及端數利金ノ計算ヲ記シタル書面ヲ添ヘ利札ノ引換ヲ本行ニ請求スヘシ

端數利札ヲ交付シタルトキハ第六號書式端數利札交付報告表ヲ翌月七日マテニ本行ニ向ケ發送スヘシ

第七條　假公債證書ヲ紛失又ハ消滅シタル旨申出ツル者アルトキハ二名以上保證人ノ連署アル第七號書式請求書ヲ差出サシメ債務規程第百條ニ準シ取扱フヘシ

保證金領收證書ヲ紛失又ハ消滅シタル旨申出ツル者アルトキハ債務規程第二十條ニ準シ取扱フヘシ

第八條　假公債證書所有者取扱店ヲ轉換センコトヲ請求スルトキハ第八號書式請求書二通ヲ差

出サシメ債務規程第百十一條第一項及第二項ニ準シ取扱ヒ第九號書式轉出報告表及第十號書式轉入報告表ヲ其都度本行ニ差出スヘシ但所管高增減帳ニハ記名請求、無記名請求ノ口座ヲ別チ額面ニテ記載スヘシ

第九條　每拂込期ノ末日マテニ拂込ヲ爲サヽル者アルトキハ其翌日ヨリ拂込ヲ爲シタル日マテ一ケ年百分ノ七ノ割合ヲ以テ延滯金ニ對スル利子ヲ徵收シ募集金元帳ニ記入シ證書種類、枚數、延滯金額、延滯日數、利金額及應募者姓名ヲ記シタル書面ヲ拂込金收入報告表ト共ニ即日本行ニ向ケ發送シ其收入金ハ別ニ定ムル所ニ依リ取扱フヘシ

前項拂込期日後三ケ月ヲ過キ尙ホ拂込ヲ爲サヽル者アルトキハ整理公債條例第八條第二項ニ依リ處分シ假公債證書ヲ差出サシメ之ヲ本行ニ送付スヘシ

每拂込期ノ末日マテニ拂込未濟ノ者アルトキハ其應募者ノ姓名及引受金額、假公債證書種類、枚數ヲ記シタル報告書ヲ、又每拂込期日後三ケ月ヲ過キ前第二項ノ處分ヲ爲シタルトキハ其應募者ノ姓名、引受金額、假公債證書種類、枚數幷ニ還付セサル金額ヲ記シタル報告書ヲ作リ本行ニ送付スヘシ

第十條　募集金ノ受拂及決算ハ債務規程第二十四條ニ依リ取扱フヘシ

第十一條　假公債證書ノ記名書換ハ利子支拂期前月一日ヨリ利子支拂濟マテ及拂込延滯者ニ對シテハ拂込期限後拂込濟マテ猶豫シ豫テ其旨ヲ店頭ニ揭示シ置クヘシ、但拂込期日中ハ記名者ノ承諾ヲ得テ書換ヲ猶豫スルコトヲ得

第十二條　本公債證書ハ本行ヨリ送付スヘキニ付全額拂込濟ノ上假公債證書ト引換ニ之ヲ交付シ即日交付報告表（第三號書式）ヲ本行ニ向ケ發送スヘシ

交付スヘキ公債證書記名ナルトキハ債務規程第二十五條第三項ニ據リ取扱フヘシ

第十三條　假公債證書及本公債證書ノ受拂ハ其都度公債證書受拂帳（債務規程第十七號書式）ニ記入スヘシ

第十四條　引換濟ノ假公債證書ハ其表面適宜ノ箇所ニ第十一號雛形引換濟印ヲ朱肉ヲ以テ押捺シ其月分ヲ取纏メ證書還納表（債務規程第十九號書式）ヲ添ヘ翌月七日マテニ本行ニ向ケ發送スヘシ

拂濟端數利札ハ債務規程第三章第五節ニ依リ取扱フヘシ

第十五條　此略則ニ規定シタルモノヽ、外債務規程ニ準シ取扱フヘシ

書式及雛形目次

第一號　應募申込記入帳
第二號　記名簿記載例說明
第三號　證書交付報告表
第四號　拂込金收入報告表
第五號　繰上拂込報告表
第六號　端數利札交付報告表
第七號　亡紛失代リ假證書請求書
第八號　假證書取扱店轉換請求書
第九號　假證書轉出報告表
第十號　同　轉入報告表
第十一號　引換濟印

債

記　　入　　帳

金	過剰保證金		募入高保證金	金差上以面額		假證書	摘
金額	拂戻月日	金額		領收月日	金額	交付月日	要

第一號書式　　何　　公

申　込　應　募

國債　軍事公債

明治年	申込人 姓名	申込人 住所	價格	申込額	減却高	募入高	保證 領收月日	保證 領收番號

第二號書式　用紙西ノ內

軍事公債假證書記名簿

事由

住所

名姓

額面金額	記名番號	拂込期 第一期	第二期	第三期	第四期	第五期	第六期	第七期	第八期	登錄削除 年月日	事由	店名	買請受人 姓名	差引現在高 年月日	額面
五百圓	記名請求 一二三	二十七年九月二十日	二十七年十月二十日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	二十七年九月二十日	應募			二十七年九月二十日	一、三五〇
圓	五拾圓									同年十一月一日				同年十一月一日	五〇
削除 圓	記名請求 四五六	同年同月同日	二十七年十二月二日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	二十七年九月二十日	應募			同年十月十五日	五五〇〇
	百圓	延滯 百圓								二十七年十一月一日	賣渡	所管內	何某	同年同月同日	五、六〇〇
削除 千圓	無記名請求 七八九	同年同月同日	二十七年十二月十六日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	二十七年十二月十五日	買受	大阪	何某	同年同月同日	第四回ノ內 二五 第三回ノ內 一〇〇
	五百圓	五百圓								二十八年一月二日	賣渡	大津	何某	二十八年一月二日	二〇〇
百圓	無記名請求 二四五	同年同月同日	二十七年十二月二十一日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	二十七年十二月十五日	買受	京都	何某	同年一月五日	七五〇
	拾圓	拾圓								二十八年一月二日	賣渡	大津	何某	二十八年一月二日	二〇〇
五拾圓	無記名請求 六七八	同年同月同日	同年同月同日	二十七年十二月二十一日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	二十八年一月五日	買受	所管內	同年	二十八年一月五日	二〇〇
	五圓	五圓	五圓	繰上拂込	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日				年月日	
百圓	無記名請求 九〇一	同年同月同日	同年同月同日	同年同月同日	同年同月同日	繰上拂込	年月日	年月日	年月日	年月日				年月日	
	拾圓	拾圓	拾圓	拾圓											

記名簿記載例說明

記名簿ハ左ノ各項ノ外、債務規程第五十三號書式記名簿記載例說明ニ準シ取扱フヘシ

一　每期拂込金收入濟ノ上ハ其金額年月日ヲ相當期欄內ニ記入スヘシ

二　應募ノ場合ハ應募申込書、轉入、買受ノ場合ハ請求書ニ據リ記番號欄內ニ式ノ如ク「記名請求」「無記名請求」ノ押印ヲ爲スヘシ

三　繰上拂込ノ金額及年月日ハ每期ニ區別シ記入スヘシ

四　繰上及延滯拂込ヲ爲シタル者アルトキハ其都度相當金額ニ式ノ如ク「延滯」「繰上拂込」ノ押印ヲ爲シ每期拂込期限後ニ至リ差引現在高ノ內譯ニ朱字ヲ以テ其金額ヲ列記スヘシ

第三號書式　何公債證書交付報告表

（用紙美濃紙半切）　明治何年何月何日

種類	受高又ハ越高		拂高		殘高	
	枚數	額面	枚數	額面	枚數	額面
記名						
五千圓券						
千圓券						
五百圓券						
百圓券						
五拾圓券						
計						
無記名						
五千圓券						
千圓券						
五百圓券						
百圓券						
五拾圓券						
計						
總計						

日本銀行何地代理店

何銀行何役何某印

第四號書式　何公債拂込金收入報告表

（用紙美濃紙半切）　明治何年何月何日

國債　軍事公債

拂込年月日		摘要	拂込期	拂込金額
11	16		第三期	10,000,000
〃	〃	繰上拂込	第四期分	100,000
〃	〃	〃	第五期分	20,000
〃	〃	延滯拂込	第二期分	10,000
		總計		10,130,000

日本銀行何地代理店

何銀行何役何某印

當期ノ拂込金ハ一日分ヲ合計記載スヘシ

第五號書式　何公債繰上拂込報告表

（用紙美濃紙半切）　明治何年何月何日

拂込年月日		摘要	拂込期	五千圓券		千圓券		五百圓券		百圓券		五拾圓券		合計	
				枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額
10	26		第三期	10	5,000,000	20	3,000,000	10	500,000	20	200,000	1	5,000	61	7,705,000

日本銀行何地代理店

何銀行何役何某印

數期ノ繰上拂込金額ヲ合計金額ヲ記載スヘシ　其金額ヲ各拂込期ニ區別シテ記載スヘシ

第六號書式　　何公債端數利札交付報告表

（用紙美濃紙半切）　　明治何年何月何日

種類	受高又ハ越高		拂高		殘高	
	枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額
何圓券						
何圓何拾錢						
何圓何拾何錢						
何圓券						
何圓何拾錢						
何圓何拾何錢						
何圓券						
何拾何錢何厘						
何々						
何々						
何々						
總計						

日本銀行何地代理店

何銀行何役何某印

第七號書式

紛失消滅代リ軍事公債假證書請求書

一軍事公債假證書額面何圓

但何期迄拂込濟其證書記番號等左ノ如シ

此證書何枚

證書額面	記號	番號	記名又ハ無記名請求

右拙者所有ノ假公債證書明治年月日何々ノ事故ニ由リ紛失（消滅）候事實正也依テ更ニ假公債證書御交付相成度他日右紛失消滅證書ニ關シ如何樣ノ故障出來候共拙者ハ勿論保證人ニ於テ引受ケ都テ負擔可致保證人連署此段請求候也

年　月　日

住所　何某

保證人　住所　何某

保證人　住所　何某

大藏大臣宛

國債　軍事公債

第八號書式

軍事公債假證書取扱店轉換請求書

一軍事公債假證書額面何圓

但何期迄拂込濟其證書記番號等左ノ如シ

證書額面	記號	番號	記名又ハ無記名請求
第何期繰上拂込			
又ハ延滯拂込			

此證書何枚

右證書是迄貴店ノ取扱ヲ受居候處自今日本銀行何地代理店ノ取扱ヲ受度キニ付轉換御取計相成度此段請求候也

年　月　日

住所
何某　印

何地代理店宛

前書請求ニ依リ當店記名簿消印ノ上及轉送候條貴店ニ於テ登錄濟ノ上ハ其旨御回報相成度候也

年　月　日

日本銀行何地代理店印

印　副書ト割印ス可シ

「備考」賣渡及記名者死亡後ニ係ル轉換請求書ハ債務規程第八十五號及第八十六號書式ニ準ス

第九號書式　軍事公債假證書轉出報告表

（用紙美濃紙半切）　明治何年何月何日

轉入先店名	證書種類	枚數	記名請求	無記名請求	合計	摘要
大阪	百圓	2	100	100	200	第何期繰上拂込
〃	〃	3	300		300	第何期迄拂込濟
〃	五拾圓	2		100	100	第何期延滯拂込
〃	〃	1	50		50	第何期延滯

日本銀行何地代理店

何銀行何役何某印

第十號書式　軍事公債假證書轉入報告表

（用紙美濃紙半切）　明治何年何月何日

轉出先店名	證書種類	枚數	記名請求	無記名請求	合計	摘要
名古屋	百圓	2	100	100	200	第何期繰上拂込

日本銀行何地代理店

何銀行何役何某印

第十一號雛形

壹寸四方

何地	引換濟

尋テ幾クモナク二十七年十一月二十五日取扱略則及同書式中ヲ加除改正スルコト左ノ如シ

第一條「記入シ申込書」ノ下「一通ハ」ヨリ「即日」マテ二十九字ヲ削除シ「ハ各出張所分ヲ取纏メ價格以上ノ申込ト價格ノ申込トヲ別括トシ價格以上ハ價格ノ高キモノヨリ又同價格ノモノハ申込高ノ多キモノヨリ順次取揃ヘ其枚數及金額ヲ記シタル書面ヲ添ヘ募集期後五日以内ニ」ノ九十三字ヲ加ヘ「發送スヘシ」ノ下「但申込書一通ハ代理店ニ留メ置クヘシ」ノ十七字ヲ加フ

第一條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

募集期限中ハ日々其日ノ申込高ヲ本行ニ電報シ又出張所取扱ノ分ニシテ申込期限後報告到着シタルモノハ追加トシテ電報スヘシ

第二條第三項「募集期限後」ノ下「三日」ヲ「五日」ニ改メ「於テ」ノ下「第十二號書式」ノ文字ヲ挿入シ「總額報告表」ノ下割註及「但」以下四十六字ヲ删除ス

第三條第二項「保證金ハ」ノ下及「拂戻期日ハ」ノ下「回金」ノ二字ハ孰レモ「前項通知」ニ改ム

第四條第一項「差出サシメ又」ノ下「額面」ヲ「價格」ニ改メ「者ニハ其」ノ下「額面」ヲ「價格」ニ改ム

同條第四項「額面」ヲ「價格」ニ改メ「領收シタルトキハ」ノ下「割拂金」ヨリ以下「調製」シマテ四十七字ヲ削リ「其合金額ヲ」ノ五字ヲ挿入シ「本行ニ」ノ下「向ケ發送」ノ四字ヲ「報告」ニ改ム

書式中左ノ書式ヲ追加ス

第十二號書式　軍事公債第何回募集應募總額報告表

（用紙美濃紙半切）　明治何年何月何日

價格	應募額	口數	應募合額	上額以金價格ノ差價
100500	2,000000	3	6,000000	330000
〃	1,000000	2	2,000000	110000
〃	500000	1	500000	275000
00000	5,000000	5	25,000000	1,250000
〃	3,000000	3	9,000000	450000
〃	1,000000	2	2,000000	100000
95000	5,000000	8	40,000000	0
〃	3,000000	10	30,000000	0
		34	114,500000	2,267500

日本銀行何地代理店

印某何役何行銀何

シヘス載記ニ次順ヨリヨリモノキモノ多ノ高込申ハニ欄ノ額募應欄ノ高キモノヨリ價格ノ高キモノヨリ順ヲ以テ價格ノ欄ニハ價

又同年十二月三十一日ニ至リ取扱略則及同書式中ヲ左ノ通加除改正セリ

一　第四條第三項中「交付シタルトキハ」ノ下ヘ「一ケ月分取纏メ」ノ七字及「報告表ヲ」ノ下ヘ「作リ翌月五日マテニ」ノ九字ヲ挿入シ「但記名、無記名、請求ノ區別ヲ要セス」ノ但書ヲ加フ

二　第五條第二項中「取扱ヒ」ノ下「即日」ノ二字ヲ削リ「一ケ月分ヲ合計シ」ノ八字ヲ挿入シ「報告表ヲ」ノ下「拂込金收入報告表ニ添ヘ」ノ十一字ヲ削リ「作リ翌月五日マテニ本行ニ」ノ十二字ヲ挿入ス

三　第九條第一項中「募集金元帳ニ記入シ」ノ下「證書種類」ヨリ「書面」マテノ三十字ヲ削リ「第十三號書式延滯利金收入報告表」ノ十五字ヲ挿入ス

四　第五號書式中「拂込年月日」ノ欄ヲ削リ左ノ備考ヲ加フ

二回以上ノ繰上拂込ヲ爲シタル者及拂込ヲ延滯シタル者ノ繰上拂込又ハ曩ニ繰上拂込ヲ爲シタル者其後拂込ヲ延滯シ尚又繰上拂込ヲ爲ス者等ハ何レモ別表ニ記載シ摘要欄内ニ「第何期ニ於テ何期マテ繰上拂込」「第何期拂込延滯」又ハ「第何期ニ於テ何期マテ繰上拂込ミ第何期拂込延滯」ト記入スヘシ

第十三號書式

（用紙美濃紙半切）　第　回軍事公債拂込金延滯利子收入報告表

第　號　　明治　年　月　日

收入年月日	姓名	證書種類	枚數	拂込期	延滯金額	日數	利金額	摘要
	何某	百圓券	1	第二期	10000	20	038	
	何某	五拾圓券	1	〃	5000	20	019	
	小計		2		15000		057	
	何某	五百圓券	1	第三期	50000	20	192	
	何某	百圓券	2	〃	20000	20	076	
	小計		3		70000		268	
	總計		5		85000		325	

二回以上拂込ヲ延滯シタル者及繰上拂込ヲ爲シタル者ノ延滯拂込又ハ曩ニ拂込ヲ延滯シタル者其後繰上拂込ヲ爲シ尙又拂込ヲ延滯シタル者等ハ何レモ別表ニ記載シ摘要欄内ニ「第何期沸込延滯」「第何期ニ於テ何期マテ繰上拂込」又ハ「第何期拂込延滯シ第何期ニ於テ何期マテ繰上拂込」等ト記入スヘシ

延滯利金ハ證書一枚毎ニ算出セス一人毎ノ延滯總金額ニ依リ算出スヘシ

尋テ略則中拂込金ヲ二回以上延滯若クハ繰上拂込等ヲ爲シタル者ニ關係アル第五號第九號第十號及第十三號書式報告表ノ摘要欄内記載方ハ爾後左ノ通取扱フヘキ旨明治二十八年三月二十二日ヲ以テ營業局長ヨリ各取扱店へ通牒セリ

一　第五號及第十三號書式備考ニ依リ調製シタル別表ノ内曩ニ延滯拂込ニ關係アルモノハ總テ其摘要欄内ニ「第何期延滯何月何日拂込」ト其延滯金ヲ拂込タル月日ヲ記載シ再三延滯ニ係ルモノハ各其拂込月日記載ノコト

二　二回以上延滯又ハ繰上拂込等ヲ爲シタル假證書取扱店轉換ノ際第九號及第十號書式報告表ノ摘要欄内ハ第五號及第十三號書式備考ノ例ニ依リ記載ノコト

其後明治二十九年四月二十五日ニ至リ從來ノ條項書式中不便ノ廉ヲ加除改正スルコト左ノ如シ

第四條第三項但書ヲ削ル

第八條但書ヲ削リ左ノ一項ヲ加フ

假公債證書ハ所管高增減帳（債務規程第五十五號書式）ニ「第何回募集軍事公債假證書」ノ口座（證書種類毎ヲ設ケ募入高ヲ基トシ本證書ト交換又ハ轉入出其他增減ノアリタル都度之ニ記入シ毎月第十四號書式所管高增減表ヲ作リ翌月五日マテニ本行ニ送付スヘシ

第九條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

延滯拂込金ハ毎半ケ月分ヲ合計シ第十五號書式延滯金拂込報告表ヲ作リ上半月分ハ其月二十日下半月分ハ翌月五日マテニ本行ニ送付スヘシ

同條第二項「前項」ノ二字ヲ削ル

同條第三項「拂込未濟ノモノアルトキハ」ノ下「其應募者」ヨリ「報告書ヲ」マテ三十字ヲ削リ「第十六號書式拂込金延滯總報告表ヲ作リ翌月五日マテニ本行ニ送付シ」ノ三十一字ヲ挿入シ「前第二項」トアルヲ「前第三項」ト改メ「姓名」ノ下ニ「價格」ノ二字ヲ挿ス

同條末尾ニ左ノ一項ヲ加フ

甲店轉出後乙店轉入登錄前延滯トナリタルモノハ乙店ニ於テ登錄ノ際追加トシテ拂込金延滯者報告表（第十六號書式）ヲ作リ本行ニ送付スヘシ

第十二條第一項「即日」ノ下ニ「第十七號書式」ノ六字ヲ挿入シ割註ヲ削ル

第十四條第一項「適宜ノ箇所」トアルヲ「大藏大臣印面」ト改ム

第三號、第四號、第六號、第八號、第九號及第十號書式ヲ別紙ノ通改ム

第五號書式債第百三十四號通達ヲ以テ加ヘタル備考ヲ削リ表題ノ下「明治何年何月何日」トアルヲ「明治何年何月中」ト改メ代理店名ノ上ニ「明治何年何月何日」ノ八字ヲ加フ

第十三號書式證書種類枚數ノ二欄及備考ヲ削ル同書式ノ次ニ別紙第十四號、第十五號、第十六號及第十七號書式ヲ加フ

第何回募集

第三號書式　軍事公債表告報付交書證假債公事軍

中月何年何治明　第何號

國債　軍事公債

種類	日本銀行ヨリ受入高		應募者ヘ交付高				差引未交付高	
			前月迄交付高		本月中交付高			
	枚數	額面	枚數	額面	枚數	額面	枚數	額面
五千圓	10	50,000	5	25,000	3	15,000	2	10,000
千圓	20	20,000	10	10,000	5	5,000	5	5,000
五百圓	30	15,000	15	7,500	8	4,000	7	3,500
百圓	40	4,000	20	2,000	10	1,000	10	1,000
五拾圓	50	2,500	25	1,250	13	650	12	600
總計	150	91,500	75	45,750	39	25,650	36	20,100

明治何年何月何日

日本銀行何地代理店

何銀行何役何某　印

第何回募集

第六號書式　明治何年何月渡軍事公債月割利札交付報告表

明治何年何月中　　第何號

國債　軍事公債

摘要			受高						拂高						差引本交付高	
			前月ヨリ越高		本月中受入高		計		本月中交付高		本月中日本銀行ヘ返戻高		計			
證書種類	歩合利札金額		枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額
五千圓	62	500	5	312 500	2	187 500	8	500 000	5	312 500	1	62 500	6	375 000	2	125 000
千圓	12	500	10	125 000	3	37 500	13	162 500	7	87 500	1	12 500	8	100 000	5	62 500
五百圓	6	250	10	92 500	2	12 500	12	75 000	6	37 500	1	6 250	7	43 750	5	31 250
	5	209	5	26 045	1	6 209	6	31 254	4	20 836			4	20 836	2	10 418
百圓	1	250	20	25 010	3	3 750	23	28 750	12	15 000	1	1 250	13	16 250	10	12 500
五拾圓		925	25	15 635	3	2 875	28	17 500	65	9 375	1	625	16	10 000	12	7 500
總計			75	566 670	15	248 334	90	315 004	49	482 711	5	83 125	54	565 836	26	249 168

明治何年何月何日

日本銀行何代理店

何銀行何役何某印

第何回募集

第四號書式　軍事公債拂込金收入報告表

明治何年何月何日　　第何號

拂込月	拂込日	摘要	拂込期	金額
5	16	繰上拂込	第四期	100 000
〃	17	〃	〃	50 000
〃	18	〃	第五期	20 000
		小計		170 000
5	18	通常拂込	第三期	1,000 000
		小計		1,000 000
5	18	延滯拂込	第二期	10 000
〃	19	〃	〃	50 000
		小計		60 000
		總計		1,230 000

日本銀行何地代理店

何銀行何役何某印

第八號書式

軍事公債假證書取扱店轉換請求書

一軍事公債假證書額面何圓也

但何年何月渡以降利金付其證書記番號等左ノ如シ

此證書何枚

拂込經過	證書種類	記號番號	備考
第何期マテ通常拂込濟			
第何期ニ於テ何期繰上何期延滯何月何日拂込			
第何期ニ於テ何期マテ繰上何期通常			

右證書是迄貴店ノ取扱ヲ受ケ居候處自今日本銀行何地代理店ノ取扱ヲ受ケ度ニ付轉換御取計相成度此段請求候也

年　月　日

日本銀行何地代理店宛

住所
何某　印

第　何　號

前書請求ニ依リ當店記名簿消印ノ上及轉送候條貴店ニ於テ登錄濟ノ上ハ其旨御回報相成度候也

年　月　日

日本銀行何地代理店宛

日本銀行何地代理店印

備考

備考欄内ニハ轉出店ニ於テ本證書及利札請求ノ濟否ヲ記入スヘシ

賣渡及記名者死亡後ニ係ル轉換請求書ハ債務規程第八十五號及第八十六號書式ニ準ス

第何回募集

第十四號書式　軍事公債假證書所管高增減表

明治何年何月何日　　第何號

國債　軍事公債

種類	募入高		轉入高				轉出高				本證書ト引換高		差引現所管高	
			前月迄入高		本月入高									
	枚數	額面	枚數	額面	枚數	額面	枚數	額面	枚數	額面	枚數	額面	枚數	額面
五千圓	10	50,000	1	5,000	2	10,000	1	5,000	2	10,000	5	25,000	5	25,000
千圓	20	20,000	1	1,000	2	2,000	1	1,000	2	2,000	10	10,000	10	10,000
五百圓	30	15,000	1	500	2	1,000	1	500	2	1,000	15	7,500	15	7,500
百圓	40	4,000	1	100	2	200	1	100	2	200	20	2,000	20	2,000
五拾圓	50	2,500	1	20	2	100	1	50	2	100	25	1,250	25	1,250
總計	150	91,500	5	6,650	10	13,300	5	6,650	10	13,300	75	45,750	75	45,750

「登錄未濟高」

「百圓」	「2	200」
「五拾圓」	「5	250」
計	「7	450」

ア轉出店ヨリ轉換請求書ノ送付ヲ受ケ未ダ登錄ヲ了セサルモノアルトキ掲載スヘシ

「」内ハ朱書

明治何年何月何日

日本銀行何地代理店

何銀行何役何某印

第何回募集

第九號書式　軍事公債假證書轉出報告表

明治何年何月何日　　第何號

轉換請求書番號	轉入先店名	姓名	種類證書	枚數證書	額面	拂込經過 第一期	第二期	第三期	第四期	第五期	第六期	第七期	第八期	拂込濟金額	摘要
1	大阪	何某	百圓	2	200	三下	四下	六上	六下					100	何月迄以降利金ナシ
2	京都	何某	五百圓	1	500	〃	〃	五下	〃	七下				300	何月迄以降利金有
〃	〃	〃	百圓	1	100	〃	〃	〃	〃	〃				60	
		總計		4	800									460	

日本銀行何地代理店

何銀行何役何某印

摘要欄内ニハ本證書及利札請求ノ濟否ヲモ附記スヘシ

表中三下トアルハ三月下半月、六上トアルハ六月上半月ナリ其他之ニ倣フ

第何回募集

第十號書式　軍事公債假證書轉入報告表

明治何年何月何日　　第何號

轉換請求書番號	轉入先店名	姓名	證書種類	枚數證書	額面	拂込經過 第一期	第二期	第三期	第四期	第五期	第六期	第七期	第八期	拂込濟金額	摘要
5	廣島	何某	千圓	1	1,000	三下	四下	五下	六下	七下	八下	九下		900	何月迄以降利金ナシ
〃	〃	〃	百圓	2	200	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		180	〃
〃	〃	〃	五十圓	1	50	〃	〃	七上	七上	七下	〃	〃		45	〃
7	大阪	何某	百圓	1	140	4	〃	五下	六下					50	何月迄以降利金ナシ
		總計		5	1,350									1,175	

日本銀行何地代理店

何銀行何役何某印

摘要欄ニハ前取扱店ニ於ケル本證書及利札請求ノ濟否ヲモ附記スヘシ

表中三下トアルハ三月下半月、七上トアルハ七月上半月ナリ其他之ニ倣フ

第十七號書式　　第何回募集

軍事公債本證書交付報告表

明治何年何月何日　　第何號

種類	日本銀行ヨリ受入高 前日迄高 枚數	日本銀行ヨリ受入高 前日迄高 額面	日本銀行ヨリ受入高 本日受入高 枚數	日本銀行ヨリ受入高 本日受入高 額面	日本銀行ヨリ受入高 計 枚數	日本銀行ヨリ受入高 計 額面	假證書ト交換高 前日迄高 枚數	假證書ト交換高 前日迄高 額面	假證書ト交換高 本日交換高 枚數	假證書ト交換高 本日交換高 額面	日本銀行へ返戻高 枚數	日本銀行へ返戻高 額面	未引換差引交付高 枚數	未引換差引交付高 額面
記名														
五千圓	5	25,000	3	15,000	8	40,000	3	15,000	2	10,000	1	5,000	2	10,000
千　圓	10	10,000	3	3,000	13	13,000	5	5,000	2	2,000	1	1,000	5	5,000
五百圓	15	7,500	3	1,500	18	9,000	8	4,000	2	1,000	1	500	7	3,500
百　圓	20	2,000	3	300	23	2,300	10	1,000	2	200	1	100	10	1,000
五拾圓	20	1,250	3	150	28	1,400	13	650	2	100	1	50	12	600
計	75	45,750	15	19,950	90	65,700	39	25,650	10	13,300	5	6,650	36	20,100
無記名														
五千圓	5	25,000	3	15,000	8	40,000	3	15,000	2	10,000	1	5,000	2	10,000
千　圓	10	10,000	3	3,000	13	13,000	5	5,000	2	2,000	1	1,000	5	5,000
五百圓	15	7,500	3	1,500	18	9,000	8	4,000	2	1,000	1	500	7	3,500
百　圓	20	2,000	3	300	23	2,300	10	1,000	2	200	1	100	10	1,000
五拾圓	25	1,250	3	150	28	1,400	13	650	2	100	1	50	12	600
計	75	45,750	15	19,950	90	65,700	39	25,650	10	13,300	5	6,650	36	20,100
總計	150	91,500	30	39,900	180	131,400	78	51,300	20	26,600	10	13,300	72	40,200

日本銀行何地代理店

何銀行何役何某印

第何回募集

第十五號書式　軍事公債延滯金拂込報告表

明治何年何月上(下)半月中　　第何號

拂込期	五千圓券 枚數	五千圓券 金額	千圓券 枚數	千圓券 金額	五百圓券 枚數	五百圓券 金額	百圓券 枚數	百圓券 金額	五拾圓券 枚數	五拾圓券 金額	合計 枚數	合計 金額
第二期	1	500	2	200	1	50	15	150	20	100	39	1,000
第三期							7	140	15	150	22	290
第四期			1	100	4	200	5	50	10	50	20	400
總計	1	500	3	300	5	350	27	340	45	300	81	1,690

明治何年何月何日

日本銀行何地代理店

何銀行何役何某印

第何回募集

第十六號書式　軍事公債第何期拂込金延滯者報告表

第何號

姓名	五千圓券 枚數	五千圓券 金額	千圓券 枚數	千圓券 金額	五百圓券 枚數	五百圓券 金額	百圓券 枚數	百圓券 金額	五拾圓券 枚數	五拾圓券 金額	合計 枚數	合計 金額
何某	1	500					2	20			3	520
何某									3	15	3	15
何某			1	100	2	100	1	10	1	5	5	215
總計	1	500	1	100	2	100	3	30	4	20	11	750

明治何年何月何日

日本銀行何地代理店

何銀行何役何某印

是ヨリ先明治二十七年九月二十四日大藏省令第十七號ヲ以テ軍事公債假證書ノ賣買、讓與及抵當ニ關スル取扱順序ヲ左ノ通定メラレ爾後引續キ發行ニ係ル同公債ニ適用セラレタリ

明治二十七年勅令第百四十四號軍事公債條例第四條ニ據リ軍事公債假證書賣買讓與及抵當ニ關スル取扱順序左ノ通相定ム

軍事公債假證書賣買讓與及抵當ニ關スル取扱順序

第一條　軍事公債假證書賣買讓與ニ就テハ明治十九年勅令第六十六號整理公債條例第十六條第十七條第十八條第十九條ニ據リ尚明治十九年大藏省令第三十號整理公債取扱順序第二十七條第二十八條第二十九條ヲ適用ス

第二條　軍事公債各期拂込ノ期日ヲ經過シ尚拂込ノ未濟ナルモノハ其ノ拂込ヲ了シタル後ニアラサレハ取扱店ニ於テハ軍事公債假證書賣買讓與等ニ係ル名前書換ヲ爲サヽルヘシ

但シ家名相續及遺產相續ノ場合ニ於テハ此限ニアラス

第三條　軍事公債假證書ヲ抵當ニ差入レタル場合ニ於テモ各期ノ拂込金ハ其ノ時々之ヲ該證書ニ記入スヘシ

尋テ明治二十八年七月十七日仕拂濟記名軍事公債月割利札消滅ニ付還納手續ヲ大藏大臣ニ伺出テシニ八月二日ニ至リ右ハ債主受取濟ノ證明書ヲ添附シ仕拂計算書ノ證憑ニ供スヘク但整理公債條例第二十條第二十五條及整理公債取扱順序第二十一條第二十二條ニ據リ仕拂ヲナシタル債主領收證書モ直ニ仕拂計算書ノ證憑ニ供スヘキ旨指令セラレタリ

抑モ軍事公債證書ノ發行ハ明治二十七年ヨリ同二十九年マテ前後四回ニ亘リ其第一回及第二回ノ全部ト第四回ノ一部トハ普通發行方法ニ依リテ發行セラレタルモノナリ以下每回發行ニ就テノ概況ヲ述ヘントス

第一回發行ニ關シ明治二十七年八月十七日大藏省告示第三十二號ヲ以テ募集ノ總額及利子ノ割合應募日限等ヲ左ノ通公示セラレタレハ同月二十五日募集ニ關スル取扱手續ヲ各取扱店ヘ通達セリ

一　軍事公債第一回募集ノ證書總額ハ參千萬圓トシ價格ハ額面百圓ニ付其最低ヲ金百圓トス但應募高需要ノ總額ニ超過スルトキハ應募價額ノ高キモノヨリ順次ニ之ヲ取リ總額參千萬圓ニ滿ルニ至テ止ム

一　第一回軍事公債ノ利子ハ一箇年百分ノ五トス

一　募集ニ應セントスル者ハ來ル九月十日ヨリ同十三日マテニ應募價格及住所姓名ヲ詳記シ日本銀行本支店又ハ同代理店ヘ申込ムヘシ

一　應募金ニ對スル保證金ノ割合ハ證書額面百圓ニ付金拾圓トス

一　大藏大臣ハ來ル九月二十日マテニ各應募者ニ交付スヘキ軍事公債證書ノ高ヲ查定シ日本銀行ヲシテ之ヲ通知セシムヘシ

一　前條ノ通知ヲ受ケタル應募者ニシテ額面以上ノ申込ヲ爲シタルモノハ日本銀行ヨリ通知スル期日マテニ之カ差額ヲ拂込ミ假公債證書ノ交付ヲ受クヘシ

一　應募ノ通知ヲ受ケタル上ハ其應募高ニ對スル保證金ハ第一期ノ拂込ト心得第二期以下左ノ割合ニ依リ之ヲ拂込ムヘシ

應募額百圓ニ對スル拂込金額率

第一期　二十七年九月二十日マテ　此拂込金拾圓（保證金振換）
第二期　二十七年十月三十一日マテ　同十六日ヨリ　此拂込金拾圓
第三期　二十七年十一月十日マテ　同十六日ヨリ　此拂込金拾圓
第四期　二十八年二月十八日マテ　同十六日ヨリ　此拂込金拾圓
第五期　二十八年三月十一日マテ　同十六日ヨリ　此拂込金貳拾圓
第六期　二十八年四月十日マテ　同十六日ヨリ　此拂込金拾圓
第七期　二十八年五月十一日マテ　同十六日ヨリ　此拂込金貳拾圓
第八期　二十八年六月十日マテ　同十六日ヨリ　此拂込金拾圓

但各期拂込末日ノ日曜日ニ當ルトキハ其前日限リトス

一　前揭ノ通拂込期日ヲ定ムト雖モ應募者ノ都合ニヨリ全額又ハ半額ヲ一時ニ拂込若クハ後期ノ分ヲ前期ニ繰上ケ拂込ヲナスコトヲ得

斯クテ政府ニ於テハ從來斯カル巨額ノ公債ヲ一時ニ募集セラレタルコトナケレハ其結果ノ如何ヲ慮リ種々應募勸誘ノ手段ヲ講セラレシカ期日ニ至リ各取扱店ニ於ケル申込額ヲ綜合セシニ應募總額ハ實ニ七千七百萬二千六百五十圓ノ巨額ニ達シ募集豫定額ニ比シテ四千七百萬二千六百五十圓ヲ超過セリ仍テ大藏大臣ノ認可ヲ經テ募集額ノ內先ツ價格以上申込額千百六十二萬七千八百五十圓ヲ募入シ殘リ價格申込額六千五百三十七萬四千八百圓ノ內募集超過額ヲ申込高ニ應シ割合減少シ千八百三十七萬二千百五十圓ヲ募入トシ豫定額三千萬圓ニ滿タシメ其旨同年九月二十日各取扱店ヘ通達シ又官報廣告等夫々債主ヘ通告ノ手續ヲ爲セリ

尋テ公債ノ應募者中前期ニ於テ一期若クハ數期分ノ繰上ケ拂込ヲ爲シタル者後期ニ至リ拂込ヲ延滯シタルトキ及前期ニ於テ拂込ヲ延滯シタル者後期ニ於テ繰上ケ拂込ヲ爲シタルトキノ報告方ニ關シ明治二十七年十月十五日各取扱店ヘ左ノ通達ヲナシタリ

一　前期ニ於テ一期分若クハ數期分繰上ケ拂込ヲ爲シタルモノ後期ニ至リ拂込ヲ延滯シタルトキハ債務規程第二十三條第一項ニ依リ差出スヘキ延滯利金收入報告書ニ「何圓券何枚ニ對スル第何期分第何期ニ於テ繰上ケ拂込」ト記載セラルヘシ

一　前期ニ於テ拂込ヲ延滯シタルモノ後期ニ於テ繰上ケ拂込ヲ爲シタルトキハ別ニ略則第五號書式報告表ヲ作リ其摘要欄內ニ「何某第何期拂込金延滯ニ關係アル分」ト記載セラルヘシ

第二回發行ハ明治二十七年十月二十四日法律第二十五號清國及朝鮮國トノ交涉事件ニ關スル軍費支辨ノ爲メ一億圓ヲ限リ一箇年六朱以下ノ利子ヲ以テ漸次公債ヲ募集シ若クハ借入金ヲ爲スコトヲ得トノ規定ニ基キ同年十一月二十二日大藏省令第十九號ヲ以テ軍事公債五千萬圓ヲ募集シ其利子ハ一箇年百分ノ五トシ且此公債ノ償還利子ノ仕拂其他ノ取扱ハ總テ整理公債條例ノ規定ニ準據スヘキモノトセリ尙同日大藏省令第二十號ヲ以テ之カ取扱順序ハ渾テ第一回發行ノ際公布セラレタル既記二十七年八月大藏省令第十五號同年九月同省令第十七號及同年十一月同省令第十八號（後段參照）ヲ適用スヘキ旨公布セラレ尋テ同月二十六日大藏大臣ヨリ其取扱方ニ付左ノ通達セラレタリ

本年大藏省令第十九號ニ依リ發行スル軍事公債ハ之ヲ第二回發行トシ其行取扱方ハ本年八月十七日付ヲ以テ相達シタル第一回發行軍事公債ニ關スル取扱中第四條ヲ除キ其他ノ條項ニ據リ取扱フヘシ

但本公債取扱ニ付證書發行、利子仕拂ニ係ル手數料及交換濟假公債證書仕拂濟利札遞送費支給方ハ追テ相達スヘシ

右ハ其後明治三十二年三月二十九日ヲ以テ大藏大臣ヨリ内國ニ於ケル國債事務取扱方命任書ヲ下付セラルヽニ及ヒ其第三十三條ニ依リ廢止セラレタリ

第三回發行ハ明治二十八年十月三日勅令第百三十七號明治二十七八年ノ戰役ニ關シ賜ハルヘキ一時賜金ハ受給者ノ便宜ヲ圖リ軍事公債證書ヲ以テ交付スルコトヲ得トノ規定ニ基キ發行セラレタルモノニシテ同月四日大藏省令第三號ヲ以テ此證券ハ明治二十七年法律第二十五號前出ニ據リ整理公債條例第六條第二項特別發行ノ方法ヲ以テ券面金額一千萬圓ヲ限リ漸次發行シ其利率ハ一箇年百分ノ五トシ其他元金償還利子仕拂等ノ取扱ハ整理公債取扱順序ノ規定ニ準據スヘキモノト定メ同ニ同省令第四號ヲ以テ此公債ノ取扱方ハ整理公債取扱順序ノ規定ニ準據スヘキ旨ヲ公布セラレタリ尋テ同月十五日ヲ以テ其取扱方ニ關シ左ノ如ク達セラレタリ

一　軍事公債ニ關スル法律命令ヲ遵守シ其取扱方ハ從前命任シアル公債ノ取扱ニ依ルヘシ

一　本發行軍事公債取扱ニ付テハ二十八年度ニ於テハ左ノ手數料ヲ支給ス

一　本公債發行手數料トシテ發行高ノ萬分ノ貳

一　本公債利金支拂手數料トシテ支拂高ノ千分ノ參

一　本公債支拂濟利札遞送費ハ實費

右ハ其後明治三十二年三月二十九日付ヲ以テ大藏大臣ヨリ内國ニ於ケル國債事務取扱命任書ヲ下付セラルヽニ及ヒ其第三十三條ニ依リ廢止セラレタリ

第四回發行ハ明治二十七年十月法律第二十五號前出及二十八年三月法律第八號軍費支辨ノ爲メ更ニ一億圓ヲ限リ一箇年六朱以下ノ利子ヲ以テ漸次公債ヲ募集シ若クハ借入金ヲ爲スコトヲ得トノ規定ニ據リ二十九年三月四日大藏省令第二號ヲ以テ一般公衆ヨリ一千萬圓ヲ募集シ竝ニ同省令第三號ヲ以テ整理公債條例第六條第二項特別發行ノ方法ニ依リ二千五百萬圓ヲ發行スル旨ヲ公布シ二公債共利子ハ何レモ一箇年百分ノ五トシ公債償還利子仕拂其他ノ取扱ハ整理公債條例ノ規定ニ準據スルモノトナシ尚同月五日大藏省令第四號ヲ以テ前記省令第二號ニ據リ募集スヘキ軍事公債取扱順序ハ二十七年八月大藏省令第十五號同年同省令第十七號及同年十一月同省令第十八號ヲ適用スヘキ旨ヲ公布シ又同日大藏省令第五號ヲ以テ前記省令第三號ニ據リ發行スヘキ軍事公債ノ取扱方ハ整理公債取扱順序ノ規定ニ準據スヘキ旨ヲ公布セラレタリ又同年三月四日右第四回發行ノ軍事公債取扱方ニ關シ大藏大臣ヨリ左ノ通本行ニ達セラレタリ

本年大藏省令第二號及第三號ニ據リ發行スル軍事公債ハ之ヲ四回發行トシ其行取扱方左ノ通心得ヘシ

第一條　軍事公債ニ關スル法律命令ヲ遵守シ其取扱方ハ從前命任シアル公債取扱ニ準據スヘシ

第二條　大藏省令第二號ノ軍事公債募集ノトキ第一回拂込及額面以上ノ申込差額ノ拂込ヲ了シタルトキハ拂込金額ニ相當スル假證書ヲ其行ヘ交付スヘキニ付之ヲ債主ニ交付シタルトキハ本店ノ分ハ交付ノ翌日ヨリ十日以内ニ其額（證書種類ヲ區別シ）ヲ國債局ニ報告スヘシ

第三條　軍事公債假證書ト交換ヲ了シタルトキハ還納表ヲ添付シ之ヲ國債局物品會計官吏ニ納

付スヘシ

右ハ其後明治三十二年三月二十九日付ヲ以テ大藏大臣ヨリ內國ニ於ケル國債事務取扱命任書ヲ交付セラルヽニ及ヒ其第三十三條ニ依リ廢止セラレタリ

以上第二回發行ヨリ第四回發行ニ至ル軍事公債取扱手續竝ニ取扱略則ハ總テ第一回發行ノ際制定シタルモノニ準據シ間々不便ナル廉ハ時々加除訂正ノ上施行セリ此等ハ既ニ第一回發行ノ部ニ於テ詳記シタレハ就テ覩ルヘシ

次ニ第二回以下ノ發行ニ關スル實際ノ狀況ヲ述ヘンニ第二回發行ハ明治二十七年十一月二十二日大藏省告示第四十號ヲ以テ募集總額ヲ五千萬圓募集最低價格ヲ額面百圓ニ付九十五圓申込期限ヲ同年十二月十一日ヨリ同月十五日迄各應募者ニ交付スヘキ證書高ノ査定期日ヲ十二月二十五日迄トシ又拂込ヲ七期ニ分チ其期日ヲ左ノ通之ヲ定メ其他保證金ノ割合拂込ノ手續ハ第一回發行ノ時ト同一ニセラレタリ

第一期	二十七年十二月二十五日マテ	此拂込金十圓(保證金振替)	
第二期	二十八年一月十六日ヨリ同月三十一日マテ	同 十圓	
第三期	同 二月十六日ヨリ同月二十八日マテ	同 十圓	
第四期	同 三月十六日ヨリ同月三十一日マテ	同 十圓	
第五期	同 四月十六日ヨリ同月三十日マテ	同 二十圓	
第六期	同 五月十六日ヨリ同月三十一日マテ	同 十五圓	
第七期	同 六月十六日ヨリ同月三十日マテ	同 二十圓	

依テ例ノ如ク募集ニ關スル取扱手續ヲ各取扱店ヘ通達シタルカ期日ニ至リ各地ニ於ケル募集額ヲ綜合セシニ九千二十七萬四千七百五十圓ノ多キニ達シ募集豫定額ニ比シテ四千二十七萬四千七百五十圓ノ超過ヲ見タリ是ニ於テ大藏大臣ニ經伺ノ上募集額ノ內價格以上申込額二千二百十萬二千五十圓及價格申込ノ內ニ於テ二百圓以下申込ノ分七百九十一萬六千八百圓ハ少額無減少法ニ依テ募入トシ尚平價ノ內千九百九十八萬千百五十圓ハ申込額ニ割合募入トナシ募集豫定額五千萬圓ニ充タシメ其他ハ募入外レト爲シ明治二十七年十二月二十二日ヲ以テ其旨各取扱店ヘ通達シ債主ヘ通知スル等夫々制規ノ手續ヲ爲セリ

第三回發行豫定額一千萬圓ハ特別發行ノ方法ニ據リ明治二十八年十月四日大藏大臣ヨリ本行ニ對シ左ノ如ク發行手續ヲ達セラレタリ

本年勅令第百三十七號ニ依リ明治二十七八年ノ戰役ニ關シ賜フ所ノ軍事公債證書ノ購入ハ其行ニ於テ陸海軍兩省ヨリ公債證書購入ノ請求ヲ受ケタル都度其金額枚數ヲ大藏省ニ申出ヘシ

大藏省ハ其行ニ對シ時價ヲ以テ軍事公債證書ヲ發行スヘキニ付之ヲ陸海軍兩省ニ交付シ其代金ヲ徵シテ當省ニ納付スヘシ

初メ軍事公債第三回發行ノ豫定額ハ一千萬圓ナリシカ明治二十八年十月十六日ヨリ三十三年十月十三日迄ニ實際發行セシ總額ハ九百九十二萬四千二百五十圓ニシテ今年次ヲ逐ヒテ之ヲ表出スレハ左ノ如シ

月次	發行額	發行價格
二十八年十月	九〇、〇〇〇円	一〇〇・五〇〇円

國債 軍事公債

二十八年十月	一五〇、〇〇〇	一〇〇・二〇〇		
同　同	七〇、〇〇〇	一〇〇・三〇〇		
二十八年十一月	四〇〇、〇〇〇	一〇〇・三〇〇		
同　同	五〇、〇〇〇	一〇〇・七〇〇		
同　同	二六二、五〇〇	一〇一・一〇〇		
同　同	三二八、〇〇〇	一〇一・九〇〇		
二十八年十二月	六〇、〇〇〇	一〇二・六〇〇		
同　同	二五〇、〇〇〇	一〇二・五〇〇		
同　同	二、〇三七、〇〇〇	一〇一・五〇〇		
同　同	三五〇、〇〇〇	一〇一・四〇〇		
二十九年四月	八〇、〇〇〇	九八・九〇〇		
同　六月	五〇〇、〇〇〇	一〇〇・二〇〇		
同　九月	三〇〇、〇〇〇	九八・七〇〇		
同　十二月	五〇〇、〇〇〇	九八・三六〇		
三十年二月	三〇〇、〇〇〇	九九・四九〇		
同　三月	六〇〇、〇〇〇	九九・〇四〇		
同　同	四〇〇、〇〇〇	九九・一四〇		
同　同	六〇〇、〇〇〇	九五・八三〇		
同　十二月	一、〇〇〇、〇〇〇	九三・一五〇		
三十一年二月	四五、〇〇〇	九三・四八〇		
同　三月	一、二〇〇、〇〇〇	九一・三二〇		
同　同	三、〇〇〇	八九・九四〇		
三十一年十月	四八、〇〇〇	九二・五一〇		
三十二年二月	五七、七五〇	九二・九八〇		
同　三月	二八、〇〇〇	九五・五四〇		
同　同	一三〇、〇〇〇	九四・八一〇		
三十二年十月	二〇、〇〇〇	九五・四八〇		
三十三年三月	六〇、〇〇〇	九二・八四〇		
同　九月	三、〇〇〇	九〇・七一〇		
同　十月	二、〇〇〇	九〇・五一〇		
總計	九、九二四、二五〇			

第四回發行ハ普通發行ト特別發行トノ二方法ニ據リ前者ハ明治二十九年三月四日大藏省告示第十三號ヲ以テ募集總額ヲ一千萬圓募集價格ヲ額面百圓ニ付最低百圓募集期限ヲ同年三月十六日ヨリ同月二十一日迄各募集者ヘノ證書交付高決定期日ヲ三月三十一日迄トシ又應募金拂込ヲ左ノ通八期ニ分チ其他保證金ノ割合拂込ニ關スル手續等ハ總テ第一回發行ト同一ナリキ

第一期　二十九年三月三十一日マテ　此拂込金十圓（保證金振替金）

第二期　同　年四月十六日ヨリ同月三十日マテ　同　十　圓
第三期　同　年五月十六日ヨリ同月三十一日マテ　同　二十　圓
第四期　同　年六月十六日ヨリ同月三十日マテ　同　十　圓
第五期　同　年七月十六日ヨリ同月三十一日マテ　同　十　圓
第六期　同　年八月十六日ヨリ同月三十一日マテ　同　二十　圓
第七期　同　年九月十六日ヨリ同月三十日マテ　同　十　圓
第八期　同　年十月十六日ヨリ同月三十一日マテ　同　十　圓

仍テ前例ニ倣ヒ募集ニ關スル取扱手續ヲ各取扱店ヘ通達シタルカ期日ニ至リ各地ノ申込額ヲ綜合セシニ應募總額百五十七萬八千五十圓内價格以上申込額百二萬六千八百五十圓ニ過キス是ニ於テ大藏大臣ニ上申ノ上募集豫定額ニ對スル不足額即八百四十二萬千九百五十圓ノ内五百萬圓ハ同年法律第六號償金特別會計法第二條ニ依リ同會計部ヘ額面價格ヲ以テ買入レラレ殘額三百四十二萬千九百五十圓ハ本行ニ於テ之ヲ引受ケ以テ募集豫定額ニ充タシメタリ

次ニ第四回發行中特別發行ニ係ル分二千五百萬圓ハ明治二十九年三月四日全部額面價格ヲ以テ發行シ直ニ國庫預金部ニ於テ引受ケラレタリ

以上叙述シタル所ノ如ク軍事公債證書ハ前後四回ニ亘リテ發行セラレ其内普通發行ノ方法ニ依リテ發行セラレタル總額面ハ九千萬圓ナリシカ其後整理公債條例第八條第二項拂込期日後三ケ月ヲ過キ猶拂込ヲナサヽルトキハ公債證書ヲ交付セス且既ニ拂込ノ金額ハ還付セサルモノトストノ規定ニ依リ應募ノ申込ヲ無効ト爲セシモノ第一回發行ノ分二千二百圓第二回發行ノ分千三百圓合計三千五百圓アリ隨テ募入決定高ハ八千九百九十九萬六千五百圓トナレリ是レ整理公債條例發布以來其第八條第二項ノ規定ヲ實地ニ適用セラレタル嚆矢ナリトス又特別發行ノ方法ヲ用ヒテ發行セシ總額面ハ三千四百九十二萬四千二百五十圓ナリシカハ兩者ヲ合セテ軍事公債證書ノ總發行額ハ實ニ一億二千四百九十二萬七百五十圓ナリトス今之ヲ表出スレハ左ノ如シ

回次	發行方法	年次	發行額
第一回	普通發行	二十七年	二九、九九七、八〇〇圓
第二回	普通發行	同	四九、九九八、七〇〇
第三回	特別發行	自二十八年至三十三年	九、九二四、二五〇
第四回	普通發行	二十九年	一〇、〇〇〇、〇〇〇
	特別發行	同	二五、〇〇〇、〇〇〇
總計			一二四、九二〇、七五〇

是ヨリ先明治二十七年十一月十三日大藏大臣ヨリ軍事公債募集金金庫ヘ納付手續ヲ左ノ如ク本行ヘ達セラレタリ

軍事公債募集金金庫ヘ納付手續左ノ通リ相定ムヘシ

一　日本銀行支店又ハ代理店ニ於テ軍事公債應募人ヨリ受入タル現金ハ其所在地金庫ヘ爲替納金トシテ拂込ミ其旨電信ヲ以テ毎日日本銀行ヘ通報スヘシ

二　同店ニ於テ右爲替納金ニ對スル金庫ノ領收證書ヲ得タルトキハ毎五十ノ日ニ取纏メ日本銀行ヘ郵送スヘシ

三　日本銀行ニ於テハ第一項ノ電信報告ヲ得タルトキ中央金庫ニ就キ當該金庫ニ於ケル爲替納金ノ電信報告ト對照ヲ乞ヒ其收入報告書ニ證明ヲ得タル後其旨大藏省ヘ電話ヲ以テ通報スヘシ

四　日本銀行ニ於テハ前項證明濟ノ電信報告書ニ收入官吏ヨリ發セル納入告知書ヲ添ヘ中央金庫ヘ納付手續取計フヘシ

五　日本銀行ニ於テハ第二項ノ爲替納金領收證書ヲ受ケタルトキハ中央金庫ヘ送付スヘシ

六　收入金アリシ翌日中ニ日本銀行ヘ郵便ノ達スル場所ヲ除クノ外本規則ニ依リ取扱フモノトス

但本規則ヲ施行セサル場所ヲ申出ヘシ

右令達第六項但書ニ基キ同月十五日該規則ヲ施行セサル場所ヲ左ノ通大藏大臣ニ上申セリ

横濱	靜岡	名古屋	岐阜	大津	京都
大阪	神戸	浦和	前橋	長野	千葉
水戸	宇都宮	福島	仙臺	盛岡	甲府
奈良					

尋テ翌二十八年十一月二十九日大藏大臣ヨリ軍事公債應募者ニシテ拂込ヲ怠リシモノニ對スル取扱方ヲ左ノ通リ定メタル旨達セラレタリ

軍事公債應募者ニシテ拂込ヲ怠リ期日後三ケ月ヲ經過シタルモノニ對スル取扱方左ノ通相定ム

一　軍事公債ノ募集ニ應シ已ニ若干ノ拂込ヲ爲シタル後次期ノ拂込ヲ怠リ期日後三ケ月ヲ過キ猶ホ拂込ヲ爲ササルモノノ其已ニ拂込タル金額ハ公債募集金ノ內應募者失權ノ分トシテ整理スヘシ

但本規則ヲ施行セサル場所ヲ申出ヘシ

一　前段ノ場合ニ於テモ其權利消滅スル迄ハ已ニ拂込タル金ニ對シテハ規定ノ利子ヲ付シ一般利子仕拂期月ニ於テ之ヲ交付スヘシ

以下軍事公債ノ償還及仕拂ニ就テ之ヲ述ヘンニ明治二十七年十一月一日大藏省令第十八號ヲ以テ第一回軍事公債假證書ノ利子ハ仕拂期ニ至ル利札ヲ交付シ該利札引換ニ現金ヲ仕拂フヘキ旨ヲ公布セラレ爾後引續キ發行ニ係ル軍事公債ニ適用セラレタリ

第一回發行ノ際發布セラレタル軍事公債條例ニ據レハ利子仕拂期ハ每年六月及十二月ノ兩度トシ其元金ハ證書發行ノ年ヨリ向五十箇年以內ニ償還スルノ規定ニシテ其後發行ニ係ル軍事公債ノ償還竝ニ利子ノ仕拂ハ總テ整理公債條例ニ準據スルコトヽナリシカ同條例ノ規定スル所ハ前記ノ軍事公債條例ノ規定ト同一ナリキ斯クテ第一回發行ニ係ル軍事公債ハ證書發行ノ年即明治二十八年ヨリ起算シテ五箇年間据置三十三年以降抽籤ノ方法ヲ用ヒテ償還セラルヘキモノナリシカ政府ハ据置年限ニ關係ナキ國債證券買入銷却法ヲ用ヒテ三十二年中ヨリ之カ償還ヲ開始セラレテヨリ以來引續キ抽籤償還及買入銷却ヲ行ハレタルモノ千百五十二萬千七百圓アリシヲ以テ四十二年末日ノ未償還額ハ一億千三百三十九萬九千五十圓トナレリ今各年次ニ於ケル抽籤償還及買入銷却額ヲ表出スレハ左ノ如シ

國債　軍事公債

年次	償還額	內譯 普通償還	內譯 買入銷却
三十二年	八、三三九、三〇〇圓		八、三三九、三〇〇圓

三十五年	七七三、四〇〇	五九七、六〇〇	一七五、八〇〇
三十六年	一六六、九〇〇		一六六、九〇〇
四十一年	二、二三五、二〇〇		二、二三五、二〇〇
四十二年	六、九〇〇		六、九〇〇
總計	一一、五二一、七〇〇	五九七、六〇〇	一〇、九二四、一〇〇

第十五章　事業公債

事業公債ハ明治二十七八年戰役後諸般ノ經營ニ必要ナル資金ヲ得ルノ目的ヲ以テ起債セラレタルモノニシテ其條例ハ明治二十九年三月三十日法律第五十九號ヲ以テ公布セラレタリ其全文左ノ如シ

事業公債條例

第一條　事業公債ハ既設官線鐵道、北海道鐵道建設製鋼事業、電話擴張ノ費途、葉煙草專賣資金及國防事業ノ費用ニ充ツル爲メ證書額面壹億參千五百萬圓ヲ限リ漸次之ヲ募集ス

第二條　本公債ノ利子ハ一箇年百分ノ五以下トシ募集ノ都度大藏大臣之ヲ定ム

第三條　本公債ニ關シ本條例ニ規定セサルモノハ明治十九年勅令第六十六號整理公債條例ノ各條項ヲ適用ス

前記條例第一條ニ依ル事業公債ノ募集豫定總額ハ初メ一億三千五百萬圓ナリシカ其後明治三十四年四月四日ニ至リ法律第二十號ヲ以テ一億五千萬圓ニ改メ尋テ三十六年六月十七日法律第七號ヲ以テ之ヲ一億七千五百萬圓ニ增加セリ降テ四十年三月十八日ニ至リ法律第九號ヲ以テ募集額ヲ一億八千五百萬圓ニ改メ翌四十一年三月十四日ニ至リテ法律第十三號ヲ以テ之ヲ二億三百五十萬圓ニ增加セリ

是ヨリ先明治三十年三月三十日大藏大臣ヨリ事業公債條例ニ依リ發行スル公債證書ノ取扱及元利仕拂等ノ取扱方ヲ命スルニ付同公債ニ關スル法律命令ヲ遵守シ其取扱方ハ從前命任シアル公債取

扱ニ準據スヘキ旨達セラレタルカ其後三十二年三月二十九日ニ至リ國債ニ關スル事務取扱命任書ノ改正セラルヽニ及ヒ其第三十三條ニ於テ前記ノ達ハ之ヲ廢セラレ爾後ハ新命任書ニ從フコトヽナレリ（本編、一般、命任書ノ部參照）

扨本公債ハ明治二十九年度ヨリ募集ヲ開始スヘキ豫定ナリシモ時恰モ市場ノ金融非常ニ逼迫ヲ極メ一般募集ニ便ナラサリシヲ以テ政府ハ整理公債條例第六條第二項特別發行方法ニ依リ臨時ニ五分利付ノ證券ヲ發行シ之ヲ國庫預金部ニ購入シ以テ各事業費ノ需要ニ充テタリシカ爾後引續キ發行セル分モ都テ同一方法ニヨリ國庫預金部若シクハ償金部ニ於テ引受ケラレタリ今當初ヨリ明治四十二年末ニ至ル發行額ヲ年次ヲ逐ヒ表出スレハ左ノ如シ

月次	發行額	發行價格
三十年三月	三、〇〇〇、〇〇〇圓	九九・二二〇圓
同　十月	一〇、〇〇〇、〇〇〇	九五・五三〇
同十一月	一〇、〇〇〇、〇〇〇	九四・七〇〇
同　十二月	三、〇〇〇、〇〇〇	九二・四一〇
三十一年一月	八、〇〇〇、〇〇〇	九四・〇九〇
同　三月	三、九〇〇、〇〇〇	九〇・二一〇
三十三年三月	三、二二九、〇五〇	九〇・〇〇〇
同　十月	三、五〇〇、〇〇〇	九〇・〇〇〇
三十四年十月	八、七六九、八五〇	八七・三三〇
三十五年九月	一三、五二六、三〇〇	九五・〇〇〇
三十六年三月	五、〇二二、五五〇	九二・五〇〇
同　十月	五、〇〇〇、〇〇〇	八八・〇四〇
三十八年二月	一、〇四八、六五〇	八五・〇〇〇
四十年十月	一〇、八三一、四〇〇	九〇・〇〇〇
總計	八八、八二七、八〇〇	

本表中明治三十一年中發行千百九十萬圓ハ償金部其他ハ總テ預金部ノ引受ニ係ルモノトス

前表ノ外明治三十一年度及三十二年度ニ於テハ豫定ノ發行ヲ爲シ得サル事情アリシカハ鐵道公債及北海道鐵道公債ト共ニ明治三十二年四月法律第百一號（國債ヲ外國ニ募集スル場合ニ關スル件）ニ據リ英國倫敦ニ於テ第一回四分利付英貨公債一千萬磅ヲ發行シ其換算額九千七百六十三萬圓ノ内七千八百五萬二千二百五十圓ヲ以テ事業公債三十一年度及三十二年度ノ發行豫定額ニ充テラレタリ（本編、第一回四分利付英貨公債ノ部參照）

又本公債證書ノ名稱ニ關シ明治三十年十一月二十六日大藏省告示第七十六號ヲ以テ事業公債鐵道公債及北海道鐵道公債ノ證券ハ何レモ其樣式ヲ同一ニシ大日本帝國政府五分利公債證書ノ名稱ヲ以テ發行スル旨公示セラレタリ（本編、一般、證券利賦札ノ受拂證券ノ種類樣式變換竝交換ノ部參照）

次ニ事業公債ノ償還及仕拂ニ就テ其大要ヲ述ヘンニ本公債ノ利子仕拂期ハ初メ整理公債條例ニ據リ毎年六月及十二月ノ定メナリシカ明治三十年二月二十四日法律第一號ヲ以テ鐵道公債及北海道

鐵道公債ト共ニ之ヲ毎年三月及九月ニ改定セラレタリ而シテ又元金ノ償還ニ就テハ整理公債條例ヲ適用セラルヘキモノナリシヲ以テ明治三十年發行ノ證券ニ對スル元金ノ償還ハ同三十五年ニ至リ其据置年限ヲ經過スルヤ同年五月ヲ以テ二十萬圓ノ抽籤償還ヲ行ハレタリ尤モ政府ハ之ニ先チ据置年限ニ關係ナキ國債證券買入銷却法ニ依リ三十四年九月大日本帝國政府五分利公債證書券面額七百七十四萬四千四百五十圓ヲ買入レ以テ事業公債ニ對スル償還ヲ行ハレシカ爾來引續キ買入銷却ヲ繼續セシヲ以テ明治四十二年末マテニ千四百七十二萬九千二百五十圓ヲ償還シ未償還額ハ七千四百九萬八千五百五十圓トナレリ今左ニ抽籤及買入ニ係ル償還額ヲ年次ヲ逐ヒテ表出スレハ左ノ如シ

年次	償還額	内譯	
		普通償還	買入銷却
三十四年	七、七四四、四五〇円	円	七、七四四、四五〇円
三十五年	四、〇六八、七〇〇	二〇〇、〇〇〇	三、八六八、七〇〇
三十九年	一七、〇〇〇		一七、〇〇〇
四十年	二、六九一、三五〇		二、六九一、三五〇
四十二年	二〇七、七五〇		二〇七、七五〇
總計	一四、七二九、二五〇	二〇〇、〇〇〇	一四、五二九、二五〇

第十六章　北海道鐵道公債

政府ハ曩ニ記載セル事業公債ノ一部ヲ以テ北海道ヘ鐵道ヲ敷設スヘキ計畫ナリシカ之ノミニテハ未タ同道ノ拓殖及防備上不完全ヲ免レサルニヨリ明治二十九年五月十四日法律第九十三號ヲ以テ北海道鐵道敷設法ヲ公布シ其第一條第二條及第三條ニ於テ鐵道敷設ノコト豫定線路及工事區劃ニ關スル事項ヲ擧ケ第四條第五條及第六條ニ於テ公債募集ノコト竝ニ其利子ハ一箇年百分ノ五以下トスルコト其他此公債ニ關シ本法ニ規定ナキモノハ總テ整理公債條例ニ據ルコト第七條ニ於テ公債募集豫定額ヲ三千三百萬圓トシ明治三十年度ヨリ漸次募集スヘキコトヲ規定セリ又第八條ニ於テハ線路ノ實測工費豫算ニ關スル事項第九條ニ於テハ鐵道敷設法中本法ニ適用ノ條項ヲ定メラレタリ

其後數年ヲ經テ明治三十五年二月十五日ニ至リ法律第六號ヲ以テ北海道鐵道敷設法中第四條ニ但書ヲ加ヘ第七條中「公債ヲ募集ス」ヲ「公債ヲ募集スルコトヲ得」ニ改メラレタリ

北海道鐵道公債發行ノ概況ヲ述レハ同公債ハ整理公債條例第六條第二項特別發行ノ方法ヲ以テ明治三十一年三月二十九日大日本帝國政府五分利公債證書百萬圓ヲ發行セラレタルヲ初メトシテ爾來數回ニ同一方法ニ依リ發行セラレ明治四十二年末ニ至ル總發行額ハ四百四十萬三千六百五十圓トナレリ今月次ヲ逐フテ發行額ヲ表示スレハ左ノ如シ

月次	發行額	發行價格
三十一年三月	一、〇〇〇、〇〇〇円	九〇・二一〇円

國債　北海道鐵道公債

三十三年三月		四一九、九五〇	
三十四年十月		四九二、〇五〇	
三十五年九月		一、〇〇〇、〇〇〇	
三十六年三月		六八〇、五〇〇	
四十年十月		八一一、一五〇	
總計		四、四〇三、六五〇	

本表中明治三十一年三月發行百萬圓ハ償金部其他ハ總テ預金部ノ引受ニ係ルモノトス

右ノ外明治三十二年四月二十日法律第百一號ニ據リ英國倫敦ニ於テ募集シタル第一回四分利付英貨公債一千萬磅ノ換算額九千七百六十三萬圓ノ內二百萬圓ヲ北海道鐵道公債ニ充テラレタリ（本編、第一回四分利付英貨公債ノ部參照）

又本公債證書ノ名稱ニ關シ明治三十年十一月二十六日大藏省告示第七十六號ヲ以テ北海道鐵道公債、事業公債及鐵道公債ノ證券ハ何レモ其樣式ヲ同一ニシ大日本帝國政府五分利公債證書ノ名稱ヲ以テ發行スル旨公示セラレタリ（本編、一般、證券利賦札ノ受拂證券及交換ノ部參照）

又北海道鐵道公債ノ利子仕拂期ハ北海道鐵道敷設法第六條ニ據リ整理公債條例ヲ適用シテ每年六月及十二月ノ定メナリシカ明治三十年二月二十四日法律第一號ヲ以テ鐵道公債及事業公債ト同シク每年三月及九月ニ改メラレ又元金ノ償還ハ明治四十一年三月ニ至リ國債證券買入銷却法ニ依リ大日本帝國政府五分利公債證書十五萬二千三百五十圓ヲ買入レラレタルニヨリ四十二年末ニ於ケル北海道鐵道公債ノ現在高ハ四百二十五萬千三百圓トナレリ

		九〇六
三十三年三月	四一九、九五〇	九〇、〇〇〇
三十四年十月	四九二、〇五〇	八七、三三〇
三十五年九月	一、〇〇〇、〇〇〇	九五、〇〇〇
三十六年三月	六八〇、五〇〇	九二、五〇〇
四十年十月	八一一、一五〇	九〇、〇〇〇
總計	四、四〇三、六五〇	

第十七章　祿高整理公債

祿高整理公債ハ其性質上秩祿公債及金祿公債ト相關聯セルモノニシテ其基ク所ハ明治三十年十一月一日發布ノ法律第五十號家祿賞典祿處分法ニアリトス今該法ノ規定スル所ニ據レハ明治三年九月十日太政官布告藩制施行以後家祿若クハ賞典祿ヲ有シタルモノ及其家名承繼人ニシテ明治九年八月第百八號布告及同年十二月第百五十二號布告施行ノ際其祿高ニ對スル全部ノ給與ヲ受ケサルモノ若クハ相當額ノ給與ニ不足アルモノ明治四年七月二十四日祿高ニ關スル太政官布告ニ依リ調査シタル以後ノ祿高及其調査以前ニ係ル藩制施行以後ノ祿高ニ錯誤アルモノ又ハ明治六年十二月第四百二十五號布告ニ據リ處分ヲ受ケタルモノニシテ其祿高ニ對スル相當額ノ給與ニ不足アルモノハ本法施行ノ日ニ於テ其本人又ハ其家名承繼人ニ限リ該給與未濟額ヲ右第百八號布告及第百五十二號布告若クハ明治六年第四百二十六號布告ノ率ニ據リテ換算シ以テ公債證書ノ下付ヲ請求シ得ルコトヽセリ

越エテ明治三十二年三月二十三日法律第八十四號ヲ以テ之カ施行上必要ノ事項ヲ規定セル家祿賞典祿處分法施行法ヲ發布シ其第一條ニ於テ家祿及賞典祿調查ノ標準ヲ擧ケ第二條乃至第四條ニ於テ祿高整理ノ爲メ發行スル公債證書ハ額面一千萬圓以內トシ其利率ハ一箇年百分ノ五、利子仕拂期限ハ每年三月及九月トスルコト又第六條ニ於テ前條公債ハ隨時之ヲ發行シ券面金額ノ計算ヲ以テ交付シ且此法律ニ規定セサル事項ニ就テハ整理公債條例ヲ適用スルコト而シテ第七條ニ於テ公債證書券面金額ニ滿タサル端數ハ現金ヲ以テ之ヲ給

與スルコトヽ定メラレタリ

斯クテ公債ノ規定ハ成立シタリト雖爾後秩祿ノ調査ニ頗ル時日ヲ要シ漸ク明治三十八年ニ至リ一部ノ調査整理ヲ告ケタルヲ以テ同年十月三十一日大藏省令第四十八號ヲ以テ家祿賞典祿處分法施行法ニ依リ發行スル公債證書ノ券面金額種類ハ千圓、五百圓、百圓及五十圓ノ四種トシ此公債ニ關シテハ整理公債取扱順序ノ規定ヲ準用スルモノトセラレタルカ翌三十九年五月二十九日大藏省令第二十三號國債規則ノ發布セラルヽニ及ヒ同規則第八十四條ニ依リ整理公債取扱順序ノ準用ヲ廢止セラレ爾後國債規則ニ依ルコトヽナレリ

尙明治三十八年十一月二十二日大藏省令第五十二號ヲ以テ祿高整理公債發行及端數現金請求ニ關スル手續ヲ發布セラレタルコト左ノ如シ

祿高整理公債發行及端數現金請求ニ關スル手續左ノ通之ヲ定ム

第一條　家祿賞典祿處分法施行法ニ依リ祿高整理ノ爲發行スル公債證書ハ大日本帝國政府五分利公債證書トス

前項ノ公債證書ニハ明治三十九年三月渡以降ノ利札ヲ附スルモノトス

第二條　公債證書及端數現金ノ給付ヲ受ケントスル者ハ第一號書式ノ請求書ニ市町村長ノ證明ヲ經タル印鑑ヲ添ヘ之ヲ當省ニ差出スヘシ

第三條　家祿賞典祿ノ處分出願ニ對スル指令書ニ於テ指名セラレタル受給者ノ承繼人カ前條ノ請求ヲ爲サントスルトキハ戸籍又ハ身分登記簿ノ謄本若ハ抄本ヲ請求書ニ添付スヘシ

受給者ノ代理人カ前條ノ請求ヲ爲サントスルトキハ前項ノ規定ニ準シ其ノ權限ヲ證明スルコトヲ要ス

第四條　公債證書ヲ請求者ニ給付スルトキハ第二號書式ノ給付通知書ヲ發スルモノトス

受取人ハ前項ノ通知書領收證欄内ニ式ノ如ク署名捺印シ指定ノ取扱店、日本銀行本支店又ハ代理店ニ差出シ之ト引換ニ證書ヲ受取ルヘシ

第一號書式

請求書

一公債證書何圓

一金何圓

右家祿賞典祿處分法ニ依リ御給與可相成分御渡有之度別紙印鑑相添ヘ此段請求候也

年　月　日

住所

氏名　印

大藏大臣宛

附記	
一	公債證書ハ何地取扱店ニ於テ御渡有之度候
一	現金ハ何地金庫ニ於テ御渡有之度候

備考

一　公債證書ト現金トハ各別ニ請求スヘシ

國債　祿高整理公債

一　公債證書給付取扱店又ハ現金支拂金庫ヲ指定セントスル者ハ式ノ如ク其ノ旨ヲ附記スヘシ

一　住所ハ府縣市町村番地ヲ詳記シ且ツ住所氏名ハ楷書ヲ以テ明瞭ニ記載スルコトヲ要ス

第二號書式

原符

第「何」號

取扱店　日本銀行本店（又ハ「何地」支店「何地」代理店）

一大日本帝國政府五分利公債證書額面「何」圓也

但シ明治三十九年三月渡以降利札附屬

明治「何」年「何」月「何」日

割印

請求者「氏　名」

給付通知書

第「何」號

取扱店　日本銀行本店（又ハ「何地」支店「何地」代理店）

請求者「氏　名」

一大日本帝國政府五分利公債證書額面「何」圓也

但シ明治三十九年三月渡以降利札附屬

右祿高整理ノ爲發行ス依テ前記指定ノ取扱店ニテ之ヲ受取ルヘシ

領收證記入式

明治「何」年「何」月「何」日　大藏大臣　男爵　曾禰荒助　印

前記ノ公債證書正ニ領收候也

明治「何」年「何」月「何」日

受取人「住所」

「氏　名」　印

給付案內書

第「何」號

請求者「氏　名」

一大日本帝國政府五分利公債證書額面「何」圓也

但シ明治三十九年三月渡以降利札附屬

右前記ノ者ヘ給付可有之候也

明治「何」年「何」月「何」日　大藏大臣　男爵　曾禰荒助　印

日本銀行（何地支店）（何地代理店）宛

割印

又同月二十四日大藏大臣ヨリ該公債證書ノ取扱方ニ付左ノ通命任セラレタリ

命任書

第一條　家祿賞典祿處分法旅行法ニ依リ發行スル公債證書ハ之ニ關スル法律命令ノ條項ヲ遵守

シテ之カ取扱ヲ爲スヘシ

第二條　支金庫所在地ニシテ其行支店出張所及代理店ノ設ナキ所ニ在リテハ前條公債證書給付ノ事務ニ限リ特ニ代理店ヲ設ケ之カ取扱ヲ爲スヘシ

第三條　臨時國債整理局ニ於テ各債主ニ對シ給付通知書ヲ發スルトキハ給付案內書ヲ其行ニ回付スヘキニ由リ各取扱店ニ於テハ債主ノ提供スル給付通知書ヲ該案內書ニ對照シ其符合ヲ認メタル上受取人ヲシテ通知書領收證欄內ニ式ノ如ク署名捺印セシメ之ト引換ニ公債證書ヲ交付スヘシ

前項給付案內書ト共ニ請求者ノ印鑑ヲ其行ニ回付スヘキニ由リ公債證書交付ノ際照査ノ用ニ供スヘシ

第四條　前條ノ公債證書ハ隨時其行ニ交付スヘキニ由リ臨時國債整理局物品會計官吏ヨリ受領シ給付案內書及請求者ノ印鑑ト共ニ之ヲ案內書指定ノ取扱店ニ配送スヘシ

第五條　公債證書ノ交付ヲ了リタルトキハ給付濟報告書ヲ調製シ各自ノ領收證書ヲ添付シ之ヲ臨時國債整理局ニ差出スヘシ

第六條　前各條ニ規定スルモノヽ外ハ總テ明治三十二年三月廿九日付命任內國ニ於ケル國債事務取扱方ニ依ルヘシ

祿高整理公債ノ發行ハ已ニ叙說セシ所ノ如ク秩祿調查整理ノ爲メニ頗ル時日ヲ費シ漸ク明治三十八年十二月ニ至リ大日本帝國政府五分利公債證書ヲ以テ祿高整理公債ノ一部即チ額面二十八萬二千五百圓ヲ交付セラレタリ依テ本行ニ於テハ同月三十日付ヲ以テ證書ノ交付手續ニ關シ左ノ通各

取扱店ヘ通達セリ

一　債主ニ交付スヘキ公債證書ハ給付案內書（明治三十八年大藏省令第五十二號第二號書式ノ三）及債主ノ印鑑ト共ニ本行ヨリ送付スヘシ但支店出張所ノ派出所又ハ代理店ノ出張所ニ於テ交付スヘキモノハ支店出張所又ハ代理店ヲ經由スヘシ

二　公債證書到達シタルトキハ其券面種類枚數及債主ノ氏名ヲ適宜ノ帳簿ニ書留メ置キ公債證書交付ノ都度其年月日ヲ記入スヘシ

三　債主ヨリ給付通知書（明治三十八年大藏省令第五十二號第二號書式ノ二）ヲ提出シテ公債證書交付ノ請求アリタルトキハ給付案內書及印鑑ニ照合シ其符合ヲ認メタル上公債證書ヲ交付スヘシ

四　公債證書交付濟ノ給付通知書（即チ債主ノ領收證書ヲ）又ハ代理店ノ出張所ニ在リテハ支店出張所又ハ代理店ヲ經由スヘシ

爾來祿高整理公債ハ引續キ大日本帝國政府五分利公債證書ヲ以テ明治四十年中三千六百圓四十一年中五十圓ヲ交付セラレタルヲ以テ四十二年末ニ於ケル發行額ハ二十八萬六千百五十圓ニ達セリ」

次ニ本公債ノ償還及仕拂ニ就テ之ヲ述ヘンニ「同公債利子ノ仕拂期ハ家祿賞典祿處分法施行法第五條ニ依リ毎年三月及九月トシ又其元金ハ整理公債條例ニ依リ五箇年間据置向五十箇年間ニ償還スヘキモノナリシカ政府ハ据置年限ニ關係ナキ國債證券買入銷却法ニ依リ明治四十一年三月三十一日大日本帝國政府五分利公債二萬三千六百圓ヲ買入レ祿高整理公債ノ償還ニ充テラレタルヲ以テ本公債ノ四十二年末現在未償還高ハ二十六萬二千五百五十圓ナリトス

第十八章　臺灣事業公債

本公債ハ明治二十七八年戰役新領土臺灣ノ統治上ニ必要ナル事業經營ノ資金ヲ得ンカ爲メ起サレタル一種ノ公債ニシテ其基ク所ノ法規ハ明治三十二年二月二十二日法律第七十五號臺灣事業公債法ナリトス其全文左ノ如シ

臺灣事業公債法

第一條　臺灣ニ於テ左ノ事業ニ要スル經費ニ充ツルル爲政府ハ參千五百萬圓ヲ限リ公債ヲ募集スルコトヲ得

一　鐵道敷設
二　土地調査
三　築　港
四　廳舍建築

第二條　此ノ公債ノ利率ハ一箇年百分ノ五以下トス

第三條　此ノ公債ノ據置年限ハ十箇年以內トシ發行ノ年ヨリ四十五箇年以內ニ償還ス

第四條　政府ハ特約ニ依リ銀行若ハ債主組合ヲシテ此ノ公債ヲ引受ケシムルコトヲ得

第五條　政府ハ第一條ノ經費ヲ繰替支辨スル爲壹箇年以內ノ期限ヲ以テ臺灣銀行ヨリ一時借入金ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於ケル利率ハ政府之ヲ定ム

前項借入金ハ此ノ公債募集金ヲ以テ之ヲ償還スルコトヲ得公債募集金ニ依ラスシテ之ヲ償還シタルトキハ其ノ金額ニ相當スル公債ヲ募集セス

第六條　此ノ公債及前條ノ借入金ハ舊壹圓銀貨幣ヲ以テ起債スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ公債證書ノ種類ハ政府之ヲ定ム

第七條　此ノ法律ニ規定スルモノヽ外ハ明治十九年勅令第六十六號整理公債條例ニ依ル

尋テ明治三十四年四月四日ニ至リ法律第二十一號ヲ以テ右公債法第五條第一項中ノ「一箇年」ヲ「三箇年」ト改メ尋テ三十六年六月十七日法律第八號ヲ以テ第三條ニ左ノ追加アリタリ

政府ハ時宜ニ由リ前項ノ據置年限ヲ五箇年トシ其ノ翌年ヨリ五十箇年間ニ償還スルモノトシテ起債スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ起債シタルモノヽ、利子ハ毎年三月及九月ニ於テ之ヲ仕拂フ

第一項ノ規定ニ依リ第二項ノ規定ニ依ル公債ニ變換スルコトヲ得

既ニシテ翌三十七年四月一日法律第十五號ノ發布アリテ第一條中公債募集額「參千五百萬圓」ヲ「四千百萬圓」ニ改メ且事業ニ「五、大租權整理」ノ一號追加アリ降テ四十一年三月十四日ニ至リ法律第十四號ヲ以テ本公債ノ募集額ヲ「七千參百五拾萬圓」ニ增加シ又事業第五號ノ次ニ「六、水道事業」ノ一號ヲ追加セラレタリ

元來臺灣事業公債ハ明治三十二年度ヨリ募集ヲ始ムヘキ計畫ナリシモ內地ハ勿論臺灣及其對岸ナル支那地方ニ於テモ募集ヲ擧行シ難キ事情アリシヲ以テ臺灣事業公債法第五條第一項ノ規定ニ依リ一時臺灣銀行ヨリ借入金ヲ爲シ以テ各事業費ヲ繰換支辨セラレタリ然ルニ其後明治三十三年七月二日ニ至リ大藏大臣ヨリ本行ニ對シ臺灣事業公債法第一條ニ依リ同年六月三十日ニ於テ臺灣事

業公債九十萬圓ヲ額面百圓ニ付金九十三圓ノ割ヲ以テ發行シ之ヲ臺灣銀行ニ引受ケシムルニヨリ本公債ノ取扱ヲ命任ス依テ發行ノ手續ヲ爲シ臺灣銀行ヘ交付方取計フヘク但發行代金ハ臺灣總督府ノ納入告知書ニ依リ臺北本金庫ニ納付スヘキ旨達セラレタレハ本行ハ直ニ發行ノ手續ヲ爲シ之ヲ臺灣銀行ニ交付セリ是レ同公債第一回ノ發行ナリトス

右ニ付同月三日付ヲ以テ臺北代理店ヘ向ケ臺灣銀行ヨリ代リ金ノ拂込アリタルトキハ募集金トシテ之ヲ領收シ臺灣總督府ノ納入告知書ニ依リ臺北本金庫ヘ納付スヘキ旨ヲ通達セリ

尋テ同年八月二十日第二回ノ發行額面九十萬圓十一月二十九日第三回ノ發行額面四十一萬千四百圓ハ同公債法第四條ニ據リ大藏省ヨリ直接ニ證券ヲ臺灣銀行ニ交付セラレタルカ翌三十四年二月八日ニ至リ大藏大臣ヨリ右第三回發行ノ證書額面四十一萬千四百圓ハ券面大臣署名抹消ノ廉アルヲ以テ更ニ新證書ト引換フヘキニヨリ其取扱手續ハ左ノ通心得ヘキ旨達セラレタリ

一　引換ヲ爲スヘキ證書ノ券面種類記番號及枚數ハ別紙ノ通リトス

一　新證書ハ來ル九日交付スヘキニ付理財局物品會計官吏ヨリ之ヲ受取ルヘシ

一　舊證書ハ臺灣銀行神戸支店ニ於テ保管ノ筈ニ付新證書ハ其行神戸代理店ニ送付シ同代理店ヨシテ引換ノ手續ヲ爲サシムヘシ

一　引換濟ノ舊證書ハ明治卅二年三月廿九日付命令國債事務取扱方第廿五條ノ手續ニ準シ當省ヘ還納スヘシ

一　其行本店ト神戸代理店トノ間ニ於ケル新舊證書ノ遞送費ハ實費ヲ支給ス

又三十四年五月二十七日發行ノ額面百七十二萬二千六百圓竝三十五年三月二十八日發行ノ額面百

五十萬圓ノ內百三十萬圓ハ整理公債條例第六條第二項特別發行ノ方法ニ依リテ發行シ之ヲ國庫預金部ニ於テ引受ケ其一部二十萬圓ハ臺灣事業公債法第四條ニ依リ直ニ臺灣銀行ヘ交付セラレタリ」尋テ三十五年七月、十二月、三十六年三月、四月ノ四回ニ發行セル證書額面合計千五百二十七萬三千九百圓ハ前記整理公債條例第六條第二項ノ方法ヲ以テ特別ニ發行シ又同年十月ニ於テハ大日本帝國政府五分利公債證書額面三百萬圓ヲ同一方法ニヨリテ發行シ之ヲ臺灣事業公債ニ充テ又翌三十七年十二月二十七日ニ至リテハ大日本帝國政府五分利公債證書額面三百五十六萬三千四百五十圓及臺灣事業公債證書額面五十一萬七千百三十五圓ヲ是亦同一方法ニ依リテ發行シタルカ同日其取扱方ニ付大藏大臣ヨリ左ノ通達セラレタリ

一　公債證書ハ製造中ナルヲ以テ此際假證書ヲ交付ス

二　此公債ノ利子ハ明治三十七年七月一日ヨリ之ヲ付ス

三　本證書及月割利札ハ追テ交付スヘキニ付此際之ニ對スル請求書ヲ差出スヘシ

四　本證書ハ臺灣ニ於ケル大租權消滅ノ結果其代償トシテ大租權者ニ交付スヘキモノナルヲ以テ其行ハ月割利札ト共ニ總テ之ヲ臺灣總督府ニ送致スヘシ

五　此公債ニ對シテハ發行代金ヲ國庫ニ納付スルコトヲ要セス又之カ代金ヲ臺灣總督府ニ請求スルヲ得サルモノトス

尙其後ノ發行ニ係ル本公債ハ何レモ整理公債條例第六條第二項特別發行ノ方法ヲ以テ大日本帝國政府五分利公債ヲ發行シテ以テ本公債ニ充テラレタリ

斯クテ明治四十二年末ニ至ル迄ノ本公債總發行額ハ三千四百五十萬八千五百三十五圓ニシテ今每

同ノ發行總額ヲ表示スレハ左ノ如シ

次	月	發行高	發行價格
第一回	三十三年六月	九〇〇、〇〇〇円	九三・〇〇〇円
第二回	同 九月	九〇〇、〇〇〇	八九・〇〇〇
第三回	三十三年十一月	四一一、四〇〇	八八・〇〇〇
第四回	三十四年五月	一、七二二、六〇〇	八七・〇八〇
第五回	三十五年三月	一、五〇〇、〇〇〇	八八・三六〇
第六回	同 七月	四、五二八、〇〇〇	八八・三四〇
第七回	同十二月	一、二八四、一五〇	八五・六六〇
第八回	三十六年三月	五、四六一、七五〇	九二・五〇
第九回	同 四月	四、〇〇〇、〇〇〇	九一・二六〇
第十回	同 十月	三、〇〇〇、〇〇〇	八八・〇四〇
第十一回	三十七年十二月	四、〇八〇、四八五	九〇・〇〇〇
第十二回	三十八年二月	三、二九四、七〇〇	八五・〇〇〇
第十三回	同 六月	二、〇〇〇、〇〇〇	八五・〇〇〇
第十四回	同十一月	一、〇三九、八〇〇	九〇・六〇〇
第十五回	三十九年十二月	三八五、六五〇	九五・〇〇〇
總計		三四、五〇八、五三五	

前表發行額ノ內臺灣事業公債證書トシテ發行セシモノハ明治三十六年六月法律第八號臺灣事業公債法追加及同月大藏省令第十七號（前出）發布以來續々大日本帝國政府五分利公債證書ニ變換セシヲ以テ明治四十二年末現在ノ臺灣事業公債證書ハ十萬八百三十五圓トナレリ今其發行額變換額並ニ現在高ヲ表出スレハ左ノ如シ

年次	臺灣事業公債證書	大日本帝國政府五分利公債變換高	差引殘高
二十三年	二、二一一、四〇〇円	二、二〇五、〇〇〇円	六、四〇〇円
三十四年	一、七二二、六〇〇	一、七二二、六〇〇	
三十五年	七、三一二、一〇〇	七、二七八、一〇〇	三四、〇〇〇
三十六年	九、四六一、七五〇	九、四六一、七五〇	
三十七年	五一七、一三五	四五六、七〇〇	六〇、四三五
總計	二一、二二五、〇三五	二一、一二四、二〇〇	一〇〇、八三五

是ヨリ先明治三十六年六月三十日大藏省令第十七號ヲ以テ臺灣事業公債法第三條第四項ノ規定ニ依リ公債ノ變換ヲ請求セントスル者ハ同年九月一日以後ニ於テ臺灣事業公債證書ノ券面金額種類枚數記號番號ヲ詳記セル書面ニ該證書ヲ添ヘ本行本支店出張所又ハ代理店ヲ經由シテ之ヲ大藏大臣ニ提出スヘク且明治二十三年六月大藏省令第十六號第二條ノ規定（公債證書發行ノ際利札額ニ滿タサル利子ハ月割利札ヲ添ヘ證券ト共ニ交付スルノ件）ハ前記ノ請求ニ依リ變換交付スル新證書ニ之ヲ準用スル旨ヲ達セラレ同時ニ大藏大臣ヨリ其取扱方ヲ本行ニ命任セラレ記名無記名變換及枚數變更ノ例ニ準シ取扱フヘキ旨ヲ達セラレタリ

依テ同年七月十日付ヲ以テ各取扱店ニ對シ債主ヨリ右變換請求ノ場合アリタルトキハ左記雛形ノ請求書ヲ徵シタル上債務規程第四章第四節證書ノ變換及交換ノ例ニ準シ取扱フヘキ旨ヲ通達セリ

臺灣事業公債種類變換請求書

一無記名(記名)臺灣事業公債證書額面何圓

但何年何月渡以降利札附屬其證書記番號左ノ如シ

證書額面	記號	番號

此證書何枚

右臺灣事業公債法第三條第四項ニ依リ種類變換相成度此段請求候也

年　月　日

住所

何某　印

大藏大臣宛

其後明治三十九年六月二十三日大藏省令第二十八號ヲ以テ臺灣事業公債法第三條第四項ノ規定ニ依リ公債ノ變換アリタル場合其變換當時ニ於ケル一期分未滿ノ利子ハ總テ新公債ノ利子トシ之ニ對スル月割利札ヲ交付スルモノトシ同年七月一日ヨリ之ヲ實施シ並ニ既記明治三十六年六月大藏省令第十七號ハ之ヲ廢止スル旨ヲ達セラレタリ

次ニ臺灣事業公債法第三條第四項ノ規定ニ據リ大日本帝國政府五分利公債證書ヲ交付セラレタル場合ニ於テハ該債ノ利子ハ初メ毎年六月及十二月ノ兩度ニ仕拂ヒ又其元金ハ十箇年以內据置キ發行ノ年ヨリ四十五箇年以內ニ償還スルノ定メナリシカ同公債ノ多クハ其後追加ニ係ル臺灣事業公債法第三條第四項ノ規定ニ據リ大日本帝國政府五分利公債證書ニ變換セラレ又ハ初メヨリ同條第二項ニ依リ大日本帝國政府五分利公債證書ヲ交付セラレタルヲ以テ其利子ノ仕拂期ハ大抵毎年三月及九月トナリ又元金ハ其据置年限五箇年ヲ經過セシ後ハ何時タリトモ償還シ得ラルヽコトヽナレリ然ルニ政府ハ明治三十九年三月ニ至リ据置年限ニ關係ナキ國債證券買入銷却法ニ依リ大日本帝國政府五分利公債證書額面千五百圓ヲ買入レ以テ臺灣事業公債ノ償還ニ充テラレ爾後引續キ同一方法ニ依リ買入銷却ヲ行ハレタル額面ハ明治四十二年末ニ至ル迄百四十六萬九千五百圓ニシテ同年末ニ於ケル未償還高ハ三千三百三萬九千三十五圓ナリトス今右買入銷却高ヲ年別ニ表出スレハ左ノ如シ

年次	買入銷却額
三十九年	三二三、五〇〇圓
四十年	五四三、四〇〇
四十二年	六〇二、六〇〇
總計	一、四六九、五〇〇

第十九章　第一回發行國庫債券

明治三十七八年ニ跨リタル日露ノ戰役ハ前古未曾有ノ大事件ニシテ隨テ其軍費ノ如キ實ニ非常ノ巨額ヲ要シタルヲ以テ政府ハ軍備補充費支辨竝ニ軍事費支辨ノ爲メ內國及外國ニ於テ數次ニ國債ヲ募集シタリ而シテ其內國ニ於ケル國債ハ前後五回ニ亘リテ短期ノ公債即國庫債券ヲ募集セリ時恰モ國民敵愾心ノ勃興セシ折柄競テ應募ノ擧ニ出テタレハ每回募集高ヲ超過スルノ好成績ヲ得タリ斯クテ發行セル國庫債券ノ券面總額ハ四億七千三百六萬千六百七十五圓ノ巨額ニ達シタリ此債券ハ各其甚ク所ノ法律勅令及發行手續ヲ異ニシタリト雖第二回以後發行セルモノハ特ニ規定セルモノヲ除キテハ大要前回ノ例ニ準據シタルヲ以テ是等全體ニ亘レル通則ハ渾テ第一回國庫債券ノ部ニ收ムルコトヽセリ

偖日露ノ風雲急ヲ告クルヤ政府ハ明治三十六年十二月二十八日勅令第二百九十一號ヲ發布シ其第一條ニ於テ軍備補充ニ要スル經費支辨ノ爲メ一時借入金ヲ爲シ又特別會計ニ屬スル資金ヲ繰替使用シ及國庫債券ヲ發行スルコト第二條第三條ニ於テ京釜鐵道株式會社債券元利仕拂ノ保證及同會社ヘノ補助金ニ關スル事項第四條ニ於テハ前條一時借入金又ハ國庫債券ニ附スヘキ利子ハ一箇年六分以下トシ而シテ一時借入金ハ二箇年以內國庫債券ハ五箇年以內ニ償還スヘク又此債券ニ關シテハ前項ニ規定スルモノヽ外ハ整理公債條例ヲ適用スル旨ヲ規定セラレタリ斯クテ翌明治三十七年二月十三日大藏省令第四號ヲ以テ國庫債券發行規程ヲ公布セラルヽコト左ノ如シ

國庫債券發行規程

第一條　政府ハ明治三十六年勅令第二百九十一號ニ依リ國庫債券一億圓ヲ發行ス

第二條　國庫債券利子ノ割合ハ一箇年百分ノ五トス

第三條　國庫債券ハ無記名利札附トシ其ノ種類ハ五十圓、百圓、五百圓、千圓及五千圓ノ五種トス但應募者又ハ所有者ノ望ニ由リ記名ト爲スコトヲ得

第四條　國庫債券元金ハ募集ノ年ヨリ五箇年以內ニ償還スルモノトス

第五條　國庫債券ノ利子ハ每年六月及十二月ニ於テ仕拂フモノトス

第六條　國庫債券ノ發行價格ハ額面百圓ニ付其最低ヲ九十五圓トス

第七條　國庫債券ノ應募申込期間ハ明治三十七年三月一日ヨリ同月十日マテトス

第八條　應募申込人ハ應募高應募價格及住所姓名ヲ詳記シタル申込書ニ申込高百圓ニ付金二圓ノ保證金ヲ添ヘ日本銀行本支店其ノ他日本銀行ノ定ムル申込所ニ申込ムヘシ但シ保證金ニハ利子ヲ付セス

第九條　國庫債券應募高需要額ニ超過スルトキハ大藏大臣ハ應募價格ノ高キモノヨリ順次債券ヲ交付シ需要額ニ滿ツルニ至テ止ム其ノ價格同シキモノハ申込高ニ割合ヒ減少スルモノトス但シ二百圓以下ノ應募者ニハ之ヲ減少セス

第十條　申込ハ明治三十七年三月二十一日マテニ確定スルモノトス

確定ノ上ハ其ノ旨申込人ニ通知スヘシ

第十一條　前條ノ通知ヲ受ケタル者ハ左ノ區別ニ依リ拂込ヲ爲スヘシ但シ第一回拂込ハ保證金

ヲ以テ之ヲ充ツ

第一回　三月二十一日
第二回　四月十六日ヨリ同月二十五日迄　二圓(券面百圓ニ付)
第三回　五月十六日ヨリ同月二十五日迄　十五圓(同前)
第四回　七月十六日ヨリ同月二十五日迄　十五圓(同前)
第五回　八月十六日ヨリ同月二十五日迄　十五圓(同前)
第六回　九月十六日ヨリ同月二十四日迄　十圓(同前)
第七回　十月十七日ヨリ同月二十五日迄　十五圓(同前)
第八回　十一月十六日ヨリ同月二十五日迄　十五圓(同前)

發行價格以上ノ申込ヲ爲シタル者ハ第二回拂込ト共ニ其ノ差額ヲ拂込ムヘシ

第十二條　應募者ノ都合ニ依リ應募額ノ全部又ハ一部ヲ一時ニ拂込ミ若クハ後期ノ分ヲ前期ニ繰上ケ拂込ヲ爲スコトヲ得

第十三條　國庫債券ノ應募者第二回ノ拂込ヲ了シタルトキハ記名ノ假債券ヲ交付シ全額拂込ノ上ハ之ト引換ニ本債券ヲ交付スヘシ

第十四條　前條ノ假債券ハ賣買讓與シ及質ト爲スコトヲ得

前項ノ取扱ニ關シテハ明治二十七年大藏省令第十七號ヲ準用ス

第十五條　假債券ヲ紛失シ又ハ消滅シタルモノアルトキハ二名以上ノ保證人ヲ立テ其ノ事實ヲ日本銀行本支店若クハ代理店ニ證明シ更ニ假債券ヲ請求スルコトヲ得

第十六條　國庫債券取扱ニ關スル順序ハ本令ニ規定シタルモノヽ外ハ明治十九年大藏省令第三十號整理公債取扱順序ニ據ル

尋テ同年二月二十一日大藏省令第五號ヲ以テ發行規程第三條中「其種類ハ」ノ下ニ「貳拾五圓」「五千圓」ノ下ニ「壹萬圓」ヲ加ヘ「五種」ヲ「七種」ニ改メラレタリ

前記發行規程第十四條ニ依レハ假債券ノ賣買讓與及質入ニ關シテハ明治二十七年大藏省令第十七號軍事公債假證書賣買讓與及抵當ニ關スル取扱順序(本編軍事公債ノ部參照)ヲ準用スルコトヽナリタル爲メ債主ノ不便尠カラサル趣ヲ以テ之カ取扱手續ノ更定方ニ付明治三十七年五月十七日東京交換所組合銀行ヨリ本行ニ具陳シ來リタルニ依リ本行ハ右ノ意見ヲ參酌シ同年五月三十日大藏大臣ニ對シ左ノ通稟申セリ

國庫假債券ノ取扱ニ付テハ明治二十七年大藏省令第十七號ヲ準用スルニ依リ所有者カ拂込ヲ爲サントスルトキハ必ス假債券ヲ提出シテ拂込金ノ記入證印ヲ受ケサルヘカラサルカ故質入若クハ保證トシテ他ニ差入レアル場合ノ如キハ債務ヲ消滅セシムルカ又ハ代用品ヲ提供シテ假債券ヲ受戻スカ或ハ占有者ヲシテ之ヲ取扱店ニ提出セシムルニアラサレハ拂込ヲ爲スヲ得ス此ノ如キハ所有者ニ取リテ甚不便ヲ感スヘク折角拂込金ヲ準備シナカラ空シク其手續ヲ爲ス能ハサルノ不都合ヲ生スヘシ殊ニ地方所有者カ其地方ノ銀行ニ假債券ヲ質入シ其銀行ハ又之ヲ東京其他遠隔ノ地ニ在ル取引銀行ニ轉質シタル場合占有者タル銀行ヲシテ拂込ノ都度記入證印ヲ受クルカ爲メ假債券ヲ地方ノ取扱店ニ轉送セシムルカ如キハ到底不可能ノ事ニ屬シ隨テ假債券ヲ擔保トシテ資金ノ融通ヲ圖ルノ途ナク其結果假債券ノ流通上尠カラサル障害ヲ來スヘシ加之假債券

ヲ提出セサルカ爲メ拂込ヲ爲スヲ得スシテ延滯利子ヲ徵セラルヽカ如キコトアラハ愈面白カラサル結果ヲ生スヘシ事情此ノ如クナルヲ以テ拂込ヲ受クルニ當リテ便宜領收證書ヲ交付スルノ途ヲ開クハ最モ必要ノ事ト信ス然ルニ取扱店ノ側ヨリ看ルトキハ手續上不便勘カラス則何人カ領收證書ノ交付ヲ請求スヘキヤハ豫メ之ヲ知ルコトヲ得サルカ故ニ領收證書ノ金額記名其他ノ點ニ於テ豫メ準備シ置ク能ハス之ヲ假債券ニ記入證印スルノミニテ手續ヲ完了スルニ比スレハ其手數頗ル繁雜ニシテ隨テ假債券ヲ持參シタル拂込人マテモ多クノ時間ヲ徒費セシムルノ虞アリ又假債券ノ轉出入記名變更等ノ場合ニ於テ非常ノ手數ヲ要シ殆ト其煩ニ堪エサルヘク取扱上ノ經費ニ於テモ亦隨テ增加スルニ至ラン然レトモ一般所有者ノ便利ノ爲メ是等ノ不便ハ忍ハサルヘカラスト相信シ候ニ付別紙銀行者提出ノ意見書寫相添此段稟申候也(別紙意見書寫略ス)

右稟申ノ結果同年六月七日大藏省令第二十四號ヲ以テ國庫債券發行規程第十四條第二項ノ下ニ左ノ但書ヲ追加セラレタリ

但應募者カ拂込ヲ爲スニ當リ供託又ハ質入等ノ事故ニ因リ假債券ヲ呈示スルコト能ハサル場合ニ於テ其旨ヲ證明スルトキハ同令第三條ニ據リ其拂込ヲ假債券ニ記入スル代ニ之ニ對シテ假ニ領收證書ヲ交付スルコトヲ得

其後明治三十九年五月二十九日ニ至リ大藏省令第二十三號國債規則ノ發布セラルヽニ及ヒ同規則第八十四條ニヨリ發行規程ノ第十六條ハ廢止セラレ爾後第一回國庫債券ニ關スル取扱ハ右發行規程ニ規定シタルモノヽ外ハ都テ國債規則ニ準據スルコトヽナレリ

初メ明治三十七年大藏省令第四號國庫債券發行規程ノ發布セラルヽヤ同年二月十三日大藏大臣ヨリ之カ取扱方ニ關シ左ノ通本行ニ命任セラレタリ

第一條　明治三十六年勅令第二百九十一號ニ據リ發行スル國庫債券ノ取扱方ハ明治三十二年三月二十九日付ヲ以テ達シタル內國ニ於ケル國債事務取扱方命任書ヲ準用スル儀ト心得ヘシ

第二條　國庫債券募集額確定シタルトキハ之ニ相當スル假債券ヲ其行ニ交付スヘキニ付其債券ノ種類枚數金額ヲ記シタル請求書ヲ理財局ニ提出スヘシ

第三條　國庫假債券ハ本債券ト交換ヲ了シタルトキハ還納表ヲ添付シ之ヲ理財局物品會計官吏ニ納付スヘシ

第四條　國庫債券取扱ニ付テハ左ノ手數料ヲ支給ス

一　募入割拂金ニ對シテハ千分ノ三

但保證金ヲ以テ振替ヘタル拂込金及發行價格以上ノ差額ニ對シテハ手數料ヲ支給セス

二　應募保證金ニ對シテハ百分ノ貳

三　國庫債券利金ニ對シテハ支拂高ノ千分ノ三

四　交換濟國庫假債券及支拂濟利札遞送費ハ實費

五　電信料　參千圓

是ニ於テ本行ハ同年二月十三日ヲ以テ國庫債券取扱規程ヲ左ノ通制定シ同日大藏大臣ノ認可ヲ得テ各取扱店ヘ通達セリ

國庫債券取扱規程

第一條　國庫債券ノ募集ニ應スル者アルトキハ第一號書式應募申込書ニ保證金ヲ添ヘ差出サシ

メ第二號書式保證金領收證書ヲ交付スヘシ

應募申込高ハ各出張所ヲシテ毎日代理店ニ電報セシメ代理店直接取扱ノ分ト併セ別ニ定ムル所ノ電報例ニ依リ即日本行ニ電報スヘシ

應募申込書ハ價格順ニ又同價格ノモノハ申込高ノ多キモノヨリ順次取揃ヘ價格以上ト價格申込トヲ別括ニシ金額及枚數ヲ記シタル合計書ヲ附シ募集期限後二ケ月以内ニ本行ニ送付スヘシ

保證金ハ代理店ニ於テ保管スヘシ但出張所取扱ニ係ル分ハ代理店ノ見込ニ依リ出張所ヲシテ保管セシムルモ妨ケナシ

第二條　應募申込總額ハ募集期限ノ末日各出張所ヲシテ其取扱ニ係ル分ヲ代理店ニ電報セシメ代理店直接取扱ノ分ト併セ其翌朝別ニ定ムル所ノ電報例ニ依リ照校電信ヲ以テ本行ニ報告スヘシ

募集期限後五日以内ニ第三號書式應募總額報告表ヲ本行ニ送付スヘシ

第三條　本行ヨリ募入決定ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ左ノ事項ヲ應募者ニ通知スヘシ

一　募入及募集外レ金額

二　募集外レ保證金拂戻期日

三　價格以上差金ハ第二回拂込ト同時ニ拂込ムヘキコト

四　假債券ハ第二回拂込ノトキ交付スルコト

五　記名債券ノ交付ヲ請求スル者ハ假債券交付後第三回拂込期日マテニ請求書ヲ差出スヘキコト

六　記名債券ヲ請求スルニハ額面金高千分ノ二ノ登錄稅ヲ要スルコト

第四條　募入保證金ハ募入決定ノ通知到達ノ日ニ於テ第一回割拂金ニ振換ノ記帳ヲナスヘシ

全額募集外レトナリタルモノヽ保證金ハ期日ヲ定メ保證金領收證書ト引換ニ之ヲ拂戻シ又申込高ノ內幾分募集外レトナリタルモノハ保證金領收證書ノ裏面ニ「表書金額ノ內金何圓ハ募集外レニ付何月何日拂戻濟」ト記載シ代理店印（債務規程第一號雜形印）押捺ノ上之ヲ返付スヘシ但拂戻期日ハ募入決定ノ通知到達ノ日ヨリ起算シ十五日ヲ過クルコトヲ得ス

第五條　假債券本行ヨリ到達シタルトキハ第四號書式假債券記名簿ニ登錄シ第一回割拂金領收ノ記入ヲ爲シ第二回拂込期ニ於テ第二回割拂金ニ保證金領收證書ヲ添ヘ差出サシメ又價格以上ノ申込ヲ爲シタル者ニハ其差金ヲモ差出サシメ之ト引換ニ假債券ヲ交付スヘシ

第一回ノ割拂金ハ募入決定ノ日（即三月廿一日）ヲ以テ領收ノ日附ト爲スヘシ

第六條　割拂金ヲ領收シタルトキハ假債券ニ記入證印（債務規程第一號雜形印）シ假債券記名簿ニ記入スヘシ

第七條　割拂金ノ繰上又ハ延滯拂込ヲナシタル者アルトキハ上半月分ハ其月廿五日、下半月分ハ翌月十日マテニ第五號書式割拂金繰上（延滯）拂込報告表ヲ本行ニ送付スヘシ

第八條　拂込期日內ニ割拂金ノ拂込ヲ爲サヽルヶ年（三百六十五日）百分ノ七ノ割合ヲ以テ延滯利子ヲ徵收スヘシ

第九條　拂込期日後三ケ月以內ニ割拂金ノ拂込ヲ爲サスシテ整理公債條例第八條第二項ニ據リ無効トナリタルモノアルトキハ假債券記名簿ヲ削除シ既ニ交付シタル假債券ハ之ヲ引上ケ本

行ニ還納シ應募者ノ姓名、假債券ノ種類、枚數及拂込濟金額ヲ記シタル報告書ヲ本行ニ送付スヘシ

第十條　割拂金、價格以上差金及延滯利子ヲ領收シタルトキハ其翌日代理店又ハ出張所所在地ノ本金庫又ハ支金庫ニ納付シ振替拂證書ノ交付ヲ受ケ其振換拂證書ハ代理店分ハ即日、出張所分ハ代理店到達ノ日ニ於テ第六號書式回送金送付書ヲ添ヘ本行ニ送付スヘシ但出張所ノ取扱ニ係ル振換拂證書ハ支金庫ヨリ交付ヲ受ケタル即日代理店ニ送付セシムヘシ

第十一條　募集金（保證金、割拂金、價格以上差金及延滯利子）ノ受拂ハ各出張所ヲシテ毎日代理店ニ報告セシメ其報告纏リタル上同日ノ取扱ニ係ル代理店及出張所分ヲ併セ第七號書式募集金受拂報告表ヲ調製シ尙延滯利子ノ受入アリタルトキハ第八號書式延滯利子計算表ヲ添ヘ本行ニ送付スヘシ

第十二條　記名債券ノ交付ヲ請求スルモノアルトキハ假債券交付後第三回拂込期日マテニ第九號書式記名債券請求書ヲ差出サシメ假債券記名簿ニ記入シ置キ其請求書ハ期日後七日以内ニ本行ニ送付スヘシ

第十三條　割拂金ノ全額拂込濟トナリタルモノハ翌月十日マテニ第十號書式國庫債券請求表ヲ本行ニ送付スヘシ

割拂金ニ對スル月割利子ハ月割利札ヲ以テ本債券ト共ニ第十一號書式月割利札請求表ヲ本行ニ送付スヘシ

月割利子ハ割拂金一回分毎ニ區別シ其拂込月ノ十五日以前ニ在ルモノハ其月ノ下半月ヨリ又十六日以後ニ在ルモノハ翌月ヨリ起算シ全額拂込月ノ十五日以前ナルトキハ其月ノ上半月マテ又十六日以後ナルトキハ其翌月十日マテニ本行ニ還納スヘシ

第十四條　本債券及月割利札本行ヨリ到達シタルトキハ第十九號書式ニ準ス債務規程第十九號書式ニ登錄スヘシ

第十五條　本債券ト引換濟ノ假債券ハ其表面中央ニ左ノ雛形ノ印ヲ押捺シ第十二號書式假債券還納表ヲ添ヘ翌月十日マテニ本行ニ還納スヘシ

徑一寸五分

何地
引換濟
代理店

何地代理店
引換濟
何地出張所

第十六條　假債券ノ取扱店轉換ヲ請求スル者アルトキハ第十三號書式假債券轉管請求書ヲ差出サシメ假債券記名簿ヲ削除シ公債證書轉管記入帳（第四號書式）ニ國庫假債券ノ口座ヲ設ケテ記入シ請求書ハ奥書ヲ爲シ之ヲ轉入店ニ送付スヘシ

轉入店ニ於テ轉管登錄ノ請求ヲ受ケタルトキハ假債券ヲ差出サシメ假債券記名簿ニ登錄シ其旨轉出店ニ回報スヘシ

轉出又ハ轉入ノ取扱ヲ爲シタルトキハ第十四號書式假債券轉出（轉入）報告表ヲ即日本行ニ送付スヘシ

第十七條　相續又ハ讓渡ニ由リ假債券ノ記名變更ヲ請求スルモノアルトキハ第十五號書式假債

券記名變更請求書ヲ差出サシメ記名ヲ變更シ假債券記名簿ニ登錄スヘシ

記名變更ト同時ニ取扱店ヲ轉管スルトキハ第十六條ニ準シ取扱フヘシ

第十八條　假債券質權設定ノ通知ヲナシ又ハ其承諾ヲ求ムル者アルトキハ記名公債證書ノ例ニ準シ取扱フヘシ

第十九條　保證金領收證書ヲ紛失若クハ消滅シ代リ證書ヲ請求スル者アルトキハ事實相違ナキヲ認メタル上之ヲ交付スヘシ

第二十條　假債券ヲ紛失若クハ消滅シ代リ假債券ヲ請求スル者アルトキハ第十六號書式請求書ヲ差出サシメ事實相違ナキヲ認メタル上本行ニ送付シ代リ假債券本行ヨリ到達シタルトキハ假債券記名簿ニ登錄削除ノ手續ヲ爲シ直ニ之ヲ交付スヘシ

第二十一條　募集金及元利金ノ受拂ハ代理店ニ在リテハ公債部受拂日記帳、公債部受拂元帳及公債部現金所在別帳ニ記入シ出張所ニ在リテハ出張所公債部受拂帳ニ記入スヘシ

公債部受拂日記帳及出張所公債部受拂帳ハ募集金ニアリテハ公債募集金ノ例ニ準シ元利金ニ在リテハ「何年度國債元利金」ノ中ニ「國庫債券償還」又ハ「國庫債券利子」トシテ記入シ又公債部受拂元帳ハ「何年度國庫債券募集金」ノ口座ヲ設ケ記入スヘシ

第二十二條　公債部受拂報告表ヘハ「何年度國庫債券募集金」ノ科目ヲ設ケ又國債元利金受拂内譯表ヘハ「國庫債券元利金」ノ項「國庫債券償還」又ハ「國庫債券利子」ノ目ヲ設ケ記載スヘシ

第二十三條　本規程ニ規定シタルモノヽ外ハ總テ公債事務取扱ノ例ニ準シ取扱フヘシ

第一號書式　用紙美濃判半切

國庫債券應募申込書

一國庫債券額面何圓

但額面百圓ニ付價格金何圓ノ割

右大藏省令第何號ニ依リ應募致シ度保證金何圓相添ヘ此段申込候也

年　月　日

住所

何地代理店宛

何某　印

注意（此領収證ハ申込テ貰ヒ受ケルニ及ビ拂込テ貰ヒ受ケル迄ハ保證金ノ拂戻ヲ受ケル場合ニ此領収證ヲ持參セラルヘシ）假證券ヲ交付スル募集ノ場合ニハ此領収證ハ申込ヲ爲シタル取扱店ニ於テ入手後ノ外一切證券ト引換ヘルコトヲ得サルモノトス

一金　何圓

國庫債券額面何圓ノ應募保證金トシテ正ニ領収候也

年　月　日

何銀行何地代理店何役　何某　印

日本銀行何地出張所

第何號

國庫債券應募保證金領収證書

第二號書式

番號	金額
第何號	金何圓
年月日	姓名
明治何年何月何日	何某

國庫債券應募保證金領収證書原符

割印

第三號書式　第何回募集

表報告額總募應券債庫國（用紙美濃判半切）

別類額募應	口數	合額面	價格
1,000	1	1,000	102.000
500	2	1,000	98.000
300	5	1,500	96.500
小計	8	3,500	
1,000	2	2,000	95.000
500	4	2,000	
小計	6	4,000	
總計	14	7,500	

年　月　日

日本銀行何地代理店印

備考

此表ハ順次記載スヘシ

第五號書式　　國庫債券繰上(延滯)拂込報告表

(用紙美濃判半切)　　明治何年何月上(下)半月分

拂込期	五千圓券		千圓券		五百圓券		百圓券		五拾圓券		合計	
	枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額
第三回	2	1,500,000	3	450,000	4	300,000	5	75,000	10	75,000	24	2,400,000
第四回			2	300,000			10	150,000	2	15,000	14	465,000
繰計	2	1,500,000	5	750,000	4	300,000	15	225,000	12	90,000	38	2,865,000

年　　月　　日

日本銀行何地代理店　㊞

備考

數回ノ割拂金ヲ一時ニ拂込ミタルモノト雖モ一回毎ニ列記スヘシ

此表ハ代理店ニ於テ下半月中ニ記帳シタルモノト雖モ出張所ニ於テ上半月中ニ拂込ヲ受ケタルモノハ上半月分ニ組入レ調製スヘシ

此表ハ利金算出ニ必要ノ材料トナルモノナレハ上半月ノ拂込ト混同セサル樣注意スヘシ

第四號書式（用紙西ノ內）國庫假債券記名簿

事由

住所　何郡何町（村）何番地

| 姓名 | | |

第七號書式　國庫債券募集金受拂報告表

(用紙美濃判半切)　明治何年何月何日分

摘要	受高	拂高	備考
保證金			
受入	1,000,000		
拂戻		300,000	
第一回割拂金ニ振換		700,000	
小計	1,000,000	1,000,000	
拂込金			
第一回割拂金　保證金ヨリ振換	700,000		
第二回　〃	1,372,500		
第三回　〃	585,000		
價格以上差金	234,560		
小計	2,892,060		
延滯利子			
第二回分延滯利子	7,890		
第三回分　〃	530		
小計	8,420		別紙計算表ノ通リ
回送金			
日本銀行ヘ回送		5,000,000	
小計		5,000,000	
合計	3,900,480	6,000,000	
越高	6,570,000		
殘高		4,470,480	
總計	10,470,480	10,470,480	

年　月　日　日本銀行何地代理店　印

備考
此表ハ代理店ニ於テ乙日ニ記帳シタルモノト雖モ出張所ニ於テ甲日ヲ以テ甲ハ乙ノ支取シタルモノハ甲日分ニ組入レ記載スヘシ
代理店出張所間ノ回送金ノ受拂ハ此表ニ記載ヲ要セス

第六號書式　用紙美濃判

回送金送付書

一金　何圓

內譯
金　何圓
金　何圓
金　何圓

右及御送付候也

年　月　日

日本銀行宛

日本銀行何地代理店　印

國庫債券募集金
但振換拂證書何枚
何月何日受入ノ分
何月何日受入ノ分
何月何日受入ノ分

備考
一　現金ハ受入ノ翌日金庫ニ納付スルモ此送付書ノ內譯ニハ受入ノ日附ヲ記載スヘシ

第八號書式　國庫債券割拂金延滯利子計算表

（用紙美濃判半切）　明治何年何月何日分

拂込期	券面種類	延滯金額	延滯日數	利金	枚數	合利金
第二回	五千圓	750000	三十日	4320	1	4320
	千圓	150000	〃	860	2	1720
	五百圓	75000	〃	430	3	1290
	百圓	15000	〃	090	4	360
	五拾圓	7500	〃	040	5	200
小計					15	7890
第三回	千圓	150000	五日	140	2	280
	五百圓	75000	〃	070	3	210
	百圓	15000	〃	010	4	040
小計					9	530
總計					24	8420

年　月　日

日本銀行何地代理店㊞

第九號書式　用紙美濃判

額面金高千分ノ二……印紙

記名債券請求書

一國庫假債券額面何圓

內譯

券面種類	記號番號
何圓	何々
何圓	何々
何圓	何々

此債券何枚

右假債券ニ對スル本債券ハ記名ヲ以テ御交付相成度此段請求候也

年　月　日

住所　何某　印

何地代理店宛

國債　第一回發行國庫債券

第十一號書式甲　　第何回募集
(用紙美濃判半切)　國庫債券月割利札請求表

券面種類	利札金額	枚數	利札合金額
五千圓	91875	2	183750
千圓	18375	4	73500
五百圓	9190	6	55140
百圓	1839	8	14712
五拾圓	920	10	9200
總計		30	336302

年　月　日
日本銀行何地代理店 印

備考
割拂金ヲ期日通リニ拂込ミタルモノヽ月割利札請求表ハ本書式ニ依リ調製スヘシ

割利札請求表
拂込濟ノ分

第六回拂込		第七回拂込		額面ニ對スル利子		利札金額	枚數	利札合金額
月數	利金額	月數	利金額	月數	利金額			
				五ヶ月	20833	24291	2	48582
				〃	20833	23666	2	47332
							4	95914
				五ヶ月	10417	12460	3	37380
							3	37380
				五ヶ月	2083	2304	4	9216
三ヶ月	188	三ヶ月	188	〃	2083	3181	4	12724
							8	21940
							15	155234

何地代理店 印

第十號書式　　國庫債券請求表
(用紙美濃判半切)　何月中金額拂込濟ノ分

記名又ハ無記名ノ區別	券面種類	枚數	額面
記名	五千圓	1	5,000
	千圓	2	2,000
	五百圓	3	1,500
	百圓	4	400
	五拾圓	5	250
	小計	15	9,150
無記名	五千圓	1	5,000
	千圓	2	2,000
	五百圓	3	1,500
	百圓	4	400
	五拾圓	5	250
	小計	15	9,150
總計		30	18,300

年　月　日
日本銀行何地代理店 印

第十二號書式　　國庫假債券還納表
(用紙美濃判半切)

券面種類	枚數	合額面
五千圓	3	15,000
千圓	5	5,000
五百圓	1	500
百圓	2	200
五拾圓	4	200
總計	15	20,900

年　月　日

日本銀行何地代理店 印

第十一號書式乙
(用紙美濃判全紙)

國庫債券月何月中全額

券面種類	第一回拂込 月數	第一回拂込 利金額	第二回拂込 月數	第二回拂込 利金額	第三回拂込 月數	第三回拂込 利金額	第四回拂込 月數	第四回拂込 利金額	第五回拂込 月數	第五回拂込 利金額
千圓	四ヶ月	333	二ヶ月	1875	二ヶ月	1250				
	〃	333	〃	1250	〃	1250				
小計										
五百圓	四ヶ月	167	三ヶ月	938	三ヶ月	983				
小計										
百圓	四ヶ月	033	一ヶ月半	094	一ヶ月半	094				
	〃	033	三ヶ月	188	三ヶ月	188	三ヶ月	188	三ヶ月	125
小計										
總計										

年　月　日　　日本銀行

備考
繰上又ハ延滯拂込ヲ爲シタルモノハ月割利札請求表ハ本書式ニ依リ調製スヘシ

第十四號書式　　國庫假債券轉出(入)報告表

(用紙美濃判半切)

轉(出)入店名	券面種類	記名請求 枚數	記名請求 額面	無記名請求 枚數	無記名請求 額面	合計 枚數	合計 額面	拂込	備考
何地	千圓	1	1,000	1	1,000	2	2,000	第何回マテ	分拂込第何回何月何日
何地	〃			1	1,000	1	1,000	〃	
〃	五百圓	1	500	2	1,000	3	1,500	〃	
〃	百圓			1	100	1	100	〃	
何地	五拾圓			4	200	4	200	第何回マテ	
總計		2	1,500	9	3,300	11	4,800		

年　月　日

日本銀行何地代理店 印

備考

繰上又ハ延滯拂込ヲ爲シタルモノアルトキハ其拂込日ヲ備考欄ニ記載スヘシ

第十三號書式

國庫假債券轉管請求書

一國庫假債券額面何圓

但何年何月以降利子付

內譯

記名又ハ無記名請求ノ區別	券面種類	記號番號	拂込
記名	何圓	何々	第何回マテ拂込濟
無記名	何圓	何々	同上

此債券何枚

右假債券是迄貴店ノ取扱ヲ受居候處自今日本銀行何地代理店ノ取扱ヲ受度候ニ付轉管御取計相成度此段請求候也

年　月　日

住所

何地代理店宛　　何某　印

前書請求ニ依リ當店記名簿消印ノ上及轉送候條貴店ニ於テ登錄濟ノ上ハ其旨御回報相成度候也

年　月　日

何地代理店宛

日本銀行何地代理店 印

備考

一　出張所ノ取扱ヲ受度者アルトキハ其出張所名ヲ附記セシムヘシ

第十五號書式　用紙半濃判

國庫假債券記名變更請求書

一國庫假債券額面何圓

但何年何月以降利子付

內譯

記名又ハ無記名請求ノ區別	券面種類	記號	番號	拂込
記名	何圓	何々	第何回マテ拂込濟	
無記名	何圓	何々	同上	

右假債券相續(又ハ讓渡候ニ付記名變更相成度此段請求候也

住所
何某家督(遺產)相續人
何某印

年　月　日

何地代理店宛
(市町村長奥書調印)

備考

一　讓渡ノ場合ニ於テハ讓受人及讓渡人ナシテ連署セシメ市町村長ノ奥書ヲ要セス

一　取扱店ヲ轉換スルトキハ本文ノ次ニ何地代理店(又ハ何地代理店何地出張所)ノ取扱ヲ受度旨ノ但書ヲ附記セシムヘシ

此債券何枚

第十六號書式　用紙美濃判

拂込金額萬分ノ五……印紙

紛失消滅代リ假債券請求書

一國庫假債券額面何圓

內譯

券面種類	記號	番號	拂込
何圓	何々	第何回マテ拂込濟	
何圓	何々	同上	

右假債券何年何月何日何々ノ事故ニ由リ紛失(消滅)候ニ付代リ假債券御交付相成度他日右紛失(消滅)假債券ニ關シ如何樣ノ故障相生シ候共拙者ハ勿論保證人ニ於テ辨償其他一切ノ責ニ任シ可申候保證人連署此段請求候也

年　月　日

住所　何某印
保證人　住所　何某印
保證人　住所　何某印

大藏大臣宛

備考

一　保證人ハ身元確實ナル者二名以上ヲ要ス

國債　第一回發行國庫債券

明治三十七年二月二十日右取扱規程第一條第一項「申込書」ノ下「二通」ノ二字及同第三項「申込書ハ」ノ下「一通ハ留メ置キ一通ハ」ノ十字ヲ削除シ又同月二十九日第八條但書ヲ削リ第十條中「領收證書」トアルヲ總テ「振替拂證書」ト改メ第六號書式回送金送付書中「金庫領收證書」トアルヲ「振替拂證書」ト改メ又同年三月二十六日第十三條第三項及第十一號書式ニ月割利札請求表ヲ改正セルコト左ノ如シ

月割利子ハ割拂金一回分毎ニ區別シ其拂込月ノ十五日以前ニ在ルモノハ其月ノ下半月ヨリ又十六日以後ニ在ルモノハ翌月ヨリ起算シ全額拂込月ノ十五日以前ナルトキハ其月ノ上半月マテ又十六日以後ナルトキハ其月ノ下半月マテ通シテ之ヲ算出シ其後ノ利子ハ額面金高ニ對シ之ヲ算出スベシ

利　札　請　求　表

拂込濟ノ分

第六回拂込			第七回拂込			額面ニ對スル利子			利札金額	枚數	利札合金額	
月數	利金額		月數	利金額		月數	利金額					
						五ヶ月	20	833	24 291	2	48	582
						〃	20	833	23 666	2	47	332
										4	95	914
						五ヶ月	10	417	12 460	3	37	380
										3	37	380
						五ヶ月	2	083	2 304	4	9	216
三ヶ月		188	三ヶ月		188	〃	2	083	3 181	4	12	724
										8	21	940
										15	155	234

銀行何地代理店　印

第十一號書式乙
（用紙美濃判全紙）

國庫債券月割

額全中月何

券面種類	第一回拂込 月數	第一回拂込 利金額	第二回拂込 月數	第二回拂込 利金額	第三回拂込 月數	第三回拂込 利金額	第四回拂込 月數	第四回拂込 利金額	第五回拂込 月數	第五回拂込 利金額
千圓	四ヶ月	333	三ヶ月	1875	二ヶ月	1250				
	〃	333	二ヶ月	1250	〃	1250				
小計										
五百圓	四ヶ月	167	三ヶ月	938	三ヶ月	938				
小計										
百圓	四ヶ月	033	一ヶ月半	094	一ヶ月半	094				
	〃	033	三ヶ月	188	三ヶ月	188	三ヶ月	188	三ヶ月	125
小計										
總計										

年　月　日

本　日

備考

シヘス製調リ依ニ式書本ハ表求請札利割月ノ〻モノモルタシ發ヲ込拂滯延ハ又上繰

尋テ同年四月一日法律第十七號ノ發布アリテ記名ノ國債ヲ目的トスル質權ノ設定ニ關シテハ民法第三百六十四條第一項ノ規定ヲ適用セサルコト、ナリタルヲ以テ同月十三日取扱規程第十八條ヲ削除シ以下各條順次繰上ケタリ

又國庫債券割拂金全額拂込濟ニシテ轉管ノ取扱ヲ爲シタルモノニ付テハ國庫假債券轉出報告表又ハ轉入報告表備考欄ニ本債券請求濟ノ有無ヲ記載シ尚轉出店ニ於テハ國庫假債券轉管請求書ヘ同樣記載スヘキ旨同年五月十二日營業局長ヨリ各取扱店ヘ通牒セリ

其後幾クモナク同月二十七日取扱規程中左記ノ條項及書式ヲ改正セリ

第五條第二項ヲ左ノ通リ改ム

假債券及假債券記名簿ニ第一回割拂金拂込ノ記入ヲ爲スニハ拂込期日ヲ以テ其日附トスヘシ

第十七條ヲ削リ以下各條ヲ順次繰上ク

第十條以下本文中書式ノ番號ヲ各一號ツヽ繰上ク

第二十條第二項ヲ左ノ通リ改ム

公債部受拂日記帳及出張所公債部受拂帳ハ募集設ケ其記入方ハ公債募集金ノ例ニ準シ元利金ニ在リテハ「第何回國庫債券募集金」ノ科目ヲ「還」又ハ「國庫債券利子」トシテ記入シ又公債部受拂元帳ハ「何年度國債元利金」ノ中ニ「國庫債券償入スヘシ

第二十一條「何年度國庫債券募集金」トアルヲ「第何回國庫債券募集金」ト改ム

第五號書式國庫債券繰上延滯拂込報告表ヲ削リ以下各號順次繰上ク

第十一號書式甲國庫債券月割利札請求表備考「拂込ミタルモノ」ノ下ニ「若クハ之ヲ延滯スルモ其月中ニ拂込ヲ爲シタルモノ」ノ二十三字ヲ加フ

第十一號書式乙國庫債券月割利札請求表備考「拂込ヲ爲シタル」トアルヲ「拂込ノ爲メ通常拂込ト利金額ヲ異ニスル」ト改ム

第十三號書式國庫假債券轉管請求書ヲ別紙ノ通リ改ム

第十四號書式國庫假債券轉出[入]報告表備考欄内ノ「第何回分ハ何月何日拂込」トアルヲ「何回何月上何回何月何日拂込」トアルヲ「何回何月下拂込」ト改メ備考ノ「其拂込月日ヲ」トアルヲ「其拂込ノ月ヲ上下ニ區別シ」ト改ム

第十五號書式國庫假債券記名變更請求書ヲ別紙ノ通リ改ム

第十三號書式　用紙美濃判

國庫假債券轉管請求書

一國庫假債券額面何圓

但第何回マテ拂込濟

此債券何枚

内譯

記名又ハ無記名請求ノ區別	券面種類	記號番號	拂込經過
記名	何圓	何々	第一回第二回第三回第四回第五回第六回第七回第八回第九回
無記名	何圓	何々	三下 四下 六上

右假債券是迄貴店ノ取扱ヲ受居候處自今日本銀行何地代理店ノ取扱ヲ受度候ニ付轉管御取計相成度此段請求候也

年　月　日

住所

何某　印

何地代理店宛

前書請求ニ依リ當店記名簿消印ノ上及轉送候條貴店ニ於テ登錄濟ノ上ハ其旨御回報相成度候也

年　月　日

日本銀行何地代理店　印

何地代理店宛

備考

一　出張所ノ取扱ヲ受度者アルトキハ其出張所名ヲ附記セシムヘシ

第十五號書式　用紙美濃判

國庫假債券記名變更請求書

一國庫假債券額面何圓

但第何回マテ拂込濟

此債券何枚

内譯

記名又ハ無記名請求ノ區別	券面種類	記號番號	拂込經過
記名	何圓	何々	第一回第二回第三回第四回第五回第六回第七回第八回第九回
		三下	四下 六上

無記名	何	圓	何	何々

右假債券相續（又ハ譲渡候ニ付記名變更相成度此段請求候也

年　月　日

住所
何某家督（產）相續人
何　某　印

何地代理店宛
（市町村長奥書調印）

備考
一　譲渡ノ場合ニ於テハ譲受人及譲渡人ヲシテ連署セシメ市町村長ノ奥書ヲ要セス
一　取扱店ヲ轉換スルトキハ本文ノ次ニ何地代理店（又ハ何地代理店何地出張所）ノ取扱ヲ受度旨ノ但書ヲ附記セシムヘシ

明治三十七年六月七日大藏省令第二十四號ヲ以テ國庫債券發行規程第十四條ヲ改正セラレタル結果前出同月十六日取扱規程中ヲ改正スルコト左ノ如シ

第六條ニ左ノ一項ヲ加フ

供託又ハ質入等ノ爲メ假債券ヲ提出スルコト能ハスシテ其旨ヲ證明シタルトキハ假債券ニ記入證印スル代リニ假ニ第五號書式割拂金領收證書ヲ交付シ置キ其事故ノ消滅シタルトキ之ヲ返付セシメ假債券ニ記入證印スヘシ

第九條但書ヲ左ノ通リ改ム

但出張所ノ取扱ニ係ルモノハ振換拂證書ニ代フルニ支金庫ヨリ領收證書ノ交付ヲ受ケ代理店ニ送付セシムルコトヲ得此場合ニ於テハ代理店ハ該領收證書ヲ毎日取纏メ本金庫ニ回付シ振換拂證書ノ交付ヲ受ケ本行ニ送付スヘシ

第九條以下本文中書式ノ番號ヲ各一號ツヽ繰下ク

第四號書式假債券記名簿ノ次ニ別紙書式ヲ加ヘ第五號書式以下順次繰下ク

第五號書式

第何回募集國庫債券割拂金領收證書原符

番號	第　何　號
金額	金　何　圓
姓名	何　某
摘要	第何回割拂金

明治何年何月何日

割印

第何號

第何回募集國庫債券割拂金領收證書

一金何圓

第何回割拂金

右領收候也

年月日

日本銀行何地代理店（何地出張所）㊞

何某殿

注意

本領收證書ハ假債券ニ添付スルニ非サレハ買入スルコトヲ得ス

本領收證書ハ假債券ニ記入證印スル代リニ假ニ交付スルモノナレハ假債券ヲ提出シ得ルニ至リタルトキハ本領收證書ヲ添ヘテ提出シ其記入證印ヲ受ケラルヘシ

假債券ノ記名變更ヲ請求セラルヽ場合ニ於テハ本領收證書ヲ添テ提出セラルヽニ非サレハ取扱ハサルヘシ

備考

一 假債券數枚ノ內一部分ノ拂込ヲ爲スモノアルトキハ其記番號ヲ裏面ニ記載スヘシ

前記第六條中追加第二項ノ證明方ハ口頭ヲ以テスルモ差支ナク取扱ヲ爲スヘク又該領收證書ハ紛出若クハ消滅ノ爲メ代リ證書ヲ請求スル者アルモ再製交付スルニ及ハサル旨同日營業局長ヨリ各取扱店ヘ通牒セリ

尋テ同年七月二十三日取扱規程中第十三號乃至第十五號書式ヲ改正スルコト左ノ如シ

第十三號書式

國庫假債券轉管請求書

一第何回募集國庫假債券額面何圓

內譯

記名又ハ無記名請求ノ區別	券面種類	記號	番號	拂込
記名	何	圓	何	第何回マテ拂込濟
無記名	何	圓	何	同上

此債券何枚

右假債券是迄貴店ノ取扱ヲ受居候處自今日本銀行何地代理店ノ取扱ヲ受度候ニ付轉管御取計相成度此段請求候也

年月日

住所

何某印

何地代理店宛

前書請求ニ依リ當店記名簿消印ノ上及轉送候條貴店ニ於テ登錄濟ノ上ハ其旨御回報相成度

國債　第二回發行國庫債券

第十四號書式　　第何回募集
(用紙美濃判半切)　　國庫假債券轉出(入)報告表

轉出(入)名	券面種類	記名請求 枚數	記名請求 額面	無記名請求 枚數	無記名請求 額面	合計 枚數	合計 額面	拂込	備考
何地	千圓	1	1,000	1	1,000	2	2,000	第何回マテ	
何地	〃			1	1,000	1	1,000	第何回マテ	
〃	五百圓	1	500	2	1,000	3	1,500	〃	
〃	百圓			1	100	1	100	〃	
何地	五拾圓			4	200	4	200	全額	本債券請求濟一枚利金何程
總計		2	1,500	9	3,300	11	4,800		

年　月　日

日本銀行何地代理店 印

備考

全額拂込濟ノモノハ本債券請求濟否ヲ備考欄ニ記載シ尚轉出報告表ニ在リテハ本債券請求濟ノモノハ濟込拂額全ノモノニ限リ之ニ對スル月割利金額ヲモ附記スヘシ

候也

年　月　日

何地代理店宛

備考

一　出張所ノ取扱ヲ受度者アルトキハ其出張所名ヲ附記セシムヘシ

一　全額拂込濟ノモノ轉管ノ場合ニ於テハ本債券請求濟否ヲ轉出店ニ於テ附記スヘシ

一　請求者カ假債券ヲ轉入店ニ提出スルヲ意リ爲メニ不都合ヲ生スルコト往々之アルヲ以テ速ニ提出スヘキ樣必ス請求者ニ注意スヘシ

九六〇

日本銀行何地代理店 印

第十五號書式

國庫假債券記名變更請求書

一第何回募集國庫假債券額面何圓

內譯

記名又ハ無記名請求ノ區別	券面種類	記號	番號	拂込
記名	何圓	何	何々	第何回マテ拂込濟
無記名	何圓	何	何々	同上

此債券何枚

右假債券相續(又ハ讓渡)候ニ付記名變更相成度此段請求候也

年　月　日

住所

何地代理店宛

何某家督遺產相續人

(市町村長奥書調印)

何某印

備考

一　讓渡ノ場合ニ於テハ讓受人及讓渡人ヲシテ連署セシメ市町村長ノ奥書ヲ要セス

一　取扱店ヲ轉換スルトキハ本文ノ次ニ何地代理店(又ハ何地代理店何地出張所)ノ取扱ヲ受度旨ノ但書ヲ附記セシムヘシ此場合ニ於テハ第十三號書式轉管請求書ニ準シ取扱フヘシ

又同年九月十二日取扱規程中左ノ通條項ヲ改正セリ

第十三條第二項ヲ左ノ通リ改ム

記名債券ハ國庫債券記名簿(債務規程第十九號書式ニ準ス)ニ登錄スヘシ

第十三號書式國庫假債券轉管請求書備考第二項ヲ削ル

第十四號書式國庫假債券轉出(入)報告表拂込欄ノ「全額」トアルヲ「何月中全額」ト改メ備考ヲ左ノ通リ改ム

一　轉出報告表ニ限リ全額拂込濟ノモノハ本債券請求濟否ヲ備考欄ニ記載シ尙請求濟ノモノハ之ニ對スル月割利金額ヲモ附記スヘシ

尋テ同年十月四日取扱規程中第八條ヲ左ノ通改正セリ

拂込期日後三ケ月以內ニ割拂金ノ拂込ヲ爲サスシテ整理公債條例第八條第二項ニ依リ無効トナリタル假債券アルトキハ記名簿ヲ削除シ其券面種類枚數、合額面、拂込濟金額及人員ヲ記シタル報告書ヲ募集及拂込期毎ニ區別調製シ本行ニ送付スヘシ

無効假債券ハ前項報告書ト共ニ之ヲ本行ニ還納スヘシ但既ニ交付シタル假債券ニシテ引上クルコトヲ得サルモノアルトキハ記名簿ニ其事由ヲ記載シ其券面種類、記號及番號ヲ報告スヘシ

從來取扱規程第九條ニ於ケル國庫債券拂込延滯ノ爲メ失効トナリタル場合ノ報告方區々ニ渉リ取扱上不便尠カラサリシニヨリ爾後失効報告ハ左記甲號樣式引上未濟報告ハ乙號樣式ニ依リ調製シ又向後失効債券還納ノ際ニハ丙號樣式ノ還納表添附スヘキ旨明治三十八年三月一日ヲ以テ本行國債局長ヨリ各取扱店ヘ通牒セリ

甲　號　　第何回募集國庫假債券失効報告表

第何期拂込延滯ノ爲失效ノ分

券面種類	枚數	合額面	拂込濟金額	人員
五百圓	1	500	160 00	
百圓	2	200	64 00	
五拾圓	4	200	64 00	
貳拾五圓	2	50	160 00	
總計	9	950	304 00	8

明治何年何月何日

日本銀行何地代理店 印

乙　號　　第何回募集國庫假債券引上未濟報告表

第何期拂込延滯ノ爲失効ノ分

券面種類	記號	番號	枚數	合額面
百圓	ハ	1640		
		1641		
			2	200
五拾圓		2135		
			1	50
貳拾五圓		3021		
		3085		
			2	50
總計			5	300

明治何年何月何日

日本銀行何地代理店 印

丙　號　　第何回募集國庫假債券還納表

第何期拂込延滯ノ爲失効ノ分

券面種類	枚數	合額面
五百圓	1	500
五拾圓	3	150
總計	4	650

明治何年何月何日

日本銀行何地代理店 印

第十四號書式　　第何回募集

（用紙美濃判半切）　國庫假債券轉出(入)報告表　　第何號

轉入(出)店名	請求書番號	券面種類	記名請求 枚數	記名請求 額面	無記名請求 枚數	無記名請求 額面	合計 枚數	合計 額面	拂込	備考
何地	何第何號	千圓	1	1,000	1	1,1000	2	2,000	第何期マテ	
何地	何第何號	〃			1	1,000	1	1,000	第何期マテ	
〃	何第何號	五百圓	1	500	2	1,000	3	1,500	〃	
〃	〃	百圓			1	100	1	100	〃	
何地	何第何號	五拾圓			4	200	4	200	何月中金額	本債券請求濟一枚利金何程
總計			2	1,500	9	3,300	11	4,800		

年　　月　　日

日本銀行何地代理店　印

備考

轉出報告ニ限リ全額拂込ノモノハ本債券請求濟ノモノニ對スル利金額ヲ否ヤ記載シ尚請求濟ノモノハ之ニ關係ナキ事項ヲ削除シ備考欄ニ別紙計算表ノ通リ何程ト記入スヘシ

又同年四月十八日拂込延滯ノ爲メ無効トナリタル國庫債券ニシテ價格以上差金ノ拂込ヲ爲サヽルモノアルトキハ失効報告表ト同時ニ其金額（人別ヲ要セス）ヲ報告スヘキ旨ヲ通牒セリ

是ヨリ先同年三月二十四日國庫債券取扱規程中左ノ通改正セリ

第十條中「第七號書式募集金受拂報告表ヲ調製シ」ノ下「尚延滯利子ノ受入アリタルトキハ第八號書式延滯利子計算表ヲ添ヘ」ノ三十字ヲ削ル

第十一條以下各條中記載ノ書式號數ヲ一號宛順次繰上ク

第七號書式國庫債券募集受拂報告表備考欄「別紙計算表ノ通リ」ノ八字ヲ削ル

第八號書式國庫債券割拂金延滯利子計算表ヲ削リ以下各號順次繰上ク

國庫假債券轉管請求書（第一三號書式）奥書ノ右肩ニ「何第何號」ノ四字ヲ加フ

國庫假債券轉出(入)報告表ヲ左記ノ通リ改ム

尋テ同年七月二十一日取扱規程中第十九條第二項及第二十條中「國庫債券償還」「國庫債券利子」ヲ「國庫債券償還」又ハ「國庫債券利子追拂」ト改メタリ

降テ明治三十九年三月十二日ニ至リ臨時國債整理局長ヨリ從來送付證ヲ以テ進達セシ國庫債券亡紛失代リ請求書(國庫債券取扱規程第十六號書式)ヘハ爾後一定ノ場所ヘ本債券交付年月日ヲ記入シ取扱者捺印ノ上進達スヘキ旨通牒アリタレハ同月十五日付ヲ以テ第一回第二回及第三回國庫債券亡紛失代リ本債券請求書ヘハ向後大藏大臣宛名ノ左餘白ニ「何月何日代リ本債券交付濟」ト記入シ其下ニ取扱者捺印ノ上送付スヘキ旨本行國債局長ヨリ各取扱店ヘ通牒セシカ尚右ノ場合ニハ國債取扱規程第三十條ノ報告書ハ提出スルニ及ハサル旨同年九月一日ヲ以テ通牒セリ

曩ニ本行ハ大藏大臣ヨリ國庫債券募集事務ノ取扱ヲ命セラルヽヤ從來ノ國債事務代理店ノ外應募者ノ便ヲ圖リ東京市内ニ於ケル事務ノ一部ヲ取扱ハシムル爲メ明治三十七年二月十五日大藏大臣ノ認可ヲ經テ東京丸ノ内代理店ヲ設置シ其事務取扱ヲ日本興業銀行ニ委囑シ同行トノ間ニ左ノ約條書ニ依リ約定ヲ締結シタリ

日本銀行ハ明治三十六年勅令第二百九十一號ニ依リ政府ニ於テ發行ノ國庫債券ニ關スル事務ノ取扱ヲ株式會社日本興業銀行ニ囑託スルニ付大藏大臣ノ認可ヲ得テ當事者間ニ契約スルコト左ノ如シ

第一條　日本銀行ハ株式會社日本興業銀行ヲ以テ日本銀行東京丸ノ内代理店ト定メ國庫債券ニ關スル事務ノ取扱ヲ之ニ囑託ス

第二條　株式會社日本興業銀行ハ其本店ヲ以テ日本銀行東京丸ノ内代理店トナシ國庫債券ノ募集元利金ノ仕拂其他之ニ關スル事務ノ取扱ヲナスヘシ

第三條　株式會社日本興業銀行ハ法令告示又ハ日本銀行ヨリ頒布スル所ノ規則通達ヲ遵守シ誠實ニ代理事務ヲ取扱フヘシ

第四條　代理店ニ屬スル現金及證券並ニ諸帳簿ハ株式會社日本興業銀行本業部ニ屬スルモノト混交セサル樣判然區劃シテ之ヲ保管シ如何ナル事由アルモ代理店事務以外ニ之ヲ使用スヘカラス

第五條　株式會社日本興業銀行ハ代理店ニ屬スル現金及證券ノ保管出納其他代理事務取扱中ニ、生シタル一切ノ喪失損害ニ就キ其原因如何ニ拘ハラス日本銀行ニ對シ辨償ノ責ニ任スヘシ

第六條　株式會社日本興業銀行ハ前條ノ義務ヲ擔保スル爲メ日本銀行ノ指定スル員額種類價格ニ據リ現金又ハ有價證券ヲ日本銀行ニ差入ルヘシ

第七條　株式會社日本興業銀行ニ於テ第五條ニ明記スル辨償ノ義務ヲ履行セサルトキハ日本銀行ハ擔保品ヲ處分シ辨償ニ充テ尚不足アルトキハ株式會社日本興業銀行ノ資產ヲ以テ之ヲ償ハシムヘシ

第八條　日本銀行ハ別ニ定ムル割合ニ依リ代理店事務取扱手數料ヲ株式會社日本興業銀行ニ仕拂フヘキニ付其取扱ニ要スル經費ハ一切株式會社日本興業銀行ニ於テ支辨スヘシ

第九條　此契約ハ明治三十七年三月一日ヨリ實施スヘシ但日本銀行ノ都合ニヨリ何時ニテモ之ヲ解約スルコトヲ得ヘク又雙方協議ノ上大藏大臣ノ認可ヲ得テ本契約ヲ更正增削スルコトヲ得ヘシ

右契約ヲ締結シタル證トシテ本書二通ヲ作リ双方役員署名調印ノ上一通ハ日本銀行ニ一通ハ株式會社日本興業銀行ニ保存スルモノ也

尋テ同年五月三十一日ヲ以テ同年法律第一號ニ依リ發行セル第二回及第三回國庫債券三十八年三月三日ヲ以テ同年法律第十二號ニ依リ發行セル第四回及第五回國庫債券ノ取扱ヲ委囑シ其代理事務取扱方ニ關シテハ前揭契約書ノ條項ヲ準用シ尚同契約ニ依リ日本興業銀行ヨリ差入レタル擔保品ハ爾後ノ契約トノ共通擔保ト爲セリ

又國庫債券募集事務取扱派出所ノ外三十七年二月以降東京、横濱、神戸ニ於テ四十有餘箇所ノ臨時派出所ヲ設ケ各銀行ニ委囑シテ其事務ヲ取扱ハシメ引續キ第二回乃至第五回國庫債券ノ募集ニ關スル事務ヲ委囑シタルカ國庫債券募集事務漸次整理セラルヽニ及ヒ總テ之ヲ廢セリ今本行カ是等臨時派出所事務取扱銀行トノ間ニ締結セル第一回國庫債券事務取扱ニ關スル約條書ノ一例ヲ示セハ左ノ如シ其他第二回乃至第五回國庫債券募集ニ關スル事務取扱ニ關シ締結セル契約書ハ何レモ右第一回國庫債券募集ニ關スル契約ノ條項ヲ準用セリ

日本銀行ハ明治三十六年勅令第二百九十一號ニ依リ政府ニ於テ發行ノ國庫債券ニ關スル事務取扱ヲ何々銀行ニ囑托スルニ付當事者間ニ契約スルコト左ノ如シ

第一條　日本銀行ハ何々銀行何々店ヲ以テ日本銀行臨時何々派出所ト定メ國庫債券ニ關スル事務ノ取扱ヲ囑托ス

第二條　何々銀行ハ前條事務ニ關スル法令告示又ハ日本銀行ヨリ頒布スル所ノ規則通達ヲ遵守シ誠實ニ之カ取扱ヲ爲スヘシ

第三條　派出所ニ屬スル現金及證券ハ何々銀行本業部ニ屬スルモノト混交セサル樣判然區劃シテ之ヲ保管シ如何ナル場合ト雖モ派出所事務以外ニ之ヲ使用スヘカラス

第四條　何々銀行ハ臨時派出所ニ屬スル現金及證券ノ保管出納其他代理事務取扱中ニ生シタル一切ノ喪失損害ニ就キ其原因ノ如何ニ拘ハラス日本銀行ニ對シ辨償ノ責ニ任スヘシ

第五條　日本銀行ハ別ニ定ムル割合ニ依リ臨時派出所事務取扱手數料ヲ何々銀行ヘ仕拂フヘキニ付其取扱ニ要スル經費ハ一切何々銀行ニ於テ支辨スヘシ

第六條　此契約ハ明治　年　月　日ヨリ國庫假債券悉皆還納濟ニ至ルマテヲ限リトス尤日本銀行ノ都合ニ依リ何時ニテモ之ヲ解約スルコトヲ得ヘシ

右契約ヲ締結シタル證トシテ本書二通ヲ作リ雙方役員署名調印ノ上一通ハ何々銀行ニ保存スルモノ也

又國庫債券募集事務ニ便スル爲メ支店出張所ニ於テモ樞要ノ地ヘハ臨時派出所ヲ置クコトヽシ各支店出張所ニ其旨ヲ傳ヘテ前揭契約案文ニ準據シ各店適宜ニ契約セシムルコトヽシタリ

本行ハ國庫債券募集事務ニ便スル爲メ支店出張所ニ於テモ樞要ノ地ヘハ臨時派出所ヲ置クコトヽシ各支店出張所ニ其旨ヲ傳ヘテ前揭契約案文ニ準據シ各店適宜ニ契約セシムルコトヽシタリ

又國庫債券募集事務ニ便スル爲メ支店出張所ニ於テモ樞要ノ地ヘハ臨時派出所ヲ置クコトヽシ各支店出張所ニ其旨ヲ傳ヘテ前揭契約案文ニ準據シ各店適宜ニ契約セシムルコトヽシタリ

右契約ヲ締結シタル證トシテ本書二通ヲ作リ雙方役員署名調印ノ上一通ハ何々銀行ニ保存スルモノ也

又國庫債券募集事務ニ便スル爲メ支店出張所ニ於テモ樞要ノ地ヘハ臨時派出所ヲ置クコトヽシ各支店出張所ニ其旨ヲ傳ヘテ前揭契約案文ニ準據シ各店適宜ニ契約セシムルコトヽシタリ

本行ハ國庫債券募集事務ニ便スル爲メ支店出張所ニ於テモ樞要ノ地ヘハ臨時派出所ヲ置クコトヽシ各支店出張所ニ其旨ヲ傳ヘテ前揭契約案文ニ準據シ各店適宜ニ契約セシムルコトヽシタリ

又國庫債券募集事務ニ便スル爲メ支店出張所ニ於テモ樞要ノ地ヘハ臨時派出所ヲ置クコトヽシ各支店出張所ニ其旨ヲ傳ヘテ前揭契約案文ニ準據シ各店適宜ニ契約セシムルコトヽシタリ

本行ハ國庫債券募集事務ニ便スル爲メ支店出張所ニ於テモ樞要ノ地ヘハ臨時派出所ヲ置クコトヽシ各支店出張所ニ其旨ヲ傳ヘテ前揭契約案文ニ準據シ各店適宜ニ契約セシムルコトヽシタリ

又國庫債券募集事務ニ便スル爲メ支店出張所ニ於テモ樞要ノ地ヘハ臨時派出所ヲ置クコトヽシ各支店出張所ニ其旨ヲ傳ヘテ前揭契約案文ニ準據シ各店適宜ニ契約セシムルコトヽシタリ

所代理店ヘ電報ヲ發シ其增設方ヲ照會シ尙同月二十日其手配ヲ促シ且必要ト認ムル地區ヘハ臨時出張員ヲシテ拂込ヲ受入レシメ又ハ他ニ取次ヲ依賴スル等機宜ノ取扱方ヲ爲スヘキ旨ヲ照會シ又本店直轄派出所ヘ對シテモ適宜取次店設置ノ義ヲ照會セリ

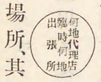
斯クテ應募者ハ非常ノ多數トナリタレハ第二回以後拂込ノ場合ニハ拂込人輻湊シテ益々混雜ヲ極メ殊ニ遠隔ノ地ニ在ルモノヽ如キハ其困難ヲ感スルコト少カラサルヘキヲ慮リ同年三月二十日之カ取扱方ニ關シ各取扱店ヘ向ケ左記ノ通達ヲ發セリ

一　町村長其他銀行等ニシテ拂込ノ取次ヲ希望スル向有之哉ニ聞及ヘリ右ハ應募者ノ爲メ將タ取次店ノ爲メ便利尠カラサル儀ニ付成ルヘク其望ニ應シ取次ヲ爲サシムヘキコト但確實ナラスト認メラルヽ者ニ對シテハ勿論其取次ヲ謝絕スヘキコト

二　右ノ場合取次所ハ拂込人ヨリ拂込金及假債券ヲ預リ置キ之レニ對シテ假ニ預リ證書ヲ交付シ取纏メノ上取扱店ニ差出シ拂込ノ手續ヲ了シ假債券ニ拂込金領收ノ記入及證印ヲ受ケ曩ノ預リ證書ト引換ニ之ヲ應募者ニ返附ス可キコト

三　代理店又ハ出張所ノ管內廣キニ過キ若クハ拂込人員非常ニ多クシテ許多ノ取次店アルモ尙拂込人ヲシテ不便ヲ感セシムルノ虞アルトキハ其取扱區域ヲ分割シ一定ノ地區內便宜ノ場所ニ臨時出張所ヲ設ケ在來ノ出張所ト同樣ノ取扱ヲ爲サシムコト

四　右ノ場合ニ於テハ拂込金領收ノ證トシテ假債券ニ押捺ス可キ印章ハ左記ノ雛形ニ據リ調製シ其寸法ハ債務規程第一號雛形ノ出張所印ニ準ス可キコト



五　臨時出張所ヲ設置シタルトキハ直チニ其取扱銀行名、設置場所、其取扱區域、出張所名及印鑑ヲ

屆出ツヘキコト

六　臨時出張所ニ於テ領收シタル拂込金ハ最寄本金庫又ハ支金庫ニ納付シ振替拂證書ノ交付ヲ受ケ之ト代理店ニ回送セシム可キコト

尙同時ニ支店出張所ヘ向ケ右ハ一般代理店ニ對スル取扱方ヲ示シタルモノナレハ本行支店出張所ニ於テ該派出所ヲ設置スル場合ニハ取扱銀行名、設置場所、取扱區域及派出所名ヲ本店ニ申出其承認ヲ經テ取扱ヲ委囑スヘキ旨ヲ通達セリ

越エテ明治三十八年六月二十七日ニ至リ大阪支店長ヨリ國庫本債券交付ノ際仕拂期ノ到達セル月割利札ニ對シ臨時派出所ヘ便宜所要ノ基金ヲ交付シ利子ノ仕拂ヲ爲サシメ常設派出所ニ準シ整理シタキ旨稟申シ來リタレハ七月一日特ニ之ヲ承認セリ

是ヨリ先明治三十七年二月十三日本行直轄派出所ニ於ケル國庫債券事務取扱ノ爲メ取扱手續ヲ定メ各直轄派出所ヘ通達シ且參考トシテ各取扱店ヘモ之ヲ送付セリ其全文左ノ如シ

派出所國庫債券事務取扱手續

第一條　國庫債券ノ募集ニ關シ應募者ノ心得トナルヘキ重要ノ事項ハ之ヲ店頭ニ揭示スヘシ

第二條　本行ニ於テ應募申込ノ取次店ヲ指定シタルトキハ其店名ヲ通知スヘシ此場合ニ於テハ申込書ハ派出所宛トシ保證金領收證書ハ取次店名ヲ以テ交付セシメ其取次ニ係ル申込書及保證金ハ即日引渡ヲ受クヘシ但取次店ノ取扱高ハ募集期限後各店ニ區別シ本行ニ報告スヘシ

第三條　應募申込書及保證金領收證書ノ用紙ハ本行ヨリ送付スヘシ但申込書用紙ハ應募者ノ便利ノ爲メ郡役所市町村役場等ヘモ配付シ置クヘシ

第四條　應募申込書ハ一通ハ留メ置キ一通ハ價格順ニ又同價格ノモノハ申込高ノ多キモノヨリ順次取揃ヘ尙價格以上ト價格申込トハ之ヲ別括ニシ金額及枚數ヲ記シタル合計書ヲ附シ即日本行ニ送付スヘシ

前項申込書ハ證憑書トシテ會計檢査院ヘ提出スヘキモノナレハ成ルヘク違式ノモノナキ樣注意スヘシ

第五條　應募保證金ハ派出所ニ於テ保管スヘシ但本行ヘ回送ヲ要スルトキハ其旨本行ヨリ通知スヘシ

第六條　每日ノ應募申込高ハ即日、應募總額ハ募集期限ノ末日左ノ符號ヲ以テ本行ニ電報シ又申込ナキトキハ其旨ヲ電報スヘシ但翌朝マテニ郵便ノ到達スヘキ派出所ハ書面ヲ以テ報告スルモ妨ケナシ

（符號略ス）

應募總額ノ電報ハ募入決定ノ材料ニ供スヘキ重要ノモノナレハ誤謬ナキ樣正確調査ヲ遂ケ照校電信ヲ以テ報告スヘシ

第七條　規程第三號書式應募總額報告表ハ派出所ニ於テモ之ヲ調製シ募集期限ノ翌日マテニ本行ニ送付スヘシ

第八條　本行ヨリ募入決定ノ通知ヲ受ケタルトキハ別ニ定ムル樣式ニ依リ直ニ應募者ニ通知スヘシ

第九條　募集外レ保證金拂戻ノ期日ハ派出所ニ於テ適宜之ヲ定ムヘシ但其期日ハ規程第四條第二項但書ノ範圍內ニ於テ成ルヘク速カナランコトヲ要ス

第十條　假債券本行ヨリ到達シタルトキハ第一號書式一人別帳ニ記入スヘシ

第十一條　割拂金ヲ領收シテ假債券ニ記入證印シタルトキ又ハ價格以上差金ヲ領收シタルトキハ之ヲ一人別帳ニ記入スヘシ

第十二條　割拂金價格以上差金及延滯利子ニ對スル金庫領收證書ハ必ス收入ノ翌日（休日ナレハ翌々日）本行ニ送付スヘシ

第十三條　募集金ノ受拂ヲ爲ストキハ第二號乃至第五號書式傳票ヲ使用シ第二號及第三號書式ノ傳票ハ派出所ニ留メ置キ第四號及第五號書式ノ傳票ハ即日本行ニ送付スヘシ

第十四條　募集金ノ受拂ハ規程第七號書式ニ準シ每月募集金受拂報告表ヲ調製シ尙延滯利子ノ受入アリタルトキハ同第八號書式ニ準シタル延滯利子計算表ヲ添ヘ即日本行ニ送付スヘシ

第十五條　記名債券ノ請求ヲ受ケタルトキハ一人別帳ニ記入シ置キ其請求書ハ第三回割拂金拂込期限ノ翌日之ヲ取纏メ本行ニ送付スヘシ

第十六條　繰上拂込ハ拂込期日中ニ限ルモノトシ期日外ニ於テハ取扱ヲ爲スヘカラス

第十七條　本債券ヲ交付スルトキハ記名無記名共其券面種類記號、番號、交付年月日及姓名ヲ適宜ノ書留簿ニ記入シ置クヘシ

第十八條　本債券ト引換濟ノ假債券ハ規程第十二號書式ニ準シタル假債券還納表ヲ添ヘ翌月三日マテニ本行ニ還納スヘシ

第十九條　假債券ノ取扱店轉換、證名變更又ハ亡紛失代リ假債券交付ノ請求ヲ爲ス者アルトキハ

第一號書式　用紙美濃判

國庫假債券一人別帳

記名

第　號　住所　姓名

年月日	五千圓券				千圓券				五百圓券				百圓券				五拾圓券				合額面
	増	減	殘		増	減	殘		増	減	殘		増	減	殘		増	減	殘		
				枚				枚				枚				枚				枚	円

拂込期	金額	拂込年月日	備考
第一回			
第二回			
第三回			
第四回			
第五回			
第六回			

拂込期	金額	拂込年月日	備考
第七回			價格以上差金
第八回			

其請求書記名變更ノ場合ハ其假債券共ハ即日本行ニ送付スヘシ

第二十條　甲派出所ノ取扱ニ係ル假債券ヲ乙派出所ノ取扱ニ變更センコトヲ請求スル者アルトキハ規程第十三號書式ニ準シタル轉管請求書ヲ差出サシメ即日本行ニ送付スヘシ本行派出所間ノ轉入出亦同シ

第二十一條　國庫債券元利金ノ受拂ハ國債元利金受拂報告表ニ「國庫債券元利金」ノ項「國庫債券償還」又ハ「國庫債券利子」ノ目ヲ設ケ記載スヘシ

第二號書式　用紙寸法 竪七寸 横五寸

國庫債券應募保證金收入票

年　月　日

現金收納濟	保證金	應募高	
㊞	金	額面	
領收證交付濟			
㊞			
姓名			

何地派出所 ㊞ 取扱人印

第三號書式　用紙寸法 竪七寸 横五寸

國庫債券募集外レ保證金仕拂票

年　月　日

金

現金仕拂濟	印鑑照合濟	
㊞	㊞	
姓名		

何地派出所 ㊞ 取扱人印

第四號書式　用紙寸法 縦七寸 横五寸五分

國庫債券第何回割拂金收入票

年　月　日　一人別帳番號　第　號

入金高　金　　円

内譯	金高	枚數
割拂金	金	
差金又ハ延滯利子	金	
		五千圓券　枚
		千圓券　枚
		五百圓券　枚
		百圓券　枚
		五拾圓券　枚

現金收納濟　㊞

假債券記入濟　㊞

記名簿記入濟　㊞

姓名

何地派出所　㊞　取扱人印

（備考）

一　假債券數枚ヲ所有スル者ニシテ一部分ノ拂込ヲ爲シタルトキハ其券面種類、記號及番號ヲ本票裏面ニ記載スヘシ

第五號書式　用紙寸法 縦七寸 横五寸五分

國庫債券繰上拂込金收入票

年　月　百　一人別帳番號　第　號

入金高　金　　円

内譯	金高	枚數
第三回	金	
第四回	金	
第五回	金	
第六回	金	
第七回	金	
第八回	金	
		五千圓券　枚
		千圓券　枚
		五百圓券　枚
		百圓券　枚
		五拾圓券　枚

現金收納濟　㊞

假債券記入濟　㊞

記名簿記入濟　㊞

姓名

何地派出所　㊞　取扱人印

（備考）

一　假債券數枚ヲ所有スル者ニシテ一部分ノ拂込ヲ爲シタルトキハ其券面種類、記號及番號ヲ本票表面ニ記載スヘシ

一　本票ハ繰上拂込ノモノノミヲ記載スヘキモノナレハ例ヘハ第三回拂込期ニ於テ第四回以下ノ繰上拂込ヲ爲ス者アルトキハ第三回分ハ第四號書式ノ收入票ヲ用ヒ本票ヘハ第四回以下ノ拂込金ヲ記載スヘシ

國債　第一回發行國庫債券

右制定後幾クモナク同月二十日第四條第一項「申込書ハ」ノ下「一通ハ留メ置キ一通ハ」ノ十字ヲ削リ同第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加入セリ

應募者ノ姓名、應募額、價格及申込年月日ハ適宜之ヲ書留メ置クヘシ

又同月二十九日第十二條ヲ左記ノ通改メ同第一號書式國庫假債券一人別帳中五千圓券ノ欄ノ上ニ一萬圓券ノ欄五十圓券ノ欄ノ下ニ二十五圓券ノ欄ヲ設ケタリ

第十二條　割拂金、價格以上差金及延滯利子ヲ金庫ニ納付シ振替拂證書ノ交付ヲ受ケタルトキハ規程第六號書式ニ準シタル回送金送付書ヲ添ヘ即日本行ニ送付スヘシ

尋テ同年五月二十八日左ノ條項ヲ改正セリ

第十二條中「六號書式」トアルヲ「第五號書式」ト改ム

第十四條中「第七號書式」トアルヲ「第六號書式」「第八號書式」トアルヲ「第七號書式」ト改ム

第十八條中「第十二號書式」トアルヲ「第十一號書式」ト改ム

第二十條中「第十三號書式」トアルヲ「第十二號書式」ト改ム

又同年六月二十七日第十二條中「振換拂證書」トアルヲ「領收證書」ト改メ又九月二十日ニ至リ第十七條ヲ削リ以下各條項順次繰上ケタリ

既ニシテ同年十月十五日ニ至リ前記派出所國庫債券事務取扱手續全部ヲ左ノ通改正シ之ヲ直轄派出所ヘ通達スルト共ニ同月十九日各取扱店ヘモ之ヲ送付シ尚第三回國庫債券募集ニ就テハ本文參酌ノ上適宜ノ規定ヲ設ケ所轄各出張所ヲシテ一定ノ取扱ヲ爲サシムヘキ旨ヲ通牒セリ

派出所國庫債券事務取扱手續

第一條　派出所ニ於ケル國庫債券ノ事務ハ國庫債券發行規程並國庫債券取扱規程ニ依ルノ外尚本手續ニ依リ取扱フヘシ

第二條　國庫債券ノ募集ニ關シ應募者ノ心得トナルヘキ重要ノ事項ハ之ヲ店頭ニ揭示スヘシ

第三條　本行ニ於テ應募申込ノ取次店ヲ指定シタルトキハ其店名ヲ通知スヘシ此場合ニ於テハ申込書ハ派出所宛トシ保證金領收證書ハ取次店名ヲ以テ交付セシメ其取次ニ係ル申込書及保證金ハ即日引渡ヲ受クヘシ但取次店ノ取扱高ハ募集期限後各店ニ區別シ本行ニ報告スヘシ

第四條　應募申込書ハ價格順ニ又同價格ノモノハ申込高ノ多キモノヨリ順次取揃ヘ尚價格以上ト價格申込トハ之ヲ別括ニシ價格口數及額面ヲ記シタル合計書ヲ附シ即日本行ニ送付スヘシ、前項申込書ハ證憑書トシテ會計檢査院ヘ提出スルコトアルヘキニ付成ルヘク違式ノモノナキ樣注意スヘシ

第五條　應募保證金ハ派出所ニ於テ保管スヘシ但本行ヘ回送ヲ要スルトキハ其旨本行ヨリ通知スヘシ

第六條　每日ノ應募申込高ハ即日應募總額ハ募集期限ノ末日左ノ符號ヲ以テ本行ニ電報シ又申込ナキトキハ其旨ヲ電報スヘシ但翌朝マテニ郵便ノ到達スヘキ派出所ハ書面ヲ以テ報告スルモ妨ケナシ

（符號略ス）

應募總額電報ハ照校電信ヲ以テ發信スヘシ

第七條　國庫債券取扱規程第三號書式應募總額報告表ハ派出所ニ於テモ之ヲ調製シ募集期限ノ

翌日マテニ本行ニ送付スヘシ

第八條　本行ヨリ募入決定ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ應募者ニ通知スヘシ

第九條　募集外レ保證金拂戻ノ期日ハ派出所ニ於テ適宜之ヲ定ムヘシ但其期日ハ國庫債券取扱規程第四條第二項但書ノ範圍内ニ於テ成ルヘク速カナランコトヲ要ス

第十條　派出所ニ於テハ第一號書式一人別帳ヲ調製シ應募高、募集外レ保證金ノ拂戻、割拂金幷價格以上差金ノ拂込及假債券ノ增減等ヲ記入整理スヘシ

第十一條　割拂金、價格以上差金及延滯利子ヲ金庫ニ納付シ領收證書ノ交付ヲ受ケタルトキハ國庫債券取扱規程第六號書式ニ準シタル回送金送付書ヲ添ヘ即日本行ニ送付スヘシ

第十二條　募集金受拂ハ第二號乃至第五號書式傳票ヲ以テ之ヲ爲シ第二號及第三號書式ノ傳票ハ派出所ニ留メ置キ第四號及第五號書式ノ傳票ハ即日本行ニ送付スヘシ

第十三條　募集金ノ受拂アリタルトキハ國庫債券取扱規程第七號書式ニ準シ即日募集金受拂報告表ヲ調製シ延滯利子ノ受入アリタルトキハ同第八號書式ニ準シタル延滯利子計算表ヲ添ヘ即日本行ニ送付スヘシ

第十四條　記名債券ノ請求ヲ受ケタルトキハ其請求書ハ即日本行ニ送付スヘシ

第十五條　繰上拂込ハ拂込期日中ニ限ルモノトシ期日外ニ於テハ取扱ヲ爲スヘカラス

第十六條　拂込期日後三ケ月以内ニ拂込ヲ爲サスシテ無効トナリタル假債券アルトキハ一人別帳ヲ削除シ應募者ノ姓名券面種類、枚數、額面及一人別帳ノ番號ヲ記シタル報告書ヲ添ヘ無効トナリタル日ヨリ三十日以内ニ本行ニ還納スヘシ但假債券ヲ交付シタル後無効トナリタルトキハ期限ヲ定メテ假債券ノ返還ヲ求メ若之ニ應セサルトキハ報告書ニ其事由ヲ附記スヘシ

第十七條　本債券ト引換濟ノ假債券ハ國庫債券取扱規程第十一號書式ニ準シタル假債券還納表ヲ添ヘ翌月三日マテニ本行ニ還納スヘシ

第十八條　假債券ノ取扱店轉換、記名變更又ハ亡紛失代リ假債券交付ノ請求ヲ爲ス者アルトキハ其請求書ニ記名變更ノ場合ハ即日本行ニ送付スヘシ

第十九條　甲派出所ノ取扱ニ係ル假債券ヲ乙派出所ノ取扱ニ變更センコトヲ請求スル者アルトキハ國庫債券取扱規程ノ書式ニ準シタル轉管請求書ヲ差出サシメ即日本行ニ送付スヘシ本行派出所間ノ轉入出亦同シ

第二十條　國庫債券元利金ノ受拂ハ國債元利金受拂報告表ニ「國庫債券元利金」ノ項「國庫債券償還」又ハ「國庫債券利子」ノ目ヲ設ケ記載スヘシ

第一號書式　用紙美濃判

國庫假債券一人別帳

第　號

| 住所 | | |